

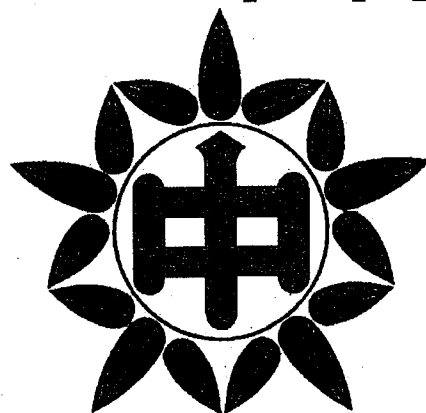
平成26年度

教育計画 2

各教科等

全体計画・年間指導計画

I C T



言語活動

道徳教育

駒の学び舎

世田谷区立駒沢中学校

目 次

1	国 語	P	1	~	3
2	社 会	P	4	~	6
3	数 学	P	7	~	9
4	理 科	P	10	~	12
5	音 楽	P	13	~	15
6	美 術	P	16	~	18
7	保 健 体 育 (男 子)	P	19	~	24
8	保 健 体 育 (女 子)	P	25	~	30
9	技 術	P	31	~	35
10	家 庭	P	36	~	38
11	英 語	P	39	~	41
12	道 徳	P	42	~	43
13	総 合 的 な 学 習 の 時 間	P	44	~	47
	教 科 「 日 本 語 」	P	48	~	50
14	特 別 活 動	P	51	~	52
	生 徒 会 活 動	P	53	~	54

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)					活用するICT等 ●ことばの力をも 高める言語活動	評価基準(B)					評価方法
						国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能		国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	
1	4	20	1 家族の中で	はる、風呂場の散髪字のない葉書兄やん話す・聞く1漢字を見抜く1文法1発見する読み1	・学習の仕方を身につける。 ・小学校の漢字の復習。 ・文章を読んで登場人物の気持ちと行動を読み取る。 ・学んだことを生かして音読の工夫をする。 ・部首の構成に注意して文字を書く。基本の点画。	・文学に描かれる人物像や人間関係・心情を興味を持って読むようとしている。	・人物の心情を考え、音読ができてい	・自分の考えをワークシートに書くことができる。	・会話に表れている人物の心情を理解しようとしている。	・小学校の漢字の定着度を自身で知る。 ・文章、文、単語の違いを知る。	○実物投影機 ○パソコン ●詩をグループで話し合い発表する。情景や人物の気持ちを話し合う。	・文学に描かれる人物像や人間関係・心情を興味を持って読むことができる。	・人物の心情を考え、音読の工夫を考えられている。	・自分の考えを分りやすくワークシートに書くことができる。	・会話に表れている人物の心情を理解しようとしている。	・小学校の漢字の定着が8割程度である。 ・文章、文、単語の違いを理解している。	・ワークシート ・漢字テスト ・定期考査 ・提出物
	5																
	6	23		2 命の鎖	ものづくりに生きる変わる動物園奈々子に何にもも産後をつけるおじさんの詩知識の樹木書く1漢字を見抜く2文法2情報と表現1読書1	・段落と文章の展開に沿って、段落の対応関係を整理する。 ・文章の構成に即して、要旨をまとめる。 ・漢字の声符について、それが何かを知り、理解する。 ・文節、文節相互の関係を理解する。 ・仮名の筆遣い。 ・楷書とかなの調和。	・文章に表現されている主張を、構成や展開を含めて的確に理解し、文章の要点をとらえようとしている。 ・声符による漢字のまとまりに気づき、自分なりにまとめるようとしている。	・友達の意見を聞き取り、自分との意見との違いなどをとらえようとしている。	・段落の要旨を自分なりにまとめて書こうとしている。	・段落の要旨と論理展開を理解している。 ・形声文字の義符、声符とは何かを知ろうとしている。 ・まちがいがしやすい筆順を理解し正しい形で書ける。	○実物投影機 ○パソコン ●段落の要旨をまとめるながら読む。 ●読書紹介の文章の書き方を学ぶ。	・文章に表現されている主張を理解し、構成や展開も考え、文章の要点をとらえられている。 ・声符による漢字のまとまりに気づき、自分なりに理解している。	・友達の意見を聞き取り、自分との意見との違いなどをとらえようとしている。	・段落の要旨を自分なりにまとめて書いている。	・段落の要旨と論理展開を理解している。 ・形声文字の義符、声符とは何かを知ろうと取り組んでいる。 ・まちがいがしやすい筆順を理解し正しい形で書けている。	・ワークシート ・漢字テスト ・定期考査 ・提出物	
	7																
2	9	17	3 出会いと発見	空飛ぶ魔法にほうきぬすびと面片言を言うまで話す・聞く2漢字を見抜く3文法3	・金物屋のおじさんの言葉の配慮を読み取る。 ・ぬすびと面を巡る文吉の考えの変化と理由を説明する。 ・★言語学者金田一京助の素顔を知り、樺太アイヌ語採集の成功の情熱を表現に即し読み取る。 ・漢字の部、部首、部首名を理解する。品詞分類を理解する。 ・行書…点画のつながり	・竹ぼうきに対する女の子と、おじさんの気持ちを読み取ろうとしている。 ・場面を巡って主題を把握し、それについて自分の考えをまとめるようとしている。	・自分の感じたことや考えたこと発表している。 ・お互いの考えを聞きあい、理解している。	・作者が伝えようとしている思いをとらえ、文章で表現できる。	・表現に即して登場人物の気持ちを読み取る。 ・部首から漢字の意味を推測できる。 ・品詞分類を理解している。	○実物投影機 ○パソコン ●読書紹介のスピーチをする。 ●人物の気持ちを想像しながら集団討論する。	・竹ぼうきに対する女の子と、おじさんの気持ちを読み取ろうとしている。 ・場面を巡って主題を把握し、それについて自分の考えをまとめている。	・自分の感じたことや考えたこと発表している。 ・お互いの考えを聞きあい、違いなどを理解している。	・作者が伝えようとしている思いをとらえ、文章で分りやすく表現している。	・表現に即して登場人物の気持ちを自分なりに読み取ろうとしている。	・部首から漢字の意味を推測している。 ・品詞分類をほぼ理解している。	・ワークシート ・漢字テスト ・定期考査 ・提出物	
	10																
	11	26		4 時を超えて	竹取物語宇治拾遺物語故事成語書く2百人一首漢字を見抜く4文法4言葉と生活・文化書き初め	・古典の文章の音読 ・古典と現代文の違いに気づく。 ・漢字の音読 ・故事成語調べ ・書き初め課題練習	・古典を学ぶことの意義や楽しさをとらえさせ、古典の世界を巡って広げようとする態度を養う。	・百人一首かるた競技の方法を理解し、実際に競技を行うことができる。	・故事成語について調べたことや自分の考えを適切に表現しようとしている。	・筆順の基本を理解し、行書が書ける。 ・竹取物語の最初を暗記する。 ●古文の表現、故事成語に慣れる。	・古典に親しみ、興味関心をもって学習に取り組んでいる。 ・百人一首かるた競技の方法を理解し、実際に意欲的に競技を行える。	・百人一首かるた競技の方法を理解し、実際に意欲的に競技を行える。	・故事成語について調べたことや自分の考えを適切に表現している。	・正確に音読ができる。 ・筆順に注意して字形の整った行書が書けている。	・ワークシート ・漢字テスト ・定期考査 ・提出物		
	12																
3	1	16	5 関係の中で	まなちゃんの道少年の日の思い出シェークVS.バナナスプリング漢字を見抜く5文法の学習5・6情報と表現2自由訳「イマジ」(抄)ストロベリー・フィールズの風に吹かれて二十年後	・詩の展開に沿って読み、詩から少年の日の思い出に答える。 ・人物像と人間関係をとらえ、人物の行動の意味を理解する。 ・新字体と旧字体について理解する。 ・実際の文章で文について考える。 ・作品についての感想をもち、感想に基づいて交流する。 ・読書に親しみ、進んで読むとする姿勢を身につける。 ・行書…点画の省略	・作品の展開をとらえ、積極的に読むようとしている。 ・登場人物の心情の変化を理解し、作品の主題を自分なりに考えようとしている。 ・文法の知識を生かして実際の文章を読み取ろうとしている。	・自分の考えを分りやすく発表しようとしている。 ・友達の発言に耳を傾け、考えを深めようとしている。	・着目した点や、気に入った点をあげながら、感想をまとめようとしている。	・人物の心情の変化を読み取ろうとしている。 ・それぞれの人物像は誰の視点からのものか考え説明しようとしている。	・旧字体で書かれた文書の漢字を読みこなす方法に気づいている。 ・使い手として日本語の文法を考えた態度を身につけている。	○実物投影機 ○パソコン ●詩を朗読する。 ●詩の続きを小集団で話し合って発表する。 ●登場人物の気持ちを想像して、日記の形で書く。	・作品の展開をとらえ、積極的に読むよう取り組んでいる。 ・登場人物の心情の変化を理解し、作品の主題を自分なりに考えている。 ・文法の知識を生かして実際の文章を読み取ろうと努力している。	・自分の考えを分りやすく発表しようとする工夫をしている。 ・友達の発言に耳を傾け、考えを深めようとしている。	・着目した点や、気に入った点をあげながら、感想を分りやすくまとめている。	・人物の心情の変化を読み取ることができている。 ・それぞれの人物像は誰の視点からのものか考え、説明ができている。 ・使い手として日本語の文法をえようとしている。	・ワークシート ・漢字テスト ・定期考査 ・提出物	
	2																
	3																

学期				評価基準(指導目標)										評価基準(B)										評価方法
月	時数	単元	小単元「項目」	学習内容	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能									
1	4	20	1 仲間と共に	おたまじゃくし四匹、昔話、逃げることはほんとうにひきょうか、吟味された言葉、話す聞く1、語を見抜く1、文法1・2	・分担して群読を行う。 ・言葉の記憶と映像の記憶の差異を説明する。 ・光の言葉が「祖母を助ました理由を考える。 ・言葉によって伝える分がかりやすさを知る。 ・漢字の読みを知る。 ・動詞、形容詞、形容動詞の働きを知る。	・交流のよさを捉え書き手の心を音読しようとする。 ・言葉の意味を考え理解し、役立てようとする。	・自ら捉えた書き手の心を音読で表す。 ・筆者の主張をまとめる。 ・他人を励ます言葉について、自分の考えを書く。 ・作品の中の事実と意見を抜き出して、書く。	・記憶の持つ意味を考える。 ・文末表現の効果と効果を考える。 ・本文の理解と自分の思考に基づき、筆者の主張を説明する。 ・漢字の音訓、慣用音を理解する。	・音声や表記の仕方に関心を持ち、理解を深める。 ・抽象的概念を表す言葉の知識を深める。 ・漢字の音訓、慣用音を理解する。	○パソコン ●筆者の意見に対する考えをグループで話し合い、集団討論する。	・作品を自分なりの音読する。 ・記憶の意味を考え、文末表現の特徴と効果に気づく。 ・文脈上の語の意味を考える。	・声の大きさ、話す速さ・強弱、間の取り方に注意して発表する。	・筆者の主張を自分なりにまとめる。 ・他人を励ますにはどうすればいいか、考えて書く。 ・作品の中の事実と意見を分けて書く。	・言葉と映像の違いがわかる。 ・キーワードや指示語を捉え展開を理解する。 ・勇気、ひきょうの意味を知る。 ・光の言葉の励ましがわかる。	・文末表現の特徴と効果に気づく。 ・「吟味」の文脈上の意味がわかる。 ・漢字の音訓、動詞・形容詞・形容動詞を理解する。	ワークシート 漢字試験 定期考査 提出物								
	5																							
	2	6	34	2 命の交差	サーカスの馬クリスマスの仕事、短歌、地下水、アラスカとの出会い、書く1、語を見抜く2、文法3・4、情報と表現1、坊っちゃん、孫が読む漱石、発見する読み2	・人物像や心情の変化を読み取る。 ・一つの言葉に込められた意味を理解する。 ・短歌の情景、作者の心情を捉え、詩・文章を書く。 ・詩の比喩を理解する。 ・人生の出会いを考える。 ・絵を頼りに創作を行う。 ・熟語の読み慣れる。 ・助動詞の働きを知る。 ・小説の多様な読みを理解する。 ・星野道夫のアラスカへの強い意志を感じる。	・他人の意見をよく聞いて、共通点・相違点を意識して発言する。 ・短歌、詩を音読する。	・短歌を味わって、その感動を詩・文章にする。 ・筆者の出会いを読み、自分なりの文章を書く。 ・絵の構成を頼りに文章を書く。	・人々の言葉に込められた思いを捉える。 ・フォルクローレの山場の効果的な表現を読み取る。 ・絵の構成の編集に取り組み。 ・「坊っちゃん」の多様な読み方を知る。	・1人称の語り手と登場人物を区別して読む。 ・短歌の知識を理解する。 ・散文詩の特徴を理解する。 ・熟語の読み方の種類に慣れる。	○パソコン 大型テレビ ●絵を頼りにして、文章を創作し、発表する。	・表現に即し僕らの心情の変化を理解する。 ・他人の意見をよく聞いて、自分の意見を表現している。 ・短歌、詩の音読に慣れる。	・短歌を味わって、その感動を自分なりに詩・文章として書く。 ・筆者の出会いについて関心をもち、短い文章を書く。 ・絵の構成を考え、短い文章を書く。	・言葉に込められた思いを読み取る。 ・フォルクローレの山場の比喩表現に気づく。 ・絵の構成で、話の展開が変わることがわかる。 ・「坊っちゃん」の多様な読みを知る。	・1人称の語り手と登場人物を区別している。 ・短歌の知識をほぼ理解している。 ・散文詩の特徴を知っている。 ・熟語の読み方に種類があることを知る。	ワークシート 漢字試験 定期考査 提出物								
		7																						
9																								
3		10	24	3 発見と行動	若者が文化を創造する、走れメロス、柳をまく人、話す聞く2、語を見抜く3、文法5、書写：4楷書の復習 5行書	・文化とは何かを考える。 ・心情の変化を表現に即して捉える。 ・人の結びつきを捉える。 ・ディベートを知る。 ・助動詞の働きを学ぶ。	・語り手の特徴を理解し、音読する。	・文化の定義について、感想を書く。	・文章の展開に即し文化の定義と事例を読む。 ・登場人物の心情の変化、視点の変化を捉える。	・ディベートの方法を理解する。 ・助動詞の多様な意味を理解する。	○パソコン 大型テレビ ●自分の意見を論理的に主張し、説得する。	・文化の定義を考える。	・語り手の特徴を生かし、音読する。	・文化の定義について、短い感想を書く。	・文章の展開から文化の定義と事例を読む。 ・登場人物の心情の変化、視点の変化を読み取る。	・ディベートの手順を理解する。 ・助動詞の多様な意味に気づく。	ワークシート 漢字試験 定期考査 提出物							
	11																							
	4	12	32	4 時の中で	言葉の力、平家物語、徒然草、論語、言葉に託された心、書く2、語を見抜く4、書写：5行書、書き初め	・言葉の力、平家物語、徒然草、論語、言葉に託された心、書く2、語を見抜く4、書写：5行書、書き初め	・語り手の文体に慣れる。 ・筆者の考えに関心をもつ。	・語り手の文体、古文特有の文体を生かして、音読する。	・意見文の構成(起承転結)を理解し、文章を書く。	・直実の教養に対する気持ちの変化を理解する。 ・漢文の訓読を比較して、自分なりの感想を書く。	○パソコン 大型テレビ ●テーマに対する自分の意見を文章に表現し、集団討論を行い、発表する。	・語り手の文体に関心をもつ。 ・筆者の考えに関心をもって読む。	・語り手の文体、古文特有の文体を生かし、音読しようとする。	・意見文の構成(起承転結)を意識しながら、文章を書く。 ・現代に通じる筆者の考え方をだいたい理解できる。	・直実の教養に対する心の变化を読み取る。 ・漢文の訓読をほぼ理解する。 ・二字熟語の構成がわかる。 ・助詞、話し言葉と書き言葉、敬語がわかる。	ワークシート 漢字試験 定期考査 提出物								
		1																						
3	2	30	5 状況の中で	目撃者の眼、挨拶、プロセスの建築、花いちもんめ、語を見抜く5、文法5、劇場の隅で、情報と表現2、宇宙が叫ぶ、言葉のいのち、書写：6行書、かな	・状況の中での生き方を考える。 ・物を作る意味を考える。 ・運命と生き方を考える。 ・特別な分野の語を知る。 ・文、文章を理解する。 ・メールや手紙の形式を知る。 ・芸術制作の根源を探る。 ・詩の生まれる時を捉える。	・幼児を背負った少年の写真に感想をもつ。 ・写真、詩、戯曲の時代背景に関心をもつ。	・少年の写真を撮影したカメラマンや当時の人々の心情を想像して発表する。 ・印象的な部分のわたしの気持ちを表すために朗読する。 ・メールと手書きの手紙について、グループで長所・短所を話し合い、発表する。	・まどみちおと、木坂涼の詩を比較して、自分なりの感想を書く。 ・詩に託された作者の思いを読み取る。 ・物を作る意味について、筆者の思索を読み取る。 ・作品の時代背景を踏まえて、わたしの心情を読み取る。 ・芸術作品や詩の創造の秘密を表現から読む。	・詩の比喩表現が何を表しているか、理解する。 ・一人芝居、劇の形式を理解し内容を読み取る。 ・幼児を背負った少年の写真に自分なりの感想をもつ。 ・写真、詩、戯曲の時代背景を知り、作品を味わおうとしている。	○パソコン 大型テレビ ●詩の鑑賞文を書き、意見や思いを発表する。	・幼児を背負った少年の写真に自分なりの感想をもつ。 ・印象的な部分のわたしの気持ちを表すために朗読を工夫する。 ・メールと手書きの手紙について、グループで長所・短所を話し合い、発表し合う。	・少年の写真を撮影したカメラマンや人々の心をさまざまに想像し、発表する。 ・印象的な部分のわたしの気持ちを表すために朗読を工夫する。 ・メールと手書きの手紙について、グループで長所・短所を話し合い、発表し合う。	・まどみちおと、木坂涼の詩を比較して、自分なりの感想文を書く。 ・詩に託された作者の思いをほぼ理解する。 ・作品の時代背景を踏まえて、わたしの心情をほぼ読み取る。 ・芸術作品や詩の創造の秘密を文章表現から自分なりに読み取る。	・詩の比喩表現が何を表しているか、ほぼ想像できる。 ・物を作る意味について、筆者の思索から自分なりの感想をもつ。 ・ト書きとせりふ、効果音などの劇の特徴を想像しながら読み取る。	ワークシート 漢字試験 定期考査 提出物									
	3																							

学期	月	時数	単元	小単元「項目」	学習内容	評価規準(指導目標)					活用するICT等	評価基準(B)					評価方法		
						国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	●ことばの力を高める言語活動	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能			
1	4	18	1	社会に向けて	最初の質問、言葉の共有、ケナリも花サクラも花、Water、話す聞く1、文字を見抜く1、文法1、発見する読み書き1、生活や学習に生かそう	・問いの意味を考え、詩の意図を考える。 ・人生をよりよく生きるために、理解を深める。 ・異文化を越えた心の動きを読み取る。 ・表現を通して、人物の関係を読み取る。 ・パブリック・スピーキングのあり方を考える。 ★キング牧師を取り上げ、強い意志・人種差別について学習する。	・問いを通して、詩の意図を読み解く。 ・よりよく生きるために必要なものを読み取る。 ・表現を通して登場人物の関係を読み取る。	・問いに対する答えを実際に表現する。 ・それぞれの発表を聞き、理解し合う。 ・パブリック・スピーキングに必要な条件をまとめる。	・人物の視点を捉えて、作品を捉え直して書く。	・人生について、認識を深め、どうすべきかを考える。 ・人物の人間性が表現のどこに表れているか知る。	・ハンゲルやピクトグラムを知り、漢字と仮名の特徴を知る。 ・文の主語・述語の照応、文章中の会話文と地の文の効果の違いを考える。	○パソコン ○大型テレビ ●スビーチの原稿を考え、発表する。	・問いを通して、作者の気持ちに迫ろうとする。 ・よりよく生きるために何が必要か自分なりに考える。	・問いに対する答えを実際に表現し、詩の意図を想像できる。 ・発表を聞き、理解できる。 ・パブリック・スピーキングに必要なことを知る。	・人物の視点を捉えて、作品を捉え直して書くことができる。	・人生について、認識を深め、どうすべきかを考える。 ・人物の人間性が表現のどこに表れているか知ることができる。	・ハンゲルやピクトグラムを知り、漢字と仮名の特徴を理解している。 ・主語・述語の照応、文章中の会話文と地の文の効果の違いをほぼ理解する。	ワークシート 漢字試験 定期考査 提出物	
	5																		
	6	24	2	命の共鳴	輝ける間、握手、俳句十五句、存在、黒い雨、書く1、文字を見抜く2、文法2、情報と表現1、書写：7生活や学習に生かそう	・作品の時代背景、表現の細部を考え、作者の認識を捉える。 ・昔の園児を訪ねる元園長の気持ちを読み取る。 ・俳句の知識を理解する。	・作品の時代背景を理解する。 ・元園長の特徴、指言葉の意味に気をつけて読む。	・俳句の形式。句切れに注意して音読する。	・俳句の背景にあるものを想像して、説明する文章を書く。	・表現の細部を考え、作者の認識を捉える。 ・元園長に対する、わたしの気持ちを読み取る。	・比喻表現の効果に注意して、読む。 ・俳句の形式やルールを知る。 ・常用漢字表に ・関心をもち、参照する態度を身につける。 ・文体によって表現の効果の違いがあることを知る。	○パソコン ○大型テレビ ●俳句の感想文を書いて発表する。 ●小説を読んで、感想文を書き、発表して集団討論をする。	・作品の時代背景をほぼ理解している。 ・元園長の特徴や指言葉の意味に注意して読む。	・俳句の形式。句切れに注意して音読できる。	・気に入った俳句の背景を想像して、作者の感動を説明する文章を書くことができる。	・表現の細部を考え、作者の認識をほぼ捉えている。 ・元園長に対する、わたしの気持ちをほぼ理解できる。	・比喻表現の効果に注意して、読み進めている。 ・俳句の形式やルールを知る。 ・常用漢字表を参照する習慣が身につく。 ・文体による表現の効果の違いがわかる。	ワークシート 漢字試験 定期考査 提出物	
	7																		
	2	9	18	3	未来への問い	少年、発見する読み2、ディズニーランドという聖地、運動会、武蔵野の風景、話す聞く2、文字を見抜く3、文法3、種をまく人	・海に対する少年の気持ちを読み取る。 ・評論を読んで、文明社会の状況について理解を深める。	・自然や社会の現象の背景について積極的に考える。	・社会や自然の現象の背景について考えをもち、発言する。	・必要に応じて、文章の構成を考え、内容について要約を行う。	・社会や自然の現象の背景について考えをもち、文章の内容を読み取る。	・文章の構成を考えて読む。 ・日本語と英語について音節の違いを理解する。	○パソコン ○大型テレビ ●意見文を読んで、お互いに意見を述べあい、集団討論する。	・自然や社会の現象の背景について考えをもち、発言している。	・社会や自然の現象の背景について考えをもち、発言している。	・必要に応じ、文章の構成を考え、内容について要約を行える。	・社会や自然の現象の背景について考えをもち、文章の内容を自分なりに読み取る。	・文章の構成を考えて読むことができる。 ・日本語と英語の音節の違いがあることを知る。	ワークシート 漢字試験 定期考査 提出物
		10																	
11		18	4	今に向かつて	言葉との出会い、万葉集・古今和歌集・新古今和歌集、漢詩、おくのほそ道、遠野物語、書く2、文字を見抜く4、文法4、書写：書き初め	・古典の和歌や漢詩、紀行文を読み、現代に通じる文章であることに関心をもって読む。 ・遠野物語を読み、異界を語り伝えた筆者の心の体験を読み取る。	・古典が現代に通じる文章であることに関心をもって読む。	・古典特有の文体に慣れて、音読する。	・遠野物語の「オクナイスサマ」と「鳥御前」の語り手の気持ちを想像して文章を書く。	・異界を語り伝えた人の気持ちを積極的に読み取る。	・古典特有の表現、漢詩の種類や構成について、理解を深める。	○パソコン ○大型テレビ ●「奥の細道」の暗唱をする。 ●「春望」を音読し、思いを書いて発表する。	・古典が現代に通じる文章であることに関心をもって読むことができる。	・古典特有の文体に慣れて、音読している。	・遠野物語の話の語り手の気持ちを想像して、文章を書く。	・異界を語り伝えた人の気持ちを積極的に読み取り、取ろうとしている。	・古典特有の表現、漢詩の種類や構成などを、ほぼ理解している。	ワークシート 漢字試験 定期考査 提出物	
12																			
3	1	27	5	世代を超えて	パール・ハーバーの授業、故郷、夕空晴れて、文字を見抜く5、情報と表現2、顔の見える国際交流、灯台	・日本人として厳しい立場に置かれた私が、どのように救われ、未来に向けて変化したかを読み取る。 ・作品の時代背景を理解し、登場人物たちが失ったものと、未来へのメッセージを読み取る。 ・人物の関わりを捉え、それぞれの思いを読む。 ・顔の見える国際協力とは何を意味するか、読み取る。 ・時代と僕の成長、灯台守との関わりを読む。	・文章表現を通して、それぞれの思いを読み取り、未来へのメッセージとして何が書かれているか、感じ取る。	・人物のそれぞれの思いがどのように描かれているか、読み取った内容を発表し合う。	・人物の関わりを通して、どのように変化したか、短い文章を書き、説明してみる。	・それぞれの思いがどのように関わり、どのような未来へのメッセージが描かれているか、理解する。	・印象に残る表現を捉え、それがどういう意味かを読み取る。	○パソコン ○大型テレビ ●評論や説明文を読んで、自分の意見を述べ、集団討論をする。	・文章表現からそれぞれの思いを自分なりに把握し、発表している。	・人物のそれぞれの思いを自分なりに把握し、発表している。	・人物の関わりを通して、どのような変化が起きたか、自分なりに説明できている。	・それぞれの思いの関わりがどのように影響し、未来へのメッセージとして何が描かれているか、ほぼ理解している。	・印象に残る表現を捉え、その意味をほぼ理解している。	ワークシート 漢字試験 定期考査 提出物	
	2																		
	3																		

平成26度 社会 第1学年 年間指導計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

学期	月	時数	単元	小単元	学習内容	評価規準				活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準B				評価方法											
						関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解												
1学期	4	6	世界のさまざまな地域	世界のすがた	・地球のすがた ・地球儀と世界地図 ・位置、地域区分、国名等	世界のさまざまな地域への関心、地名や地図への関心をもっている。	地球上の位置関係等を多面的・多角的に考察している。	地球儀や世界地図を活用する基礎的な技能を身に付けている。	世界の地域構成等を大まかな形状や位置関係をもとに理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●国のカルタ作り	世界のさまざまな地域への関心、地名や地図への関心をもつことができる。	地球上の位置関係等を多面的・多角的に考察することができる。	地球儀や世界地図を活用する基礎的な技能を身に付けることができる。	世界の地域構成等を大まかな形状や位置関係をもとに理解することができる。	定期試験 レポート 課題追求											
	5			世界各地の人々の生活と環境	・世界の気候区分 ・寒帯、冷帯、温帯の気候 ・乾燥帯、熱帯の気候																					
	2学期	6	4	世界の諸地域	アジア州	・アジア州をながめて ・中国、インド、東南アジア ・多様な民族と経済成長	世界の諸地域について関心をもち、さまざまな資料などを用いて、自主的に調べたりしている。	世界の諸地域について、さまざまな資料を用いて、多面的・多角的に考察し、調べたことをまとめたりしている。	世界の諸地域について、さまざまな資料を活用し、適切に情報を選択してまとめたりしている。	世界の諸地域について、地理的事象を関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●アメリカ デイベート	世界の諸地域について関心をもち、さまざまな資料などを用いて、自主的に調べることができる。	世界の諸地域について、さまざまな資料を用いて、多面的・多角的に考察し、調べたことをまとめたりすることができる。	世界の諸地域について、さまざまな資料を活用し、適切に情報を選択することができる。	世界の諸地域について、地理的事象を関連付けながら理解し、その知識を身に付けることができる。	定期試験 レポート 課題追求										
		7	4		ヨーロッパ州	・ヨーロッパ州をながめて ・文化の共通性、統合 ・課題とロシア連邦																				
9		4	アフリカ州		・アフリカ州をながめて ・産業と新たな開発 ・課題と展望																					
10			北アメリカ州		・北アメリカ州をながめて ・広大な国土と農業、工業 ・アメリカで生まれた文化																					
11	4		南アメリカ州		・南アメリカ州をながめて ・自然環境と開発の進行																					
3学期	12	4	オセアニア州		・オセアニア州をながめて ・アジアとのつながり																					
	1	4	世界のさまざまな地域の調査	地域調査	・調査テーマ、調査準備 ・国の調査、地域の調査 ・わたしたちの世田谷 ・調査のまとめ、発表	地域調査への関心をもっている。	地域調査を多角的に調べようとする。	さまざまな資料を用い、まとめている。	地域調査に必要な知識を身に付けている。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●レポート作成、発表	地域調査への関心をもっている。	地域調査を多角的に調べようとする。	さまざまな資料を用い、まとめている。	地域調査に必要な知識を身に付けている。	定期試験 実地調査 課題追求											
	2	5																								
3																										
2学期	6	11	原始・古代の日本と世界	文明のおこりと日本のはじまり	・人類の歴史、石器時代 ・世界の文明 ・日本列島の文化 ・東アジアのなかの日本 ・古墳文化、ヤマト王権	原始・古代の日本と世界への関心をもち、資料などを用いて自主的に調べたりしている。	原始・古代の日本と世界について、さまざまな資料を用いて、多面的・多角的に考察し、調べたことをまとめたりしている。	原始・古代の日本と世界について、歴史の流れを関連付けながら、事象を理解し、その知識を身に付けている。	○実物投影機 ●キーワードで表す時代区分	原始・古代の日本と世界への関心をもち、資料などを用いて積極的に調べることができる。	原始・古代の日本と世界について、さまざまな資料を用いて、多面的・多角的に考察し、調べたことをまとめることができる。	原始・古代の日本と世界について、さまざまな資料を活用し、適切に情報を選択してまとめることができる。	原始・古代の日本と世界について、歴史の流れを関連付けながら、事象を理解し、その知識を身に付けることができる。	定期試験 レポート 課題追求												
	7	8		律令国家の成立	・隋と唐、イスラム帝国 ・飛鳥文化、聖徳太子の政治 ・平城京、律令国家のあゆみ ・大陸の影響を受けた文化																					
	2学期	9		7	貴族の政治と武士の登場										・平安京、地方の政治 ・武士の台頭と院政 ・国風文化											
		1		8	世界のさまざまな地域の調査										地域調査	・調査テーマ、調査準備 ・国の調査、地域の調査 ・わたしたちの世田谷 ・調査のまとめ、発表	地域調査への関心をもっている。	地域調査を多角的に調べようとする。	さまざまな資料を用い、まとめている。	地域調査に必要な知識を身に付けている。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●レポート作成、発表	地域調査への関心をもっている。	地域調査を多角的に調べようとする。	さまざまな資料を用い、まとめている。	地域調査に必要な知識を身に付けている。	定期試験 実地調査 課題追求
3学期	2	9	中世の日本と世界	武士の政権と東アジアのうごき		・宋王朝とモンゴル帝国 ・平氏政権と鎌倉幕府の成立 ・武士と農民、鎌倉文化 ・元寇と鎌倉幕府の滅亡 ★北条時宗(道徳) 博愛	中世の日本と世界について、関心をもち、資料などを用いて自主的に調べたりしている。	中世の日本と世界について、さまざまな資料を用いて、多面的・多角的に考察し、調べたことをまとめたりしている。	中世の日本と世界について、さまざまな資料を活用し、適切に情報を選択してまとめたりしている。	中世の日本と世界について、歴史の流れを関連付けながら、事象を理解している。	○実物投影機 ●キーワードで表す時代区分	中世の日本と世界について、関心をもち、資料などを用いて自主的に調べることができる。	中世の日本と世界について、さまざまな資料を用いて、多面的・多角的に考察し、調べたことをまとめることができる。	中世の日本と世界について、さまざまな資料を活用し、適切に情報を選択してまとめることができる。	中世の日本と世界について、歴史の流れを関連付けながら、事象を理解し、その知識を身に付けることができる。	定期試験 レポート 課題追求										
	3	8		武士社会の展開と民衆		・室町幕府、東アジア世界 ・農村の自治と産業の発達 ・応仁・文明の乱、室町文化																				

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準(B)				評価方法			
						関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解				
1	4	16		近世の日本と世界	ヨーロッパの拡大とアジアの交易 ・ヨーロッパ世界の形成 ・航路開拓とヨーロッパの拡大 ・アジアの交易	中世から近世にかけてのヨーロッパ世界の拡大とアジアの交易について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	中世から近世にかけてのヨーロッパ世界の拡大とアジアの交易について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	中世から近世にかけてのヨーロッパ世界の拡大とアジアの交易について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	中世から近世にかけてのヨーロッパ世界の拡大とアジアの交易について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	○活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	中世から近世にかけてのヨーロッパ世界の拡大とアジアの交易について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	中世から近世にかけてのヨーロッパ世界の拡大とアジアの交易について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	中世から近世にかけてのヨーロッパ世界の拡大とアジアの交易について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	中世から近世にかけてのヨーロッパ世界の拡大とアジアの交易について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	小テスト・レポート、定期考査、ノート			
				戦国大名と全国統一	・戦国大名の登場 ・鉄砲とキリスト教の伝来 ・全国の統一 ・秀吉の政策 ・南蛮文化と桃山文化	戦国大名について関心を持ち、史料や史跡などから領国支配の様子を調べている。	鉄砲・キリスト教の伝来が日本に与えた影響が秀吉が行った政策が社会に与えた影響について考察し、表現している。	信長、秀吉の全国統一を可能にした理由について資料から読み取り、まとめている。	ヨーロッパ人が日本に未開した背景と、日本に与えた影響が秀吉が行った政策が社会に与えた影響について、その目的や内容、社会の変化を理解している。		戦国大名について関心を持ち、史料や史跡などから領国支配の様子を調べている。	鉄砲・キリスト教の伝来が日本に与えた影響が秀吉が行った政策が社会に与えた影響について、その目的や内容、社会の変化を理解している。	信長、秀吉の全国統一を可能にした理由について資料から読み取り、まとめている。	ヨーロッパ人が日本に未開した背景と、日本に与えた影響が秀吉が行った政策が社会に与えた影響について、その目的や内容、社会の変化を理解している。	小テスト・レポート、定期考査、ノート			
				江戸幕府の成立と進展	・江戸幕府の成立と大名統制 ・身分制度の確立と農村の様子 ・貿易奨励から鎖国へ ・外国や周辺地域との関係	幕府が大名や朝廷・寺社を統制してきた支配のしくみについて、調べている。	江戸幕府の身分制度の目的と幕府の対外政策の目的と、幕府の支配のしくみや、幕府の成立と進展について、その目的や内容、社会の変化を理解している。	江戸時代の農民や町人のくらし、鎖国下の日本周辺の国や地域との交流について、その目的や内容、社会の変化を理解している。	江戸幕府の成立過程と、幕府の支配のしくみや、幕府の成立と進展について、その目的や内容、社会の変化を理解している。		幕府が大名や朝廷・寺社を統制してきた支配のしくみについて、調べている。	江戸幕府の身分制度の目的と幕府の対外政策の目的と、幕府の支配のしくみや、幕府の成立と進展について、その目的や内容、社会の変化を理解している。	江戸時代の農民や町人のくらし、鎖国下の日本周辺の国や地域との交流について、その目的や内容、社会の変化を理解している。	江戸幕府の成立過程と、幕府の支配のしくみや、幕府の成立と進展について、その目的や内容、社会の変化を理解している。	小テスト・レポート、定期考査、ノート			
				産業の発展と町人の文化	・諸産業の発達 ・都市と商業の発達 ・元禄時代の人々のくらし ・元禄文化と学問の進歩 ★杉田玄白(蘭学)真実の追究	幕府が大名や朝廷・寺社を統制してきた支配のしくみについて、調べている。	江戸幕府の身分制度の目的と幕府の対外政策の目的と、幕府の支配のしくみや、幕府の成立と進展について、その目的や内容、社会の変化を理解している。	江戸時代の農民や町人のくらし、鎖国下の日本周辺の国や地域との交流について、その目的や内容、社会の変化を理解している。	江戸幕府の成立過程と、幕府の支配のしくみや、幕府の成立と進展について、その目的や内容、社会の変化を理解している。		幕府が大名や朝廷・寺社を統制してきた支配のしくみについて、調べている。	江戸幕府の身分制度の目的と幕府の対外政策の目的と、幕府の支配のしくみや、幕府の成立と進展について、その目的や内容、社会の変化を理解している。	江戸時代の農民や町人のくらし、鎖国下の日本周辺の国や地域との交流について、その目的や内容、社会の変化を理解している。	江戸幕府の成立過程と、幕府の支配のしくみや、幕府の成立と進展について、その目的や内容、社会の変化を理解している。	小テスト・レポート、定期考査、ノート			
	9	9	2	世界から見た日本の自然環境・人口・産業	世界から見た日本の自然環境・人口・産業	世界と日本の地形・気候・人口・災害	世界と日本の地形・気候・人口・災害	世界と日本の地形・気候・人口・災害	世界と日本の地形・気候・人口・災害	○活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	世界から見た日本の自然環境・人口・産業	世界から見た日本の自然環境・人口・産業	世界と日本の地形・気候・人口・災害	世界と日本の地形・気候・人口・災害	世界と日本の地形・気候・人口・災害			
				九州地方	生活の舞台、人々の営み、環境問題、工業化・都市化、持続可能な社会	各地域の特色について外観する中で、自然環境災害や公害に意欲的に追及しようとしている。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	各地域の特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		各地域の特色について外観する中で、自然環境災害や公害に意欲的に追及しようとしている。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	各地域の特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	各地域の特色について外観する中で、自然環境災害や公害に意欲的に追及しようとしている。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	各地域の特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
				中国四国地方	生活の舞台、人々の営み、都市の役割、高齢化の農村と町おこし	各地域の特色について外観する中で、自然環境災害や公害に意欲的に追及しようとしている。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	各地域の特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		各地域の特色について外観する中で、自然環境災害や公害に意欲的に追及しようとしている。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	各地域の特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	各地域の特色について外観する中で、自然環境災害や公害に意欲的に追及しようとしている。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	各地域の特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
				近畿地方	生活の舞台、人々の営み、古都の成り立ち、都市と郊外	各地域の特色について外観する中で、自然環境災害や公害に意欲的に追及しようとしている。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	各地域の特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		各地域の特色について外観する中で、自然環境災害や公害に意欲的に追及しようとしている。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	各地域の特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	各地域の特色について外観する中で、自然環境災害や公害に意欲的に追及しようとしている。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	各地域の特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
	中部地方	生活の舞台、人々の営み、工業の発展、自然を生かした農業		各地域の特色について外観する中で、自然環境災害や公害に意欲的に追及しようとしている。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	各地域の特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	各地域の特色について外観する中で、自然環境災害や公害に意欲的に追及しようとしている。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		各地域の特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	各地域の特色について外観する中で、自然環境災害や公害に意欲的に追及しようとしている。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	各地域の特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		
	関東地方	生活の舞台、人々の営み、首都東京、世界の窓口・日本の中心		各地域の特色について外観する中で、自然環境災害や公害に意欲的に追及しようとしている。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	各地域の特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	各地域の特色について外観する中で、自然環境災害や公害に意欲的に追及しようとしている。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		各地域の特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	各地域の特色について外観する中で、自然環境災害や公害に意欲的に追及しようとしている。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	各地域の特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		
	12	12		東北地方	生活の舞台、人々の営み、伝統的生活と文化、大震災からの復興	各地域の特色について外観する中で、自然環境災害や公害に意欲的に追及しようとしている。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	各地域の特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		各地域の特色について外観する中で、自然環境災害や公害に意欲的に追及しようとしている。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	各地域の特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	各地域の特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		
				北海道地方	生活の舞台、人々の営み、観光・産業	各地域の特色について外観する中で、自然環境災害や公害に意欲的に追及しようとしている。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	各地域の特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		各地域の特色について外観する中で、自然環境災害や公害に意欲的に追及しようとしている。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	各地域の特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	各地域の特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。	各地域の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。		
3	1	3		近世の日本と世界	社会の変動と欧米諸国の接近 ・社会の変化と幕府政治の改革 ・「きんぎん」打ちこわしと幕府政治の立て直し ・欧米諸国の接近と対応 ・新しい学問と思想 ・江戸後期の文化と民衆のくらし	江戸後期の文化の内容について様々な資料を使って意欲的に調べている。	幕府財政の悪化の理由や享保の改革の目的と成果、田沼の政治や寛政の改革の成果について、社会の変動と関連づけ、近世の特色を考察し、図や言葉で表現している。	欧米諸国が日本沿岸に來航した様子について、資料を使って調べ、図表などにまとめている。	享保の改革の時代背景や、改革の内容、成果、田沼の政治と寛政の改革の目的や内容江戸後期の文化の特色について、元禄文化と対比して考察し、表現している。	○活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	江戸後期の文化の内容について様々な資料を使って意欲的に調べている。	幕府財政の悪化の理由や享保の改革の目的と成果、田沼の政治や寛政の改革の成果について、社会の変動と関連づけ、近世の特色を考察し、図や言葉で表現している。	欧米諸国が日本沿岸に來航した様子について、資料を使って調べ、図表などにまとめている。	享保の改革の時代背景や、改革の内容、成果、田沼の政治と寛政の改革の目的や内容江戸後期の文化の特色について、元禄文化と対比して考察し、表現している。	小テスト・課題提出・定期考査			
				近代社会の成立	・近代をむかえる東アジア・アフリカ諸地域の発展 ・アメリカの独立とフランス革命・産業革命と近代社会 ・欧米諸国の勢力拡大・欧米諸国のアジア進出	江戸後期の文化の内容について様々な資料を使って意欲的に調べている。	幕府財政の悪化の理由や享保の改革の目的と成果、田沼の政治や寛政の改革の成果について、社会の変動と関連づけ、近世の特色を考察し、図や言葉で表現している。	欧米諸国が日本沿岸に來航した様子について、資料を使って調べ、図表などにまとめている。	享保の改革の時代背景や、改革の内容、成果、田沼の政治と寛政の改革の目的や内容江戸後期の文化の特色について、元禄文化と対比して考察し、表現している。		江戸後期の文化の内容について様々な資料を使って意欲的に調べている。	幕府財政の悪化の理由や享保の改革の目的と成果、田沼の政治や寛政の改革の成果について、社会の変動と関連づけ、近世の特色を考察し、図や言葉で表現している。	欧米諸国が日本沿岸に來航した様子について、資料を使って調べ、図表などにまとめている。	享保の改革の時代背景や、改革の内容、成果、田沼の政治と寛政の改革の目的や内容江戸後期の文化の特色について、元禄文化と対比して考察し、表現している。	小テスト・課題提出・定期考査			
				身近な地域を見直す	世田谷区の地形図の読み取り ・地域調査	地域調査について関心を持ち、意欲的に情報を収集し調査に取り組んでいる。	調査テーマについて、自然環境や他地域との結びつきなどのかかわりから、多面的・多角的に考察している。	地図、写真、統計、などの資料を収集し有用な情報を選択し、課題や変化を読み取っている。	地形図の読み取り方を身につけている。地域調査の方法を理解し身につけている。		地域調査について関心を持ち、意欲的に情報を収集し調査に取り組んでいる。	調査テーマについて、自然環境や他地域との結びつきなどのかかわりから、多面的・多角的に考察している。	地図、写真、統計、などの資料を収集し有用な情報を選択し、課題や変化を読み取っている。	地形図の読み取り方を身につけている。地域調査の方法を理解し身につけている。	地図作業			

学期	月	時数	単元	小単元	学習内容	評価規準				活用するICT等 ●言語活動	評価基準B				評価方法
						関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用	知識・理解		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用	知識・理解	
歴史的分野	4月	30	第4章 近代化の進む世界と日本	アジアの近代化と日本の動き 日本の産業革命	内閣制度・第1次世界大戦 日清戦争 日露戦争	憲法、日清・日露戦争、産業革命などに 関心を持ち、意欲的に学ぶ	憲法、日清・日露戦争、産業革命などを 多面的・多角的に 考察し、表現できる	憲法、日清・日露戦争、産業革命などを 資料等を使ってまとめる	憲法、日清・日露戦争、産業革命などを 理解し、時代の移り 変わりを把握する	実物提示機	憲法、日清・日露戦争、産業革命などに 関心を持つことができる	憲法、日清・日露戦争、産業革命などを 多面的・多角的に 考察することができる	憲法、日清・日露戦争、産業革命などを 資料等を使ってまとめることができる	憲法、日清・日露戦争、産業革命などを 理解し、時代の移り 変わりを把握することができる	定期試験 プリント レポート ワーク
	5月		第5章 二つの世界大戦と日本	1. 第一次世界大戦とその後の世界	第一次世界大戦 ロシア革命 大正デモクラシー 大衆文化	第一次世界大戦前後の歴史的事象に 関心を持ち、意欲的に学ぶ	第一次世界大戦前後の歴史的事象を 多面的・多角的に 考察し、表現できる	第一次世界大戦前後の歴史的事象を 資料等を使ってまとめる	第一次世界大戦前後の歴史的事象を 理解し、時代の移り 変わりを把握する	デジタル資料集	第一次世界大戦前後の歴史的事象に 関心を持つことができる	第一次世界大戦前後の歴史的事象を 多面的・多角的に 考察することができる	第一次世界大戦前後の歴史的事象を 資料等を使ってまとめることができる	第一次世界大戦前後の歴史的事象を 理解し、時代の移り 変わりを把握することができる	定期試験 プリント レポート ワーク
	6月			2. 第二次世界大戦と日本	ファシズムの動き 日中戦争 第二次世界大戦 太平洋戦争	第二次世界大戦前後の歴史的事象に 関心を持ち、意欲的に学ぶ	第二次世界大戦前後の歴史的事象を 多面的・多角的に 考察し、表現できる	第二次世界大戦前後の歴史的事象を 資料等を使ってまとめる	第二次世界大戦前後の歴史的事象を 理解し、時代の移り 変わりを把握する	☆杉原千蔵(道徳) 政府の命令を無視して人道的立場からユダヤ人を救出した外交官	第二次世界大戦前後の歴史的事象に 関心を持つことができる	第二次世界大戦前後の歴史的事象を 多面的・多角的に 考察することができる	第二次世界大戦前後の歴史的事象を 資料等を使ってまとめることができる	第二次世界大戦前後の歴史的事象を 理解し、時代の移り 変わりを把握することができる	定期試験 プリント レポート ワーク
	7月		第6章 現代の日本と世界	1. 国際社会への復帰 2. 日本経済の成長	戦後の日本と世界 日本の経済成長 長 冷戦下の世界	戦後の日本と世界の歴史的事象に 関心を持ち、意欲的に学ぶ	戦後の日本と世界の歴史的事象を 多面的・多角的に 考察し、表現できる	戦後の日本と世界の歴史的事象を 資料等を使ってまとめる	戦後の日本と世界の歴史的事象を 理解し、時代の移り 変わりを把握する	デジタル資料集	戦後の日本と世界の歴史的事象に 関心を持つことができる	戦後の日本と世界の歴史的事象を 多面的・多角的に 考察することができる	戦後の日本と世界の歴史的事象を 資料等を使ってまとめることができる	戦後の日本と世界の歴史的事象を 理解し、時代の移り 変わりを把握することができる	定期試験 プリント レポート ワーク
公民的分野	4月	60	公民序章 私たちと現代社会		生活と文化 現代社会	現代社会について 関心を持つ	現代社会について 多面的・多角的に 考察し、表現できる	現代社会について 様々な資料から 読み取る	現代社会を様々な 視点から理解する	新聞記事の活用 デジタル資料集	現代社会について 関心を持つことができる	現代社会について 多面的・多角的に 考察することができる	現代社会について 様々な資料から 読み取ることができる	現代社会を様々な 視点から理解することができる	定期試験 プリント レポート ワーク
	5月 6月 7月		第1編 私たちの生活と政治	第1章 人権の尊重と日本国憲法	民主政治の成立 基本的人権の保障 人権思想の新しい展開	人権尊重の考えと 法に対する関心を持つ	我が国の政治が日本国憲法にもとづいて 行われていることについて考察し、 表現する	法の意義と法にもとづく政治の大切さを、 人権尊重の考えと法に関する 様々な資料から読み取る	人権尊重の考えを 基本的人権を中心に深め、 理解する	●裁判事例などを もとにして、討論形式で 行う。 デジタル資料集	人権尊重の考えと法に対する 関心を持つことができる	我が国の政治が日本国憲法にもとづいて 行われていることについて考察し、 表現することができる	法の意義と法にもとづく政治の大切さを、 人権尊重の考えと法に関する資料から 読み取ることができる	人権尊重の考えを基本的人権を 中心に深め、理解することができる	定期試験 プリント レポート ワーク
	9月			第2章 国民主権	国会 内閣 裁判所 地方自治 民主政治	国や地方公共団体の政治に対する 関心を持つ	国民主権を実現するために、 様々な政治形態があることを 考察する	国と地方公共団体の政治や 裁判、選挙などに関する資料を 読み取る	国民主権を実現するための様々な 政治形態を理解する	新聞記事の活用 デジタル資料集	国や地方公共団体の政治に対する 関心を持つことができる	国民主権を実現するために、 様々な政治形態があることを 考察することができる	国と地方公共団体の政治や裁判、 選挙などに関する資料を読み 取ることができる	国民主権を実現するための様々な 政治形態を理解することができる	定期試験 プリント レポート ワーク
	10月			第3章 平和主義	平和主義 安全保障	平和主義について 関心を持つ	平和主義について 考察する	平和主義について 様々な資料から 読み取る	平和主義について 理解する	新聞記事の活用 デジタル資料集	平和主義について 関心を持つことができる	平和主義について 考察することができる	平和主義について 様々な資料から 読み取ることができる	平和主義について 理解することができる	定期試験 プリント レポート ワーク
	10月 11月 12月		第2編 私たちの生活と経済	第1章 私たちのくらしと経済	市場経済のしくみ	市場経済について 関心を持つ	市場経済のしくみを 考察する	価格の変動や企業努力についての資料を 読み取る	市場経済のしくみを 理解する	新聞記事の活用 デジタル資料集	市場経済について 関心を持つことができる	市場経済のしくみを 考察することができる	価格の変動や企業努力についての資料を 読み取ることができる	市場経済のしくみを 理解することができる	
	1月			第2章 生産のしくみと企業	現代の企業 国境をこえる経済	企業と国際経済について 関心を持つ	企業の役割と社会的責任について 考察する	企業のしくみと日本経済の変化を 資料から読み取る	日本経済のしくみと世界経済の変化について 理解する	新聞記事の活用 デジタル資料集	企業と国際経済について 関心をもつことができる	企業の役割と社会的責任について 考察することができる	企業のしくみと日本経済の変化を 資料から読み取ることができる	日本経済のしくみと世界経済の変化について 理解することができる	定期試験 プリント レポート ワーク
	1月			第3章 政府の役割と財政 第4章 社会保障のしくみ	財政のはたらき 租税 社会保障 国民福祉	財政と社会保障のしくみについて 関心を持つ	財政や租税、社会保障について 考察する	財政や租税、社会保障に関する資料を 読み取る	財政のはたらきや租税の意義、 社会保障のはたらきを 理解する	新聞記事の活用 デジタル資料集	について関心を持つ	財政や租税、社会保障について 考察することができる	財政や租税、社会保障に関する資料を 読み取ることができる	財政のはたらきや租税の意義、 社会保障のはたらきを 理解することができる	定期試験 プリント レポート ワーク
	2月		第3編 国際社会を生きる	第1章 今日の国際社会	国際社会のしくみ 国際政治のしくみ 国際社会の課題	国際社会のしくみについて 関心を持つ	国際社会のしくみと課題について 考察する	国際社会の現状を資料から 読み取る	国際社会のしくみと課題を 理解する	新聞記事の活用 ニュース画像	国際社会のしくみについて 関心を持つことができる	国際社会のしくみと課題について 考察することができる	国際社会の現状を資料から 読み取ることができる	国際社会のしくみと課題を 理解することができる	定期試験 プリント レポート ワーク
	2月 3月			第2章 持続可能な未来へ	人口増加問題 環境問題 南北問題	地球的規模の諸問題について 関心を持つ	地球的規模の諸問題について 考察する	地球的規模の諸問題に関する資料を 読み取る	地球的規模の諸問題の現状と課題を 理解する	新聞記事の活用 視聴覚教材の活用	地球的規模の諸問題について 関心を持つことができる	地球的規模の諸問題について 考察することができる	地球的規模の諸問題に関する資料を 読み取ることができる	地球的規模の諸問題の現状と課題を 理解することができる	定期試験 プリント レポート ワーク

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				活用するICT等 ●ことばの力を 高める言語 活動	評価基準(B)				評価方法	
						数学への関心・ 意欲・態度	数学的な見方 や考え方	数学的な技能	数量や図形など についての知識・ 理解		数学への関心・意 欲・態度	数学的な見方 や考え方	数学的な技能	数量や図形など についての知識・理 解		
1	12		⑥小学校の復習 ①いろいろな計算 ②割合 ③比 ④速さ ⑤単位 ⑥比例・反比例 ⑦図形(三角形・四角形・円) ⑧対称 ⑨拡大・縮小 ⑩角柱・円柱 ⑪資料 ⑫正負の数													①関心・意欲・態度 授業態度、ノート 点検、 宿題、問題集 ②見方・考え方 定期考査 プリント ③技能 定期考査 プリント ④知識・理解 定期考査
	4	26	正の数・ 負の数	①正の数・ 負の数	符号のついた数 数の大小 加法・減法 加法と減法の混じった計算 乗法・除法 四則の混じった計算 正の数・負の数の活用 数の集合と四則 ③そろばん学習による集中力、 情報処理能力の育成	正の数と負の数の 四則に関心をもち、その意味や 計算の方法を考えたり、計算し たりしようとしている。	計算の順序を 基にして、正の 数と負の数の四 則やかけが混 じった式の計算 の順序を考へる ことができる。	正の数と負の数の 四則計算をし たり、正の数と負 の数を用いて事 象を式で表現し 処理したりでき る。	正の数と負の数の 必要性や意 味、四則計算の 方法などを理解 している。	○デジタル教科書 ○タブレット型PC ○実物投影機 ●「-」のついた 数を見だし、そ の意味について 話し合う。	正負の数に関心 をもち、事象を表 そうとする。 四則計算に興味 をもち、計算方法 を考えたり、計算 しようとする。 提出物が出せる。	「(マイナス)の 意味がわかり、 四則の計算方法 を見いだせる。	基本的な計算を 正しくできる。 四則の計算や立 式が行える。	「(マイナス)の 必要性や意味 を理解し、四則 の計算方法を 理解している。		
	5															
	6				16	文字式	①文字式	文字を使った式 文字式の表し方 式の値 1次式 1次式の計算 文字式の活用 (不等式の解の意味) ●統計グラフコンクールの概要	数量の関係を式に 表したり、式の 意味を説明したり しようとしている。	1次式の計算を、 日常的な場 面や具体的な 数の計算などと 関連付けて考へ ることができる。	数量の関係を文 字を用いた式で 表したり、式の意 味を読み取ったり 、文字を用いた 式を計算すること ができる。	文字を用いること の必要性や意 味、文字を用い た式の計算の方 法などを理解し、 知識を身につけ ている。	○デジタル教科書 ○タブレット型PC ○実物投影機 ●式が表わす意 味について考へ て、発表し合う。	文字式の意味を 理解し、数量を文 字式にしたり、式 の意味を読み取 たりしようとする。 提出物が出せる。	文字式の計算は、 数の計算と同じ ように操作 できることを、計 算法則などと関 連付けて理解し ている。	
	7															
	18		9	1次方程式	①方程式	等式と不等式 方程式 等式の性質 1次方程式の解き方 1次方程式の活用 比例式	1次方程式や比 例式を活用す ることに関心を もち、問題の 解決に生か そうとして いる。	1次方程式を 活用する ことに関心を もち、問題 の解決に生か そうとして いる。	数量の関係を等 式や不等式で表 したり、簡単な 1元1次方程式を 解くこと ができる。	、式の性質や1 元1次方程式の 解き方などを理 解している。	○デジタル教科書 ○タブレット型PC ○実物投影機 ●解く手順や工夫 について話し合 う。	方程式を解こうと する。 数量の関係を方 程式で表そうと する。 提出物が出せる。	一次方程式の 解法の手順を 説明できる。 解の吟味が できる。	整数係数の方 程式を解く ことができる。 数量の 関係から 方程式をつ くること ができる。	方程式、解、 解法の手順を 説明できる。 数量の大小を 不等式で表 すこと ができる。	
	9															
	2	10	18	比例と 反比例	①比例	関数 比例 座標と比例のグラフ 反比例 反比例のグラフ 比例と反比例の活用	比例、反比例が 実生活と深く関 わっていること に気づき、比例、 反比例の見方 や考え方を活用 しようとする。	二つの数量の 関係を、変化 や対応の様子 から、比例、反 比例の関係を 見いだすこと ができる。	比例、反比例の 表、式、グラフ を用いて身の回 りの事象を表現 したり、処理し たりすること ができる。	比例定数の意 味、グラフの形 など比例、反比 例の特徴を理 解している。 座標、変域の意 味を理解して いる。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●表やグラフにつ いて、比例定数 を変えて調べる などして、その 特徴について 話し合う。	身の回りの事象 の中にある二つ の数量関係から 比例、反比例の 関係を3つ以上 見いだすこと ができる。 提出物が出せる。	比例、反比例の 関係を判断し、 特徴の違いを 指摘できる。 与えられた条件 から式を予想 できる。	表、グラフ、式 を表すこと ができる。 2つの変数を用 いて与えられた 条件から式を 立てること ができる。	具体的な事象 で比例や反比 例を判断 できる。 座標、変域を 求めること ができる。	
		11														
		16		12	平面図形	①平面図形の 基礎	直線と角 円 図形の移動 基本的な作図 作図の活用 (三角形の内心と外心)	基本的な作図に ついて関心を持 ち、基本的な作 図方法を用いて 目的に応じた図 形をかこうとす る。	基本的な作図の 方法を対称性 に着目して調 べることができる。	定規やコンパス などを使って平 面図形を移動 したり、基本的 な作図を することができる。	基本的な作図の 方法や、円の半 径と接線との関 係、弧や弦の意 味を理解して いる。	○デジタル教科書 ○タブレット型PC ○実物投影機 ●直線や平面図 形の運動によっ て構成される図 形について調べる。	作図方法を使おう とする。 提出物が出せる。	基本的な作図の 方法を対称性 から見直しで きる。	平面図形を移動 したり、基本的 な作図ができる。	
12																
1		17		空間図形	①空間図形の 基礎	いろいろな立体 ★数学者オイラーを取り上げ、幾 何学の起源について学習する	空間図形を平面 に表すことに関 心をもち、見取 図や展開図を用 いて空間図形の 性質を調べよう とする。	目的に応じて空 間図形を平面 図形に描きさせ てとらえるなど、 空間図形を多 面的に見ること ができる。	空間図形を見取 図、展開図、投 影図によって適 切に表現したり、 図形の計量を したりできる。	空間における直 線や平面の位置 関係を理解して いる。柱体や錐 体や球の表面積 や体積の求め方 を理解している。	○デジタル教科書 ○タブレット型PC ○実物投影機 ●いろいろな立 体を、根拠を明 確にして分類す ることについて 話し合う。	見取り図や展開 図を用いて問題 解決しようとする。 公式を使って求 積計算をしよう とする。 提出物が出せる。	動いた跡にでき る立体を予想 できる。 見取り図や展開 図、投影図を使 うことができる。	基本的な図形の 求積計算が できる。 立体を表面上に 表す方法として 投影図があるこ とを知り、その 書き方などを理 解できる。	見取り図で位置 関係を言える。 求積公式を言 える。	
2																
3	12		資料の整理	①資料の活用	度数分布 ヒストグラム 相対度数 代表値 近似値と有効数字 資料の活用	資料を整理し たり、ヒストグラム や代表値など を用いてその傾向 を読み取ったり しようとしている。	度数分布表や ヒストグラム や代表値など から、その傾向 を読み取ること ができる。	資料を度数分布 表やヒストグラム で表したり、相 対度数や代表値 を求めたりする ことができる。	ヒストグラムや 代表値、相対 度数、誤差や近 似値の意味を理 解している。	○デジタル教科書 ○タブレット型PC ○実物投影機 ●資料を整理し、 資料の傾向をと らえて説明する。	度数分布表を理 解しヒストグラム を作ろうとする。 提出物が出せる。	ヒストグラムや 代表値などか ら、その傾向を 読み取ること ができる。	度数分布表から ヒストグラムを 書くこと ができる。 代表値を求め ることができる。	度数分布表や ヒストグラムが わかる。 代表値の意 味を理解して いる。		
3																
まとめ																

平成26年度 数学 第2学年 年間指導計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準(B)				評価方法
						関心・意欲・態度	見方や考え方	技能	知識・理解		関心・意欲・態度	見方や考え方	技能	知識・理解	
1	4	14	式の計算	①式の計算 ②式の利用	文字式の計算をしようとし、等式の変形を利用しようとする。	目的に応じて式を変形し数量関係を考察することができる。	事象を数式に表し、文字式が表す意味を理解することができる。	同類項のまとめ方や単項式の乗除の計算方法を理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ○タブレット型PC ●数量の関係を文字式を使って表現し、その意味を読み取ったりして命題が成り立つことを説明する。	文字式の計算に関心を持ち、計算しようとする。 提出物を出すことができる。	目的に応じて自由に式を変形し、命題が成り立つことを的確に説明し、数量関係を考察することができる。	単項式、多項式の計算ができ、数量関係を文字式に表すことができる。	文字式の計算方法を理解している。	①関心・意欲・態度 授業態度、ノート点検、宿題、問題集	
	5	14		①連立方程式 ②連立方程式の活用	連立方程式とその解 連立方程式の解き方 連立方程式の活用 (連立三元一次方程式)	連立方程式を活用することに関心をもち、問題の解決に生かそうとしている。	連立方程式の形に応じた解き方を考えることができる。問題解決のためによりよい方法を考えることができる。	数量の関係を連立方程式で表し、解くことができる。	加減法、代入法の解き方の手順を理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ○タブレット型PC ●連立方程式のいろいろな解法のよさについて話し合う。	問題に応じて文字式を消去する方法を見出し、解き方を考えようとする。 提出物を出すことができる。	問題に応じた解き方を考えることができる。 数量関係をとりえ連立方程式を作ることができる。	連立方程式を用いて解くことができる。		加減法、代入法の解き方の手順を理解している。
	6		17	1次関数	①1次関数 ②方程式と1次関数	1次関数 変化の割合 1次関数のグラフ 直線の式の求め方 2元1次方程式のグラフ 連立方程式の解とグラフ 1次関数の活用	1次関数の関係に関心を持ちその特徴を調べようとする。	式や表、グラフからその特徴を考察することができる。	関数の性質を利用して事象を表現することができる。	1次関数や方程式のグラフの特徴を理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ○タブレット型PC ●一次関数のグラフの特徴を、比例のグラフと比較したり変化の割合と関連付けたりしながら考える。	1次関数の関係を利用して問題を解こうとする。 提出物を出すことができる。	簡単な事象を1次関数を用いて考察することができる。	1次関数や方程式のグラフを活用し、事象を表現することができる。	用語やグラフの書き方を理解している。
	9	①平行線と多角形 ②図形の合同			平行線と角 多角形の角 合同な図形 三角形の合同条件 図形の性質の確かめ方	図形の性質に関心を持ち、調べようとし、証明の方法について考えたりしようとする。	根拠となる事象を明らかにして結論を証明することができる。	仮定、結論を区別し、それらを式などで表すことができる。	三角形の合同条件や基本的な図形の性質を理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ○タブレット型PC ●対頂角や平行線の性質を見いだし、それらを根拠を明確にして説明する。	図形の性質を利用して問題を解こうとする。 提出物を出すことができる。	基本的な図形の性質を利用して、与えられた図形の性質を考察することができる。	図形の証明問題を言葉や式を用いて表現することができる。	三角形の合同条件や基本的な図形の性質を理解している。	
2	10	17	図形の性質の調べ方	①平行線と多角形 ②図形の合同	平行線と角 多角形の角 合同な図形 三角形の合同条件 図形の性質の確かめ方	図形の性質に関心を持ち、調べようとし、証明の方法について考えたりしようとする。	根拠となる事象を明らかにして結論を証明することができる。	仮定、結論を区別し、それらを式などで表すことができる。	三角形の合同条件や基本的な図形の性質を理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ○タブレット型PC ●対頂角や平行線の性質を見いだし、それらを根拠を明確にして説明する。	図形の性質を利用して問題を解こうとする。 提出物を出すことができる。	基本的な図形の性質を利用して、与えられた図形の性質を考察することができる。	図形の証明問題を言葉や式を用いて表現することができる。	三角形の合同条件や基本的な図形の性質を理解している。	
	11														
3	12	19	三角形・四角形	①三角形 ②四角形	二等辺三角形 直角三角形の合同 平行四辺形の性質 平行四辺形になるための条件 特別な平行四辺形 平行線と面積	三角形や四角形の性質に関心を持ち調べようとする。	定義定理条件を利用して図形の性質を考察することができる。	推論の過程を正しく表現し、証明することができる。	図形の定義と定理やいろいろな性質を理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ○タブレット型PC ●二等辺三角形や正三角形、平行四辺形の性質を見いだし、それらを根拠を明確にして説明する。	図形の性質を利用して問題を解こうとする。 提出物を出すことができる。	図形の性質を既習の定理をもとに、活用し考察することができる。	図形の性質を既習の定理をもとに、証明することができる。	図形の定義と定理を理解している。	
	1														
	2	11	確率	①確率	ことがらの起こりやすさ 確率の求め方 いろいろな確率	起こりうる場合を順序良く整理して調べようとする。	場合の数や確率の考えを用いて事象を考察することができる。	いろいろな事象の確率を図や表を使って求めることができる。	確率の考え、図や表の意味と利用の仕方を理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ○タブレット型PC ●実験から求めた相対度数と、同様に確からしいことを基にして求めた確率を比較し、その関係について話し合う。	確率に関心を持ち、確率を求めたり、性質を調べたりしようとする。 提出物を出すことができる。	場合の数や確率の考えを用いて事象を考察し、説明することができる。	いろいろな事象の確率を図や表を使って求めることができる。	確率の求め方が理解できる。	
	3														
まとめ						まとめ				まとめ					

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				活用するICT 等 ●ことばの力を 高める言語活動	評価基準(B)				評価方法
						関心・意欲・態度	見方や考え方	技能	知識・理解		関心・意欲・態度	見方や考え方	技能	知識・理解	
1	4	18	式の計算	①多項式の乗法 ②因数分解	・式の乗法 ・式の展開 ・乗法公式 ・素因数分解 ・因数分解 ・式の活用	公式のよさに気づき公式を用いて展開や因数分解をしようとする。	展開の仕方や因数分解の方法を考察することができる。	展開、因数分解ができる。	展開、因数分解の仕方や、証明への利用を理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●数や図形の性質が成り立つことを、文字式を用いて説明する。	展開、因数分解に興味を持ち、計算しようとする。提出物が出せる。	目的に応じて、展開や因数分解の方法を考察することができる。	展開、因数分解の手順を説明することができる。	展開、因数分解の方法を理解している。	①関心・意欲・態度 授業態度、ノート点検、宿題、問題集
	5	15	平方根	①平方根 ②平方根の計算	・平方根 ・平方根の大小 ・有理数と無理数 ・平方根の乗除 ・平方根の加減 ・平方根の活用(無理数の証明)	平方根の必要性を知り、計算の仕方を調べようとする。	平方根の計算の仕方を考察することができる。	平方根の計算ができる。	平方根の意味、計算の仕方を理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●平方根の近似値を求める方法について話し合う。	平方根の意味を理解し、根号を使おうとする。提出物が出せる。	平方根の大小関係や、計算方法を考察することができる。	根号の中を小さくしたり、分母の有理化をしたりすることができる。	根号のついた数の計算方法を理解し、答えを導くことができる。	②見方・考え方 定期考査 プリント
	6	15	2次方程式	①2次方程式の解き方 ②2次方程式の活用	・2次方程式とその解 ・因数分解を使った解き方 ・平方根の考えを使った解き方 ・2次方程式の解の公式 ・2次方程式の活用	因数分解、平方根の考え方を利用して、2次方程式を解こうとする。	2次方程式の解き方を考察することができる。	2次方程式を解くことができ、その手順を説明することができる。	2次方程式の解の意味、解き方を理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●2次方程式のいろいろな解法の下について話し合う。	2次方程式を利用して、問題を解こうとする。提出物が出せる。	2次方程式の解の意味を理解し、求め方を考察することができる。	因数分解や平方根の考えを使って解くことができ、手順を説明することができる。	2次方程式を使って文章題を解くときの手順を理解している。	③技能 定期考査 プリント
	7	16	関数	①関数 $y=ax^2$	・2乗に比例する関数 ・関数 $y=ax^2$ のグラフ ・関数 $y=ax^2$ の値の変化 ・関数 $y=ax^2$ の活用 ・いろいろな関数(放物線と直線の交点を式で)	関数 $y=ax^2$ のグラフや値の変化に関心をもち調べようとする。	グラフの特徴や1次関数との違いを考察することができる。	グラフをかいたり、変化の割合を求めたりすることができる。	グラフの特徴、1次関数との違いを理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●一次関数と比較したり比例定数と関連付けながら考える。	関数のグラフや変化の割合について調べようとする。提出物が出せる。	簡単な事象を関数を用いて考察することができる。	関数 $y=ax^2$ とグラフを活用し、事象を表現することができる。	用語の意味や、グラフの書き方を理解している。	④知識・理解 定期考査
	9	20	相似な図形	①相似な図形 ②平行線と相似 ③相似と計量	・相似な図形 ・三角形の相似条件 ・縮図の活用 ・平行線と比 ・比と平行線 ・相似な図形の面積比 ・相似な立体の表面	様々な事象を相似な図形の性質でとらえたり、平面図形の基本的な性質や関係を見いだそうとしたりする。	相似な図形の性質についての知識を活用しながら、論理的に考察し表現することができる。	図形の性質や、相似条件などを表現したり、図形の面積や体積を求めたりすることができる。	相似の意味、三角形の相似条件、相似比と面積比及び体積比の関係をなどを理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●相似比と面積比の関係について調べ、考え、説明する。	図形の性質を利用して、問題を解こうとする。提出物が出せる。	基本的な性質を利用して、与えられた図形の性質を考察することができる。	図形の証明問題を、言葉や式を用いて表現することができる。	定理を利用して、線分の長さや面積比、体積比の求め方を理解している。	
2	11	9	円	①円周角と中心角	・円周角の定理 ・円周角の定理の逆 ・円周角の定理の活用(円の内接する四角形、接弦定理、方べきの定理、重心)	円周角や中心角に関心を持ち、それを活用しようとする。	円周角と中心角の関係をなどを用いて、図形の性質を証明することができる。	円周角と中心角の関係をなどを用いて、角の大きさを求めることができる。	円周角の意味や、円周角と中心角の関係を理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●円周角と中心角の関係を等しい弧に対する円周角の性質について話し合う。	円周角と中心角の関係をなどを用いて、問題を解こうとする。提出物が出せる。	図形の性質を、円周角と中心角の関係をなどを用いて考察することができる。	円周角と中心角の関係をなどを用いて、問題を解くことができる。	円周角や中心角の意味を理解している。	
	12	12	三平方の定理	①三平方の定理 ②三平方の定理の活用	・三平方の定理 ・三平方の定理の逆 ・平面図形での活用 ・空間図形での活用 ★数学者ピタゴラスを取り上げ、真理の追求について学習	三平方の定理に関心を持ち、それを問題の解決に活かそうとする。	三平方の定理の証明を知り、考察することができる。	三平方の定理を用いて、線分の長さや、2点間の距離を求めることができる。	三平方の定理の意味を理解している。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●三平方の定理のいろいろな証明について話し合う。	辺の長さに着目し、三平方の定理を用いようとする。提出物が出せる。	三平方の定理や定理の逆の証明を考察することができる。	三平方の定理を用いて、図形の問題を解くことができる。	三平方の定理の意味、三平方の定理が用いられる場面を理解している。	
	3	8	標本調査	①標本調査	・全数調査と標本調査 ・標本調査による推定 ・標本調査の活用	標本調査に関心を持ち、その必要性和意味を考えようとしている。	標本調査の必要性和意味について考え、説明することができる。	標本を無作為に抽出し整理することができる。	標本調査の必要性和意味、全数調査との違いを理解している。	○デジタル教科書 ○インターネット ○実物投影機 ●標本調査の必要性和意味について考える。	標本調査を行い、問題の解こうとする。提出物が出せる。	標本調査を行い、母集団の傾向をとらえ説明することができる。	標本を無作為に抽出し整理し、問題を解決することができる。	標本調査を行い、問題を解決する手順を理解している。	
1～3年の復習など											1～3年の復習など				

【1分野】

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				○活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準(B)				評価方法
						自然現象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然現象への知識・理解		自然現象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然現象への知識・理解	
1	4	38	単元1 化学変化と原子・分子	1章 物質の成り立ち 2章 いろいろな化学変化 3章 化学変化と物質の質量 4章 化学変化と熱の出入り	熱分解・電気分解 物質をつくっているもの(原子によって性質や、質量が変わること) 化学反応式 酸化・還元 酸・塩基の中和 化学変化と物質の質量の関係(質量保存や化学変化の割合) 熱を発生する化学変化と吸収する化学変化	分解・物質をつくっているもの・化学反応式・化学変化と物質の質量の関係を理解し、化学変化と熱について、自らの考えを導いたりまとめることができる。 化学変化を原子や分子のモデルと対応してとらえることができる。	分解・物質をつくっているもの・化学反応式・化学変化と物質の質量の関係を理解し、化学変化と熱について、自らの考えを導いたりまとめることができる。 化学変化を原子や分子のモデルと対応してとらえることができる。	実験や器具の基本操作を身につけるとともに、実験の計画的な実施、結果の記録や整理のしかたを身につけていく。 簡単な化合物の組成を化学式で表したり、化学変化を化学反応式で表現することができる。	分解・物質をつくっているもの・化学反応式・化学変化と物質の質量の関係を理解し、化学変化と熱について、自らの考えを導いたりまとめることができる。 化学変化を原子や分子のモデルと対応してとらえることができる。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●原子をもとに化学変化を説明する。	分解・物質をつくっているもの・化学反応式・化学変化と物質の質量の関係を理解し、化学変化と熱について、自らの考えを導いたりまとめることができる。 化学変化を原子や分子のモデルと対応してとらえることができる。	分解・物質をつくっているもの・化学反応式・化学変化と物質の質量の関係を理解し、化学変化と熱について、自らの考えを導いたりまとめることができる。 化学変化を原子や分子のモデルと対応してとらえることができる。	分解・物質をつくっているもの・化学反応式・化学変化と物質の質量の関係を理解し、化学変化と熱について、自らの考えを導いたりまとめることができる。 化学変化を原子や分子のモデルと対応してとらえることができる。	分解・物質をつくっているもの・化学反応式・化学変化と物質の質量の関係を理解し、化学変化と熱について、自らの考えを導いたりまとめることができる。 化学変化を原子や分子のモデルと対応してとらえることができる。	行動観察 ノート プリント(レポート) 定期考査
	5														
	6														
	7														
	9														
2	10	31	単元3 電流と電圧の利用	1章 電流と回路 2章 静電気と電圧 3章 電流と磁界	直列回路や並列回路に流れる電流の強さや電圧・抵抗の大きさ 電流のはたらきと電力・電圧 電流と磁界の性質や電流との関係、電磁誘導の原理 電流と磁界の関係をモーターの回し方、電磁誘導の原理(電流が磁界から受ける力の向きは、電流の向きと磁界の向きによって決まる)	電流の強さや電圧・抵抗の大きさ、電力・電圧、静電気、電磁誘導の原理について、自らの考えを導いたりまとめることができる。 電流を安全に扱うことができる。	電流の強さや電圧・抵抗の大きさ、電力・電圧、静電気、電磁誘導の原理について、自らの考えを導いたりまとめることができる。 電流を安全に扱うことができる。	電流の強さや電圧・抵抗の大きさ、電力・電圧、静電気、電磁誘導の原理について、自らの考えを導いたりまとめることができる。 電流を安全に扱うことができる。	電流の強さや電圧・抵抗の大きさ、電力・電圧、静電気、電磁誘導の原理について、自らの考えを導いたりまとめることができる。 電流を安全に扱うことができる。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●さまざまな大きさの抵抗を使って、欲しい大きさの抵抗を合成し、説明する。	電流の強さや電圧・抵抗の大きさ、電力・電圧、静電気、電磁誘導の原理について、自らの考えを導いたりまとめることができる。 電流を安全に扱うことができる。	電流の強さや電圧・抵抗の大きさ、電力・電圧、静電気、電磁誘導の原理について、自らの考えを導いたりまとめることができる。 電流を安全に扱うことができる。	電流の強さや電圧・抵抗の大きさ、電力・電圧、静電気、電磁誘導の原理について、自らの考えを導いたりまとめることができる。 電流を安全に扱うことができる。	電流の強さや電圧・抵抗の大きさ、電力・電圧、静電気、電磁誘導の原理について、自らの考えを導いたりまとめることができる。 電流を安全に扱うことができる。	行動観察 ノート プリント(レポート) 定期考査
	11														
	12														
	1														
	2														
3	2														
	3														

【2分野】

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				評価基準(B)				評価方法		
						自然現象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然現象への知識・理解	○活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	自然現象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能		自然現象への知識・理解	
1	4	3	序	つづけてみよう継続観察	気象の継続観測	気象の継続観測に関心をもち、意欲的に探究しようとする。	気象の変化の規則性などを見いだすことができる。	気象の観測の計画的な実施、結果の記録や整理のしかたを身につける。	細胞のつくりや生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなかまの特徴、セキツイ動物の進化について、自らの考えを導いたりまとめることができる。	○デジタル教科書	気象の継続観測に関心をもち、意欲的に探究しようとしている。	気象の変化の規則性などを見いだそうとしている。	気象の観測の計画的な実施、結果の記録や整理のしかたを身につける。	細胞のつくりや生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなかまの特徴、セキツイ動物の進化について、自らの考えを導いたりまとめることができる。	プリント	
	5	38	単元2 動物の生活と生物の進化	1章 細胞のつくりとはたらき 2章 生命を維持するはたらき 3章 行動のしくみ 4章 動物のなかま 5章 生物の進化	細胞や生物の体のつくりとはたらき(呼吸・循環・消化・吸収・排泄のしくみ) 酵素が適温ではたらき、たんぱく質と糖の分子の大きさが違う 運動・感覚器官・神経系のつくりとはたらき セキツイ動物・無セキツイ動物のなかま 生きていく生物でさぐる生物の歴史や進化の証拠(生物は、共通の祖先から分かれて進化した) ★ダーウィンの進化論と半生を紹介	細胞のつくりや生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなかまの特徴、セキツイ動物の進化について、自らの考えを導いたりまとめることができる。 さまざまな動物のなかま分けができる。	細胞の共通点や相違点、生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなかまの特徴、セキツイ動物の進化について、自らの考えを導いたりまとめることができる。	細胞のつくりや動物の体のつくり、行動のようす、血液の流れを観察した結果をまとめることができる。	細胞のつくりや生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなかまの特徴、セキツイ動物の進化について、自らの考えを導いたりまとめることができる。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ●酵素のはたらきを調べ、説明する。	細胞のつくりや生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなかまの特徴、セキツイ動物の進化について、自らの考えを導いたりまとめることができる。 さまざまな動物のなかま分けができる。	細胞の共通点や相違点、生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなかまの特徴、セキツイ動物の進化について、自らの考えを導いたりまとめることができる。 さまざまな動物のなかま分けができる。	細胞のつくりや動物の体のつくり、行動のようす、血液の流れを観察した結果をまとめることができる。	細胞のつくりや生物の体の成り立ち、人体の各器官のつくりやはたらき、動物のなかまの特徴、セキツイ動物の進化について、自らの考えを導いたりまとめることができる。 さまざまな動物のなかま分けができる。	行動観察 ノート プリント(レポート) 定期考査	
	6															
	7															
	9															
2	10	31	単元4 気象のしくみと天気の変化	1章 気象観測 2章 大気中の水蒸気の変化 3章 前線の通過と天気の変化 4章 日本の気象	気象観測の方法 観測記録と天気の変化との関係 空気中の水蒸気の変化と雲ができるわけ 高気圧・低気圧・気団・前線と天気の変化の特徴(北半球や、南半球では、年間を通して、おおむね決まった大気の流れがある。) 日本の四季の天気の特徴と気象との関連	気象現象や天気の変化、水の循環、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気象について関心をもち、観測結果や資料をもとに、意欲的に探究しようとする。	気象現象や天気の変化、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気象について、自らの考えを導いたりまとめることができる。 観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定することができる。	観測や器具の基本操作を身につけるとともに、結果の記録や整理の仕方をも身につけていく。 天気図記号や等圧線を使って天気図用紙に記入することができる。 気象・湿度・気圧・風向・風力の測定の方法や表し方を身につけている。	○デジタル教科書 ○実物投影機 ○インターネット ●雨が激しくなるがいつか、実際の情報から予想する。	気象現象や天気の変化、水の循環、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気象について関心をもち、観測結果や資料をもとに、意欲的に探究しようとする。	気象現象や天気の変化、水の循環、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気象について、自らの考えを導いたりまとめることができる。 観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定しようとしている。	気象現象や天気の変化、水の循環、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気象について、自らの考えを導いたりまとめることができる。 観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定しようとしている。	気象現象や天気の変化、水の循環、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気象について、自らの考えを導いたりまとめることができる。 観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定しようとしている。	気象現象や天気の変化、水の循環、雲のでき方と上昇気流、高気圧・低気圧・前線、四季の天気の特徴と気象について、自らの考えを導いたりまとめることができる。 観測データを分析し、前線の種類や通過の時間を推定しようとしている。	行動観察 ノート プリント(レポート) 定期考査	
	11															
	12															
	1															
	3	2														
3	3															

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				活用するICT等 言語活動	評価基準(B)				評価方法
						音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力		音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力	
1	4	7	歌声を作ろう	明るくおどかなメロディーを、新しい友と明日への希望を歌いあげようとする。	「Forever」[校歌] 「主人は冷たい土の中に」 My Voice My Melody	クラスの友人と心を合わせて歌う意欲を持ち、中学生として生き生きと音楽学習をしようとする。	簡単な歌唱曲のフレーズなどの美しさを感知し、表現を工夫し楽しさを味わおうとする。 ・他の声部との関わりや全体の響きに心をもち歌唱表現しようとする。	発声や発音に気を付けて歌唱することができる。	曲想や諸要素の働きを新たな気持ちで感じ取って聴くことができる。	ハーモニーキーボード 歌う時の呼吸やバランスのよい姿勢について考える	クラスの友人と心を合わせて歌う意欲を持ち、中学生として生き生きと音楽学習をしようとする。	簡単な歌唱曲のフレーズなどの美しさを感知し、表現を工夫し楽しさを味わおうことができる。 ・他の声部との関わりや全体の響きに心をもち歌唱表現しようとする。	発声や発音に気を付けて歌唱することができる。	曲想や諸要素の働きを新たな気持ちで感じ取って聴くことができる。	・表現活動 ・観察法 ・定期考査 ・実技テスト
	5	3	イメージと音楽 1	ソネットをたよりに、各部分の音楽の気分を感じ取る。	ヴィヴァルディ作曲 合奏協奏曲 四季より「春」 関連教材(映画「ジョーズ」からジョーズのテーマ)	曲の冒頭的主題に関心をもち、その喜びを歌い上げた詩と音楽の結びつきを、特に、速度や強弱の対比を感じ取るようにする。	春の喜びを歌い上げた詩と音楽の結びつきを、特に、速度や強弱の対比を感じ取るようにする。		音楽の気分の変化を感じ取って鑑賞している。	デジタル教科書 オーディオ機器 曲想について感じ取ったことや表現について考える	曲の雰囲気や曲想の変化を感じ取るようにする。	春の喜びを歌い上げた詩と音楽の結びつきを感じ取るようにする。		ソネットの場面や様子から、楽曲の雰囲気や曲想の変化を感じ取ることができる。	・観察法 ・ワークシート (感想文) ・定期考査
	6	2	日本の歌曲に親しもう 1	旋律の抑揚や日本語の美しさを生かし、伴奏の響きと変化を感じとりながら表現する。	「浜辺の歌」 参考「エーデルワイス」	詩の内容を味わいながら、主眼的に詩情豊かに斉唱や合唱する。	拍子の特徴を理解し、それを生かして表現を工夫している。	曲の雰囲気や強弱の変化を感じ取り、表現を生かすことができる。	詩の意図や感情、詩と音楽の結びつきを、特に、速度や強弱の対比を感じ取るようにする。	ハーモニーキーボード デジタル教科書 歌詞の内容、曲想を考える	詩の内容を味わいながら、主眼的に詩情豊かに斉唱や合唱をしようとする。	拍子の特徴を理解し、それを生かして表現を工夫している。	曲の雰囲気や強弱の変化を感じ取り、表現を生かすことができる。	詩の意図や感情、詩と音楽の結びつきを、特に、速度や強弱の対比を感じ取るようにする。	・観察法 ・ワークシート ・定期考査
	7	3	郷土の音楽	日本人の生活や心情を映した郷土の音楽に親しむ。	My Voice 2 日本の民謡	民謡のリズム・旋律(音の動き)・音色(発声・コープシ)の特徴及び美法に関心をもち、表現を工夫している。	郷土伝統音楽の特徴を知覚し、感じ取っている。	民謡のリズムを感じとって歌唱できる。	郷土の伝統音楽の特徴を知覚し、感じ取っている。	デジタル教科書 オーディオ機器	民謡のリズム・旋律(音の動き)・音色(発声・コープシ)の特徴及び美法に関心をもち、表現を工夫している。	郷土伝統音楽の特徴を知覚し、感じ取っている。	民謡のリズムを感じとって歌唱できる。	郷土の伝統音楽の特徴を知覚し、感じ取っている。	・観察法 ・表現活動 ・定期考査
2	9	10	混声合唱の響き	さわやかに流れるメロディーを意識し、パートのバランスを工夫して歌う。	合唱コンクール 課題曲・自由曲	旋律などの美しさを感じながら、気持ちを込めて意欲的に斉唱や合唱をしようとする。	歌詞の意味やその背景となる情景や心情、曲の構成などを感知し、表現を工夫し、感じ取っている。	他の声部との関わりや全体の響きに気を付けて合唱表現しようとする。	皆が心を合わせて合唱することの意義を感じながら、曲全体の雰囲気や各声部の旋律の働きなどを感知し、感じ取ることができる。	ハーモニーキーボード オーディオ機器 声部の役割や全体の響きについて話し合っている	旋律などの美しさを感じながら、気持ちを込めて意欲的に斉唱や合唱をしようとする。	他の声部との関わりや全体の響きに気を付けて合唱表現をしようとする。	歌詞の意味やその背景となる情景や心情、曲の構成などを感知し、表現を工夫し、感じ取っている。	皆が心を合わせて合唱することの意義を感じながら、曲全体の雰囲気や各声部の旋律の働きなどを感知し、感じ取ることができる。	・表現活動 ・観察法 ・定期考査 ・実技テスト
	10	6	詩と旋律	言葉と旋律の一体感を感じ取りながら、感情豊かに表現する。	「赤とんぼ」	歌詞の意味、情景や心情、ことばと旋律の一体感を感じ取りながら、感情豊かに表現する。	歌詞の意味、情景や心情、ことばと旋律の一体感を感じ取りながら、感情豊かに表現する。	歌詞の意味、情景や心情、ことばと旋律の一体感を感じ取りながら、感情豊かに表現する。	歌詞の意味、情景や心情、ことばと旋律の一体感を感じ取りながら、感情豊かに表現する。	ハーモニーキーボード 情景や場面について話し合っている	歌詞の意味、情景や心情、ことばと旋律の一体感を感じ取りながら、感情豊かに表現する。	歌詞の意味、情景や心情、ことばと旋律の一体感を感じ取りながら、感情豊かに表現する。	歌詞の意味、情景や心情、ことばと旋律の一体感を感じ取りながら、感情豊かに表現する。	歌詞の意味、情景や心情、ことばと旋律の一体感を感じ取りながら、感情豊かに表現する。	・観察法 ・ワークシート ・定期考査
	11	4	イメージと音楽 2	音楽の創作的な内容や歌唱表現の意を感じ取る。	シューベルト作曲「魔王」	音楽の創作的な内容や歌唱表現の意を感じ取る。	音楽の創作的な内容や歌唱表現の意を感じ取る。	音楽の創作的な内容や歌唱表現の意を感じ取る。	音楽の創作的な内容や歌唱表現の意を感じ取る。	デジタル教科書 オーディオ機器 登場人物の役割を話し合う	詩の場面や様子に関連した、声の表現力に関心をもち、表現を工夫している。	詩の場面や様子から、楽曲の雰囲気や曲想の変化、声の表現力を感じ取っている。	詩の場面や様子から、楽曲の雰囲気や曲想の変化、声の表現力を感じ取っている。	詩の場面や様子から、楽曲の雰囲気や曲想の変化、声の表現力を感じ取っている。	・観察法 ・ワークシート (感想文) ・定期考査
	12	4	器楽の楽しみ	アルトリコーダーのよさを感じ取り、親しむ。	器楽の教科書より	アルトリコーダーのよさを感じ取り、親しむ。	器楽表現をする技能を身に付けている。	器楽表現をする技能を身に付けている。	器楽表現をする技能を身に付けている。	ハーモニーキーボード デジタル教科書 楽器の特徴、奏法を考える	リコーダーの音色の美しさに心をもち、曲の魅力をリコーダーで主体的に表現しようとする。	アルトリコーダーの特性を知覚し、表現の工夫をしようとしている。	曲の美しさをアルトリコーダーで表現しようとしている。	曲の美しさをアルトリコーダーで表現しようとしている。	・観察法 ・表現活動 ・定期考査
3	1	3	アンサンブルの楽しみ	アンサンブルのよさを感じ取り、アンサンブルに親しむ。	アルトリコーダー器楽曲	アルトリコーダーの音色の美しさに心をもち、アンサンブル表現に取り組んでいる。	アルトリコーダーの特性を知覚し、アンサンブル表現の工夫をしている。	アンサンブルによる表現要素の働きと効果を意識し、器楽表現をする技能を身に付けている。	アンサンブルによる表現要素の働きと効果を意識し、器楽表現をする技能を身に付けている。	ハーモニーキーボード	リコーダーの音色の美しさに心をもち、曲の魅力をリコーダーで主体的に表現しようとする。	アルトリコーダーの特性を知覚し、アンサンブル表現の工夫をしようとしている。	アンサンブルによる表現要素の働きと効果を意識し、器楽表現をする技能を身に付けている。	アンサンブルによる表現要素の働きと効果を意識し、器楽表現をする技能を身に付けている。	・観察法 ・表現活動 ・定期考査 ・実技テスト
	2	4	等々に親しむ	等々のよさを感じ取り、親しむ。	「さくら」	等々のよさを感じ取り、親しむ。	等々の特性を知覚し、表現の工夫をしようとしている。	等々の特性を知覚し、表現の工夫をしようとしている。	等々の特性を知覚し、表現の工夫をしようとしている。	デジタル教科書	等々のよさを感じ取り、親しむ。	等々の特性を知覚し、表現の工夫をしようとしている。	等々の特性を知覚し、表現の工夫をしようとしている。	等々の特性を知覚し、表現の工夫をしようとしている。	・観察法 ・表現活動 ・定期考査
	2	3	日本の楽器の響き	様々な楽器による美しい音色や響きを感じ取り、親しむ。	尺八曲「六段の調べ」尺八曲「美濃錦」 ★盲目でありながら、事を極めた八段抜枝の「強い意志」について学ぶ。	尺八曲・琴曲の奏法、奏法、音階などに興味を持ち鑑賞している。	尺八・琴の音の特性や奏法、及びそれらと音楽の関わりを感じ取っている。	尺八曲・琴曲の奏法、奏法、音階などに興味を持ち鑑賞している。	尺八曲・琴曲の奏法、奏法、音階などに興味を持ち鑑賞している。	デジタル教科書 オーディオ機器 楽器の特徴、奏法を考える	尺八曲・琴曲の奏法、奏法、音階などに興味を持ち鑑賞している。	尺八曲・琴曲の奏法、奏法、音階などに興味を持ち鑑賞している。	尺八曲・琴曲の奏法、奏法、音階などに興味を持ち鑑賞している。	尺八曲・琴曲の奏法、奏法、音階などに興味を持ち鑑賞している。	・観察法 ・表現活動 ・定期考査
	3	3	アジアの諸民族の音楽に親しもう	アジアの音楽に親しむ。	アジアの音楽に親しむ。	アジアの音楽に親しむ。	アジアの音楽に親しむ。	アジアの音楽に親しむ。	アジアの音楽に親しむ。	デジタル教科書 オーディオ機器	アジアの音楽に親しむ。	アジアの音楽に親しむ。	アジアの音楽に親しむ。	アジアの音楽に親しむ。	・観察法 ・ワークシート ・定期考査
		3	合唱の喜び	曲の特徴を生かして表現を工夫し、美しい合唱の仕上げて演奏する。	卒業式在校生合唱曲	美しい響きの混声合唱のハーモニーを目指して、主体的に合唱をしようとする。	美しい響きのハーモニーによって、構成のまとまりを生かした表現を工夫している。	豊かな美しい響きを生かして、各声部のかかわりを理解してまとまりのある表現をしている。	豊かな美しい響きを生かして、各声部のかかわりを理解してまとまりのある表現をしている。	ハーモニーキーボード オーディオ機器	美しい響きの混声合唱のハーモニーを目指して、主体的に合唱をしようとする。	美しい響きのハーモニーによって、構成のまとまりを生かした表現を工夫している。	豊かな美しい響きを生かして、各声部のかかわりを理解してまとまりのある表現をしている。	豊かな美しい響きを生かして、各声部のかかわりを理解してまとまりのある表現をしている。	・表現活動 ・定期考査

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				活用するICT等 言語活動	評価基準(B)				評価方法	
						音楽への関心・ 意欲・態度	音楽表現の創 意工夫	音楽表現の技 能	鑑賞の能力		音楽への関心・ 意欲・態度	音楽表現の創 意工夫	音楽表現の技 能	鑑賞の能力		
1	4	3	合唱の響き	明るく伸びやかなメロデーと若者の歌にふさわしい爽やかな曲風の合唱を歌い上げる。	「夢の世界を」	歌詞の意味や構成に心をもち、自己のイメージを生かした表現をしている。	他の声部の役割や曲の仕組を感じ取っている。	他の声部の役割や曲の仕組を理解して歌う技能を身につけている。	曲全体のもつ希望に満ちた明るさや各声部の和音の美しさを味わい、その構成を理解して聴いている。	ハーモニーキーボード 声部の役割や全体の響きについて話し合い考える	歌詞の意味や構成に心をもち、自己のイメージを生かした表現をしようとする。	他の声部の役割を感じ取り表現を工夫することができる。	他の声部の役割を理解して歌う技能を身につけている。	曲全体のもつ希望に満ちた明るさや各声部の和音の美しさを味わい、その構成を理解して聴くことができる。	・表現活動 ・観察法 ・実技テスト ・定期考査	
	5	2	パイプオルガンとフーガの仕組について知ろう	フーガによる曲の構成やパイプオルガンによる表現の豊かさを味わう。	バッハ作曲「フーガト短調」	パイプオルガンの音色や奏法に心をもち、鑑賞している。	パイプオルガンの音色や奏法、フーガの仕組を感じ取っている。		パイプオルガンの音色や奏法、フーガの仕組について理解し、楽曲全体を感じ取っている。	デジタル教科書 音楽の特徴とその背景となる文化について考える	パイプオルガンの音色や奏法に心をもち聴こうとする。	パイプオルガンの音色や奏法、フーガの仕組を感じ取っている。		フーガの構成の効果や特徴を感じ取り、この曲全体の表現の豊かさを味わって聴くことができる。	・観察法 ・鑑賞文 ・定期考査	
	2	2	速度と強弱	速さや強弱の対比や変化を工夫し、魅力的な演奏をする	「サンタルチア」	曲にふさわしい速度や強弱を生かした表現の工夫や強弱の動きに	カンツォーネの魅力を生かして大らかで豊かな表現を工夫している。			ハーモニーキーボード デジタル教科書	曲にふさわしい速度や強弱を生かした表現の工夫や強弱の動きに	カンツォーネの魅力を生かして表現を工夫している。			・表現活動 ・観察法 ・定期考査	
	6	2	郷土の音楽	日本人の生活や心情を映した郷土の音楽に親しむ。	日本の郷土芸能	日本の郷土芸能の特徴に心をもち学習している。			郷土芸能の特徴と文化や歴史の関わりを意識して鑑賞している。	デジタル教科書 オーディオ機器	日本の郷土芸能の特徴に心をもち学習している。			郷土芸能の特徴と文化や歴史の関わりを意識して鑑賞しようとしている。	・観察法 ・表現活動 ・定期考査	
	2	2	世界の諸民族の音楽に親しもう	アジアの音楽に親しむ。	世界の諸民族の音楽	世界の諸民族の様々な音楽の特徴と音楽の多様性に心をもち学習している。			音楽を制作している音楽家や演奏者からその音楽が生まれる背景や音楽の歴史を知ることで、音楽の多様性を理解しようとしている。	デジタル教科書 オーディオ機器	世界の諸民族の音楽における旋律・リズム・楽器に心をもち聴いてみる。			音楽を制作している音楽家や演奏者からその音楽が生まれる背景や音楽の歴史を知ることで、音楽の多様性を理解しようとしている。	・観察法 ・ワークシート ・定期考査	
	7	7	合唱の喜び	豊かな声の響き、美しいハーモニーや、曲の特徴を生かして表現を工夫し、美しい合唱に仕上げて演奏する。	合唱コンクール課題曲・自由曲	美しい響きのハーモニーを目指して、主体的に合唱している。	変化のあるリズムや和音進行の動きを理解して、美しい響きのハーモニーと豊かなリズム感の表現を工夫している。	変化のある和音進行とリズム感を生かして合唱したり、各声部の和音とのかかわりを理解して、表現している。	曲全体の構成の効果を感じ取っている。	ハーモニーキーボード オーディオ機器 歌う時の気持ちや状況による声の感じの変化について話し合い、考える	美しい響きのハーモニーを目指して主体的に心を込めて歌おうとする。	変化のあるリズムや和音進行の動きを理解して、美しい響きのハーモニーと豊かなリズム感の表現を工夫することができる。	変化のある和音進行とリズム感を生かして合唱したり、各声部の和音とのかかわりを理解して、表現できる。	曲全体の構成の効果を感じ取っている。	・表現活動 ・観察法 ・実技テスト ・定期考査	
	9															
	10															
	2	2	オーケストラの響き	動機・発展による曲の構成や管弦楽による表現の豊かさを味わう。	ベートーヴェン作曲「交響曲第5番 ハ短調」 ★ベートーヴェンの音楽を通じて「人類愛」について学ぶ。	管弦楽の音色や奏法、合奏の仕方に心をもち、鑑賞している。	管弦楽の音色や奏法、合奏の仕方、動機・発展を感じ取っている。		管弦楽の音色や奏法、合奏の仕方、動機・発展を理解し、楽曲全体を感じ取っている。	オーディオ機器 ハーモニーキーボード デジタル教科書	管弦楽の音色や奏法に心をもち聴こうとする。	管弦楽の音色や奏法、合奏の仕方、動機・発展を感じ取っている。		「運命」の音楽の構成の発展や、各楽器の役割を感じ取り、この曲全体の表現の豊かさを味わって聴く。	・観察法 ・鑑賞文 ・定期考査	
	11	6	器楽の楽しみ	アンサンブルのよさを感じ取り、アンサンブルに親しむ。	アルトリコーダー器楽曲	アルトリコーダーの音色の美しさに心をもち、アンサンブル表現に取り組んでいる。	アルトリコーダーの特性を知覚し、アンサンブル表現の工夫をしている。	アンサンブルによる楽器の音色の美しさと効果を感じ取り、器楽表現をする技能を身につけている。	他の楽器の音色や奏法を感じとっている。	ハーモニーキーボード 表現したいイメージについて表現を工夫する	リコーダーの音色の美しさに心をもち、曲の魅力をリコーダーで主体的に表現しようとする。	リコーダーの音色の美しさに心をもち、曲の魅力をリコーダーで主体的に表現しようとする。	アンサンブルによる表現要素の動きと効果を感じ取り、曲の美しさをアルトリコーダーで表現しようとしている。		・観察法 ・表現活動 ・定期考査 ・実技テスト	
12																
3	1	2	オペラの名曲	場面や役割を理解し、曲の特徴や表現のよさを味わう。	ヴェルディ作曲「アイダ」より	アリアの鑑賞を通して、オペラに心をもち、曲全体を感じとる。	登場人物の音楽表現のよさを感じ取り、場面や役割のよさを味わう。	曲の内容、構成を理解し、音楽表現のよさを感じとる。		オーディオ機器 デジタル教科書 音楽の特徴と文化を考える	アリアの鑑賞を通して、オペラに心をもち、曲全体を感じとる。	登場人物の音楽表現のよさを感じ取り、場面や役割のよさを味わう。	曲の内容、構成を理解し、音楽表現のよさを感じとる。		・観察法 ・定期考査 ・ワークシート	
	2		日本の総合芸術	総合芸術としての歌舞伎の多様なおもしろさを味わう。 日本の伝統芸能に親しむ	文楽・歌舞伎	物語の内容に関心をもち、音楽の特徴を理解するため、主体的に聴こうとする。 日本の伝統芸能を主体的に理解しようとする。	文楽の語り方や三味線の音色、歌舞伎の装束のいろいろなおもしろさを味わう。 日本の伝統芸能を主体的に理解しようとする。	日本の伝統芸能の特徴を理解し、楽曲全体を感じ取っている。	日本の伝統芸能の特徴を理解し、楽曲全体を感じ取っている。	オーディオ機器 我が国や郷土の伝統音楽の特徴について、話し合う	「勧進帳」の物語の内容に関心をもち、主体的に聴いてみる。 日本の伝統芸能に心をもち、主体的に鑑賞している。	文楽の語り方や三味線の音色、長巻のいろいろなおもしろさを味わう。 日本の伝統芸能の特徴を理解できる。	日本の伝統芸能の特徴を理解することが出来る。		・観察法 ・鑑賞文 ・定期考査	
	1		日本の歌謡に親しもう	流行の歌謡や日本の歌謡を聴き、日本の歌謡のよさを感じ取り、日本の歌謡に親しむ。	「荒城の月」	詩の内容を味わいながら、主体的に詩情豊かに斉唱や合唱する。	日本語の美しさを生かして歌謡表現を工夫している。	フレーズの美しさや、この曲の調性やリズムを生かして歌謡表現を工夫しようとする。	詞の意を味わい、詩の感情や情景を感じ取り、日本語の美しさを生かして歌謡表現を工夫しようとする。	ハーモニーキーボード デジタル教科書	詩の内容を味わいながら、主体的に詩情豊かに斉唱や合唱しようとする。	日本語の美しさを生かして歌謡表現を工夫しようとする。	詞の意を味わい、詩の感情や情景を感じ取り、日本語の美しさを生かして歌謡表現を工夫しようとする。		・観察法 ・定期考査 ・ワークシート	
	3	4	合唱の喜び	曲の特徴を生かして表現を工夫し、美しい合唱の仕上げて演奏する。	卒業式在校生合唱曲	美しい響きの声や合唱のハーモニーを目指して、主体的に合唱をしようとする。	美しい響きのハーモニーによって、構成のまとまりを生かした表現を工夫している。	量かて美しい響きを生かして、各声部のかわり合いを理解してまとまりのある表現をしている。	楽曲の表現を味わい、その仕組を理解するとともに、各声部の動きや音楽的盛り上がり効果を感じ取って聴いている。	ハーモニーキーボード オーディオ機器	美しい響きの声や合唱のハーモニーを目指して、主体的に合唱をしようとする。	和音進行の動きを理解し、美しい響きのハーモニーによって、構成のまとまりを生かした表現を工夫することができる。	量かて美しい響きを生かして表現し、各声部のかわり合いを理解してまとまりのある表現をすることができる。	・表現活動 ・定期考査		

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				活用するICT等 言語活動	評価基準(B)				評価方法
						音楽への関心・ 意欲・態度	音楽表現の創 意工夫	音楽表現の技 能	鑑賞の能力		音楽への関心・ 意欲・態度	音楽表現の創 意工夫	音楽表現の技 能	鑑賞の能力	
1	4	2	日本の歌	日本の情景や日本人の心情に結びついた歌曲の美しさや楽しさを、味わいながら表現する。	「花」 「花の街」	日本の歌曲の詩情を味わいながら、主体的に心を込めて歌おうとしている。	情景を思い浮かべながら、歌詞とフレーズ及び伴奏の構成のまとまりを生かした表現を工夫している。	詩情を味わい、美しい響きで歌ったり、伴奏のリズムにのせて詩と旋律とのかかわりを生かした表現をしている。	詩情の豊かさを味わい、詩と曲の構成を理解するとともに、音楽表現の美しさを感取って聴いている。	デジタル教科書 歌詞の押通しとリズムについて話し合っている。	日本の歌曲の詩情を味わいながら、主体的に心を込めて歌おうとする。	情景を思い浮かべながら、歌詞とフレーズ及び伴奏の構成のまとまりを生かした表現を工夫しようとする。	詩情を味わい、美しい響きで歌ったり、伴奏のリズムにのせて、詩と旋律とのかかわりを生かした表現をしようとする。	詩情の豊かさを味わい、詩と曲の構成を理解するとともに、音楽表現の美しさを感取って聴きとっている。	観察法 表現活動 定期考査
		3	曲種に応じた歌い方の工夫	楽曲の魅力を際せしめ、それらにふさわしい発声や歌い方を工夫する。	「LOVE」 「上を向いて歩こう」 こが分かればGrade Up!	曲の構成やリズムとの関係に心をもち、曲にふさわしい発声表現を工夫して歌っている。	リズムなどの音楽要素を形作っている要素を知覚し、特徴を生かした音楽表現を工夫している。	曲種に応じた発声やことばの特徴を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけている。		デジタル教科書 曲にふさわしい表現について意見を出し合う。	曲の特徴や歌詞とリズムとの関係に心をもち、曲にふさわしい表現を工夫している。	リズムなどの音楽要素を形作っている要素を知覚し、特徴を生かした音楽表現を工夫しようとしている。	曲種に応じた発声やことばの特徴を生かした音楽表現をすることができる。		観察法 表現活動 定期考査
		4	リズムパターンで構成する音楽の仕組み	リズムパターンに心をもち、全体のまとまりを感じとる。	「テキーラ」 打楽器のための小品	曲の構成や変化に心をもち、それに合うリズムパターンを工夫して主体的に取り組もうとする。	リズムパターンを伴奏の要素として、基礎的な要素を生かした音楽表現を工夫している。	楽器の特徴・基礎的な要素を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけている。		オーディオ機器 強弱や速度を聞き、リズムの重なりについて話し合う。	曲の構成や変化に心をもち、それに合うリズムパターンを工夫して主体的に取り組んでいる。	リズムパターンを伴奏の要素として、基礎的な要素を生かした音楽表現を工夫している。	楽器の基礎的な要素を生かした音楽表現をする技能を身につけている。		観察法 表現活動 定期考査 演技テスト
	6	2	世界各地の楽器や演奏形態による特徴ある音楽に親しむ。	いろいろな民族楽器や演奏形態による特徴ある音楽に親しむ。	世界の諸民族の音楽	様々な楽器を用いた音楽に興味を持ち、主体的に鑑賞している。			様々な楽器を用いた音楽に興味を持ち、主体的に鑑賞している。	オーディオ機器 デジタル教科書	世界の諸民族の様々な楽器の特徴に興味をもち、鑑賞している。		楽器を通して様々な国の音楽に興味をもち、鑑賞している。		観察法 鑑賞文 定期考査
	7	3	名曲の鑑賞とプレゼンテーション	構成や音楽要素による表現の豊かさを味わい、曲のよさを感ぜしめ、ことばで表現する。	「ブルタバ」 「スメタナの生涯を取り上げ、『信念を貫くこと』について学ぶ。	音楽要素や様々な楽器による表現の豊かさを味わい、曲のよさを感ぜしめ、ことばで表現する。		楽曲をその背景となる文化や歴史と結びつけ、総合的に聴き取ることが出来る。	楽曲をその背景となる文化や歴史のいずれかと結びつけて聴き取ることが出来る。	オーディオ機器 諸外国の様々な音楽の特徴について、話し合う。	音楽要素や様々な楽器による表現の豊かさを味わい、曲のよさを感ぜしめ、ことばで表現する。		楽曲をその背景となる文化や歴史のいずれかと結びつけて聴き取ることが出来る。		鑑賞文 定期考査 表現活動
	9	7	合唱の喜び	豊かな声の響き、美しいハーモニーや、曲の特徴を生かして表現を工夫し、美しい合唱に仕上げて演奏する。	合唱コンクール課題曲・自由曲	美しい響きのハーモニーを目指して、主体的に合唱している。	変化のあるリズムや和音進行の動きを理解して、美しい響きのハーモニーと豊かなリズム感の表現を工夫している。	変化のある和音進行とリズム感を生かして合唱したり、各声部の和音とのかかわりを理解して、表現している。	曲全体の構成の効果を理解して聴いている。	オーディオ機器 ハーモニーキーボード どのように工夫をしながら、歌ったり、演奏したら良いか話し合う。	美しい響きのハーモニーを目指して主体的に心を込めて歌おうとする。	変化のあるリズムや和音進行の動きを理解して、美しい響きのハーモニーと豊かなリズム感の表現を工夫することができる。	変化のある和音進行とリズム感を生かして合唱したり、各声部の和音とのかかわりを理解して、表現できる。	曲全体の構成の効果を理解して聴きとっている。	観察法 表現活動 定期考査 演技テスト 表現活動
2	10	3	日本の心・イタリヤの心	遠くや強弱の対比や変化を工夫し、歌詞を理解しながら魅力的な演奏をする。	「帰れソレントへ」 「早稲賦」	曲にふさわしい速度や強弱を生かした表現の工夫や歌詞の理解によって生み出される曲の美しさに心を寄せている。	音楽要素を形作っている要素を知覚し、楽曲の雰囲気を感じながら表現を工夫している。	歌詞の内容や曲意を生かした音楽表現をするための技術をもっている。		オーディオ機器 ハーモニーキーボード デジタル教科書	曲にふさわしい速度や強弱を生かした表現の工夫や歌詞の理解によって生み出される曲の美しさに心を寄せている。	楽曲の雰囲気を感じながら表現を工夫している。	曲意を生かした音楽表現をするための技術をもっている。		表現活動 観察法 定期考査
	11	2	日本の伝統音楽の味わい	総合芸術としての雅楽・能の多様なおもしろさを楽しむ。 日本の伝統音楽に親しむ。	雅楽・能	歴史的な背景を含めて日本の伝統音楽に興味・関心をもち、主体的に鑑賞しようとする。		日本の伝統音楽の特徴を理解し、舞台全体を味わおうとする。	日本の伝統音楽の特徴を理解し、舞台全体を味わおうとする。	オーディオ機器 デジタル教科書 日本の伝統音楽の特徴について話し合う。	歴史的な背景を含めて日本の伝統音楽を理解しようとする。		日本の伝統音楽の特徴を理解しようとする。	日本の伝統音楽の特徴を理解することが出来る。	観察法 鑑賞文 定期考査
	12	3	ポピュラー音楽の魅力とその表現の工夫	さまざまなポピュラー音楽について音楽の要素を感じとりながら鑑賞したり表現の工夫に生かす。	ポピュラー音楽 トリスターゼ コンドルは飛んでゆく	さまざまなポピュラー音楽を聴き比べて、音楽の構成や曲意の違いに心をもち、表現を工夫している。	音楽要素の持つ音楽要素を知覚し、それらの特徴を鑑賞しながら音楽表現を工夫している。	声部の役割と全体の響きとの関わりを生かして、曲意にふさわしい音楽表現をしている。	リズム、旋律、テクスチャ、音色などを聴き、それらの特徴や雰囲気を感じながら鑑賞している。	オーディオ機器 ハーモニーキーボード デジタル教科書	さまざまなポピュラー音楽を聴き比べて、曲意の違いに興味をもっている。	音楽要素の持つ音楽要素を知覚し、音楽表現を工夫している。	声部の役割と全体の響きとの関わりを生かして、音楽表現をしている。	リズム、旋律、テクスチャ、音色などを聴き、それらの特徴や雰囲気を感じながら鑑賞している。	観察法 鑑賞文 定期考査 表現活動
3	1	6	合唱の喜び	曲の特徴を生かして表現を工夫し、美しい合唱の仕上げで演奏する。	卒業式卒業生合唱曲	美しい響きのハーモニーを目指して、主体的に合唱しようとする。	美しい響きのハーモニーによって、構成のまとまりを生かした表現を工夫している。	豊かで美しい響きを生かして、各声部のかわり合いを理解してまとまりのある表現をしている。	楽曲の表現を味わい、その仕組みを理解するとともに、各声部の動きや音楽的盛り上がりへの効果を感じ取って聴いている。	オーディオ機器 ハーモニーキーボード	美しい響きの声合唱のハーモニーを目指して、主体的に合唱しようとする。	和音進行の動きを理解し、美しい響きのハーモニーによって、構成のまとまりを生かした表現を工夫できる。	豊かで美しい響きを生かして表現し、各声部のかわり合いを理解してまとまりのある表現をすることができる。	楽曲の表現を味わい、その仕組みを理解するとともに、各声部の動きや音楽的盛り上がりへの効果を感じ取って聴くことができる。	表現活動 定期考査 観察法

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				○活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準(B)				評価方法
						美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力		美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力	
1	4		デザイン画	色彩について	・無彩色と有彩色 ・色の3要素 ・三原色 ・色の感情 ・色相による配色	色についての知識を深め、生活の中での色の役割について考える。	単色や配色によってどのような印象を相手に与えるか感じ取る。	テーマに合わせて配色を考え、丁寧に表現する。	色の特徴や役割が、私たちの生活の中でどのように役立っているかを感じとる。	○実物投影機	色についての基本的な知識を理解することができた。	テーマに合わせて「暖色」「寒色」など色を組み合わせることができた。	テーマに合わせて色を組み合わせ、端まで丁寧に塗ることができた。	生活の中で、色がもつ特徴や役割を感じとることができた。	・授業態度 ・練習作品 ・下描き ・作品 ・自己評価カード ・定期考査
	5			構図・構成練習	・シンメトリー・リビテーション ・グラデーション・リズム・アクセント ・プロポーション・コントラスト・バランス	構図・構成についての知識を深め、形がもつ役割について考える。	造形を組み合わせた重なりや安定感や不安定感などを感じ取る。	テーマに合わせて造形を組み合わせた、構図・構成で表現する。	参考作品やポスターを鑑賞し、造形が与える感情について感じとる。	○実物投影機 ○プレゼンテーションソフト	構図・構成の知識を理解し、造形の組み合わせを考えることができた。	形がもつ特徴や構図・構成の知識からテーマを想像することができた。	形がもつ特徴や構図・構成の知識をいかし、造形の組み合わせることができた。	形がどのような効果を表現しているか感じ取ることができた。	
	6			グラデーションの平面構成	・色面構成の基本的な技法 ・抽象形を使った構成	色の特性について理解を深め、生活における色への役割を考え、配色への関心を高める。また、美術を身近なものとしてとらえる態度を養う。	色の特性を生かし、「暑い」「重い」などの感情を色で表現する力を養う。また、表現する感情に合った造形を見つけることができる。	ポスターカラーや用具を適切に使い、丁寧に彩色する力や意識を養う。対象をよく観察しスケッチしてから、造形の単純化する。	参考作品から、造形と色の効果・絵具の塗り方を理解し、自分の作品と見比べ課題を見つけることができる。	○実物投影機 ●鑑賞会(グループ発表) ●自己評価カード	今回の単元に意欲的に取り組み、色の特性や配色・グラデーションを理解し、仕上げる事ができた。	配色、グラデーションを表現できる。 単色造形を作ることができる。	用具の使い方を理解し、彩色することが出来る。 ・スケッチから形の単純化、強調を描くことができる。	表現された感情の配色やグラデーションの効果・役割を感じ取ることができる。	
	7														
2	9		静物画	・モチーフのセット	モチーフの形や曲線を集中して観察する態度を養う。	モチーフの形や色のよさを感じ取り、構図や画面に描く大きさを工夫する。	用具を工夫してつかい、線の強弱や色のグラデーションで表現する。	造形と色の効果・絵具の塗り方を理解し、自分の作品と見比べ課題を見つけることができる。	○実物投影機 ○プレゼンテーションソフト ●自己評価カード	静物画に関心をもち、集中して観察して取り組むことができた。	モチーフの形や色の観察から、画面に描く構図や大きさを考えて表現することができた。	モチーフの形や色の観察から、画面に描く構図や大きさを考えて表現することができた。	用具の使い方を工夫して、線の太さを変えたり、グラデーションで着彩することができた。		・授業態度 ・下描き ・作品 ・自己評価カード ・定期考査
	10														
	11														
	12		レタリング		明朝体やゴシック体に関心を持つ。		明朝体やゴシック体を理解し、描き分ける。			●自己評価カード	レタリングに関心をもち、制作することができた。		明朝体やゴシック体の特徴を理解し、描き分けることができた。		
3	1		木版画	・鑑賞 ・下描き ・彫り ・摺り ★作家葛飾北斎、歌川広重の作品からは木版の技法について学ぶ	木版ならではの表現を理解し、日本の伝統文化や歴史に興味をもち、意欲的に取り組む態度を養う。	テーマから発想を広げ、彫りや摺りを意識して下絵の構想を練る。	・彫刻刀を正しく適切に使い、表現に合わせて彫る。 ・木版画の手順を理解して摺る。	木版画のよさや表現を感じ取り、木版画の伝統文化について理解を深める。	○実物投影機 ●鑑賞会(発表) ●自己評価カード	木版の表現を理解し、日本の伝統文化に関心をもち、制作することができた。	テーマから発想を広げ、下絵を考えることができた。	・彫刻刀を正しく使い彫ることができた。 ・木版の順番を理解し、着彩して摺ることができた。	木版のよさや表現にかんしんをもち、伝統や文化を学ぶことができた。		・授業態度 ・練習作品 ・下描き ・作品 ・自己評価カード ・定期考査
	2														
	3														

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				○活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準(B)				評価方法										
						美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力		美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力											
1	4		ポスター制作	レタリング	漢字の基本書体とその要素 ・明朝体、ゴシック体 ・書体のいろいろ ・文字の大きさの調整 ・文字の間隔の調整	生活の中で広く使われ、情報を伝えるための文字の特徴について興味をもつ。	読みやすい文字の基本的な書体やかき方について理解を深める。	明朝体やゴシック体について理解し、かく手順に沿って丁寧に仕上げる。		○実物投影機 ○プレゼンテーションソフト	計画的に見通しをもって制作することができた。	文字がもつ意味から、色や工夫することができた。	明朝体とゴシック体の特性を理解し、丁寧に彩色することができた。		・授業態度 ・練習作品 ・下描き ・作品 ・自己評価カード ・定期考査										
	5	モダンテクニック		・マーブリング・ドリップング・吹き流し ・デカルコマニー・フロッターージュ ・スパッタリング・パチック	生活の中でメッセージやテーマへの自分の思いを視覚的に伝える表現方法に関心をもつ。	テーマへの思いを深め、モダンテクニックを用いて効果的な表現方法を工夫する。	効果的な表現するための用具やモダンテクニックを選び、構成や彩色の工夫をして表現する。	友だちの表現の工夫を理解し、お互いの作品のよさを味わう。	○実物投影機 ○プレゼンテーションソフト ●鑑賞会(グループ発表) ●自己評価カード	自分のイメージを明確にもって計画的に制作することができた。	伝えることを目的とし、モダンテクニックやレタリングを効果的につかい、テーマへの自分の考えを構成することができた。	用具の使い方を工夫し、丁寧に着色、カラーージュすることができた。	作品からメッセージを感じとることができた。												
	6	コラージュ ポスターをつくる		・鑑賞 ・テーマ決め ・テーマを深める ・アイディアスケッチ ・コピー、レタリング ・レイアウト ・下描き ・配色計画 ・彩色、コラージュ ・作家横尾忠則、栗津清忠のレイアウトについて学ぶ																					
	7																								
2	9	アートガラス		・鑑賞 ・テーマ決め ・構図設計	スクラッチで表現することを知り、関心をもつ姿勢を養う。	スクラッチの表現を活かし、構図や彩色を工夫する。	画面の端まで丁寧にスクラッチで表現する。	班で鑑賞し合い、お互いのよさを伝え合う。	○実物投影機 ○プレゼンテーションソフト ●自己評価カード	スクラッチでの表現に関心をもって取り組むことができた。	テーマに合わせて、構図、彩色を工夫することができた。	丁寧にスクラッチをし、端まで意識して仕上げることができた。	作品のよさを感じ取り、相手に伝えることができた。	・授業態度 ・下描き ・作品 ・自己評価カード ・定期考査											
	10																								
	11																								
3	12	静物デッサン	・鑑賞 ・いろいろなタッチ ・形をとらえる ・立体感を表す ・質感を表す	光と影の関係を意識して立体感に注目する。	モチーフから光と影の調子の変化を感じとることができる。	卓上に置かれている状況を、光と影で描き表わす。また、造形を自然に見えるパースで描く。	参考作品から、螺鈿や伝統工芸のよさを感じ取る。	○実物投影機 ●自己評価カード	モチーフをよく観察し、計画的に制作することができた。	光のと影の関係を理解し、構図を決めることができた。	鉛筆の使い方を工夫して、立体感のある表現をする。														
	1														螺鈿	・鑑賞 ・テーマ決め ・設置場所設定 ・下描き ・制作 ★人間国宝、北村昭吉の作品に対する考え方、思いを学ぶ	螺鈿の技法について理解を深め、日本の伝統工芸や文化について関心をもつしそいを養う。	貝の繊細な模様からテーマを見つけ、下絵や構図を考える。	螺鈿の技法を知り、丁寧に裁断、漆で定着させる。	○実物投影機 ○プレゼンテーションソフト ●鑑賞会(グループ発表) ●自己評価カード	螺鈿技法に関心をもって、最後まで制作することができた。	テーマに合わせて、構図を工夫することができた。	制作の手順や方法を理解し、丁寧に仕上げることができた。	伝統工芸である、螺鈿の繊細さなどのよさを感じ取ることができた。	・授業態度 ・下描き ・作品 ・自己評価カード ・定期考査
	2																								
	3																								

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				○活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準(B)				評価方法
						美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力		美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力	
1	4		組み合わせ模写、空想画	鑑賞	・鑑賞 ・テーマ決め ・夢や空想からの発想 ・詩や物語、音楽からの発想 ・具体物からの発想 ・材料や技法からの発想 ・彩色、模写 ・印象派作家、シュルレアリスムの作家の構図について学ぶ	たくさんの名画を鑑賞し、美術の文化や歴史に関心をいだき、美術を愛好する態度を養う。	複数の名画から、自分なりのテーマを見つけ組み合わせや構成を考える。	描画材や用具の使い方を工夫し、タッチや色みなどを丁寧に表現していく。	鑑賞活動から、自己の想像に合う作品を見つけ出し作品のよさを感じ取る。	○実物投影機 ○プレゼンテーションソフト ●鑑賞(陳列発表) ●自己評価カード	単元に関心をもち、鑑賞し、作品を知ることができた。	鑑賞からテーマを決定し、構想を練ることができた。	描画材や用具を使って仕上げる事ができた。	教科書、資料集から作品を選び、作者や作品について知ることができた。	・練習作品 ・下描き ・作品 ・自己評価カード ・定期考査
	5			空想画 構図・構成練習											
	6			下描き・彩色											
	7		デザイン画	影と立体感について		物に影のつき方について理解する。		立体感のある影を描き分ける。		○実物投影機 ○プレゼンテーションソフト ●鑑賞会(陳列発表) ●自己評価カード	影のつき方を理解することができた。		影のつき方を理解し、描き分けることができた。		・練習作品 ・下描き ・作品 ・自己評価カード ・定期考査
2	9			配色について	・鑑賞 ・練習制作 ・テーマ決め ・下描き ・制作 ・着彩 ★作家アンディ・ウォーホルの色の分け方について学ぶ	色の感情について復習し、理解を深める。	テーマに合う配色を考える				色も感情について理解を深めることができた。	テーマに合う配色を組み合わせることができた。			
	10			下描き・彩色		立体感と配色の工夫に興味を抱く態度を養う。	構図や配色の工夫を考える。	立体感と影のつき方を理解する。丁寧に色を塗り分ける。	お互いに作品を見せ合い、制作の意図や表現について意見を伝えあい、表現のよさを感じ取る。		立体感と配色の効果を掛け合わせ、計画的に制作することができた。	立体感を表現する、配色、構図を考えることができた。	・立体感を表す稜線を描き分けることができた。 ・配色を工夫し、適量でムラなく彩色することができた。	作品のよさを感じ取り、伝え合うことができた。	
	11														
3	12		木彫			木彫の表現を理解し、日本の伝統工芸に対して関心をもち、中学最後の制作として、自分の思いを制作に活かす態度を養う。	木彫の表現を自分の想像する下絵に活かし、構想を練る。	彫刻刀を表現によって使い分け、彫る。素材や木目を活かし、着彩する。	木彫の歴史や工芸品について理解し、表現のよさを感じ取る。	○実物投影機 ●自己評価カード	伝統工芸に関心をもち、自分の中学生生活を振り返り、単元に取り組むことができた。	テーマ性をもって構成を練ることができた。	・彫刻刀を使い、仕上げる事ができた。 ・ポスターカラーや専用のニスで着彩し、仕上げる事ができた。	木彫の歴史や工芸品から、表現のよさを感じ取ることができた。	・下描き ・作品 ・自己評価カード ・定期考査
	1				・鑑賞 ・テーマ決め ・下描き ・彫る										
	2														
	3														

平成26年度 保健体育(男子) 第1学年 年間指導計画

月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				活用する ICT等 ●ことばの 力高める 言語活動	評価基準(B)				評価方法
					体育への関 心・意欲・態 度	思考・判断	技能	知識・理解		体育への関 心・意欲・態 度	思考・判断	技能	知識・理解	
4	6	体づくり	①体ほぐし運 ②体力を高め る運動	・心と体への気づき ・体の調子を整えるための運 ・体の柔らかさ、巧みな動き、 力強い動き、動きを持続する 能力を高めるための運動	体づくり運動 に関心を持ち、自 分から体ほぐし や体力を高める 運動をしよう とする。	自分の体力や 生活に応じた課 題を持って目的 に合った運動を 選び構成し活 用する。	体力を高める 運動をみにつ けたり、合理的 に体力をたか めたりするこ とができる。	体ほぐし、体力 を高める運動 の行い方、活 用の仕方を知 る。	○デジタルカメ ラ ●ワークシート を用いて運動 の方法を考える。	体づくりの特性 を理解し、学習 に取り組もうと している。	自分にあった 目標を立て、施 設、用具を利用 して運動に取り 組んでいる	のびのびとした 動作の運動が できる。運動に 応じた動きがで きる。	体ほぐし、体力 を高める運動 の行い方、高 め方活用の仕 方を知る。	行動観察 スポーツテスト 学習カード 定期テスト
			5	陸上競技	①短距離走	・全力を出して記録の向上を 目指して仲間同士で協力して 練習し、技能向上の喜びや楽 しさを味わう。 ☆スターター佐々木吉蔵さん を取り上げ真理の追究につ いて学習する。	体の調子や練 習場などの安 全を確かめ、健 康・安全に留意 しようとする。	自分の能力に 適した課題を もち、練習の仕 方や競技の仕 方を工夫する。	種目の特性に 応じた技能を 身につけ、その 技能を高め、競 技したり記録を 高めることが できる。	種目特性や学 習の進め方を 理解し、知識を 身につけてい る。ルール、競 技や審判方法 を知っている。	○デジタルカメ ラ ●学習カードを 用いて課題に 応じた練習方法 を考える。	楽しさを味わ いながら仲間と 協力して練習や 競技を行うこ とができる。	自分の能力に 適した課題を 設け、仲間と協 力して工夫した 能率的な練習や 競技を行うこと ができる。	能力に適した 技能や動きを 身につけ、技能 を高め、競技 したり記録を高 めたりすること ができる。
6	(保健) 心身の機 能の発達 と心の健 康	・身体機能の 発達 ・生殖にかか わる機能の成 熟	・器官が発育し機能が発達す る時期や発育、発達の個人差 ・内分泌の働きによる生殖に かかわる機能の成熟と成熟 の変化に伴う適切な行動		保健に関心を もって意欲的に 学習しようとし る。	心身の機能の 発達や心の健 康について問 題点をみつけ、 日常生活に当 てはめられる。	心身の機能の 発達や心の健 康について理 解する。	○テレビ ●ワークシート に書き込むこ とで自己の心身 の状態を把握 する。	・説明や教科書 をもとに、内容 を理解し資料 や友達の意見 を聞いて発表し ようとしている。	性差や個人差・ 男女の違いに 気づくことがで きる。 ・自分らしさを 考え、書くこと ができる。	心と体が関係し ていることを理 解し、ストレス を和らげ解消し たりする方法を 身につけてい る。	行動観察 発言 学習ノート 学習カード 資料の読み取り 学習プリント 定期テスト		
7	8	球技	①ネット型	バレーボール いまもっている技能を活用し てゲームを行い、集団的スキル や個人的スキルを高め、味方同 士が協力して作戦を立て、相 手チームに対応したゲームを する。	球技の特性に 関心を持ち進 んで取り組もう とする。自分の 役割と、責任を 果たし協力し ようとする。勝 敗に公正な態度 をとろうとする。	チームの課題 や自分の能力 に適した課題 の解決を目指 し、ルールを工 夫したり作戦を 立てたりして 練習の仕方を 工夫している。	選択した球技 種目の特性に 応じた技能を 身につけ、作戦 を生かした攻防 を展開してゲ ームができる。	種目の特性や 学び方、技術 の構造、合理 的な練習の仕 方を理解し、競 技や審判方法 を理解し、知識 を身につけてい る。	○デジタルカメ ラ ●作戦会議を行 い、チームメ イトと連携して 攻防を展開す るためのコミュ ニケーション能 力を養う。	ルールやマ ナーを守って練 習、ゲームに 取り組むことが できる	自己の課題や 役割を考え練習 やゲームが できる	基本的な技能 を身につけ、そ れを生かした ゲームがで きる。仲間と協 力してゲームが できる。	種目の特性や 学習の進め方 が理解できる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
			7・9	12	水泳	・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ ・バタフライ	水泳の特性に 関心を持ち協 力しながら健 康・安全に留意 して練習をし ようとする。	自分の能力に 適した課題の 解決を目指し て、練習の仕 方を工夫してい る。	水泳の特性に 応じた技能を 身につけ、長く 泳いだり、速く 泳いだりするこ とができる。	水泳の特性を 学び、競技方 法を理解し、事 故防止の知識 を身につけてい る。	○デジタルカメ ラ ●学習カードを 用いて課題に 応じた練習方法 を考える。	水泳を楽しみ ながら、安全の きまりや約束を 守り、学習に 取り組もうとし ている。	能力に応じた 泳法を選択して いる。自己の習 熟度を知り、適 した練習をする ことができる	基礎、基本的な 技能を身につ け、一定時間、 一定距離を泳 ぐことができる。
9	7	陸上競技	走幅跳	全力を出して記録の向上を 目指して仲間同士で協力して練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。	陸上競技に意 欲的に取り組 み、練習する うえでの健康・ 安全に留意し ようとする。	自分の能力に 適した課題を もち、練習の仕 方や競技の仕 方を工夫する。	種目の特性に 応じた技能を 身につけ、競技 したり記録を高 めたりするこ とができる。	種目特性や学 習の進め方、 練習や競技の 仕方、ルール や審判方法を 知っている	○デジタルカメ ラ ●学習カードを 用いて、課題に 応じた練習方法 を考える。	自分に適した 技を習得し、楽 しさを味わ い協力して取り 組むことがで きる。	自分の能力に 適した技を選 び、工夫して練習 することができる	自己の技能レ ベルに合った 技が、ある程度 安定してでき る。	練習の仕方 や練習計画の 立て方を理解 することができる	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
			10	10	器械運動	鉄棒 マット	自己に適した新しい課題を 選択して運動を行い、その技能 を高め、技がよりよくできる ようにする。また、新しい技を 上達するための練習の仕方を 工夫する。	器械運動の特 性に関心を持 ち進んで取り 組み協力して 安全に留意し て練習をし ようとする。	技を習得する ための練習方 法を工夫し練習 の場作り、仲間 との教えあいを 工夫している。	器械運動の特 性に応じた技 能を身につけ、 その技能を高 めて運動する ことができる	器械運動の特 性や学び方、 練習や技のき ばえの確かめ 方を理解し身 につけてい る。	○デジタルカメ ラ ●学習カードを 用いて課題に 応じた練習方法 を考える。	自分に適した 技を習得し、楽 しさ喜びを味 わい協力して 取り組むことが できる。	自分の能力に 適した技を選 び、工夫して練習 することができる

平成26年度 保健体育(男子) 第1学年 年間指導計画

#	11	7	武 道	柔 道	礼儀作法や相手を尊重する態度を重視し、基本動作と基本的な技を身につけ、自己の技能に応じた練習をする。	柔道に意欲的に取り組み礼儀作法や相手を尊重する態度を身につける。	基本的な技を身につけ、自分の能力に適した課題を設定し練習方法を選ぶ。	基本的な技を身につけ、基本動作を重視し対人的技能の練習をすることができる。	柔道の特性や学習の進め方、礼儀作法、試合の運営やルールを知る。	○テレビ ●ワークシート を用いて技の特性を把握し、理解する。	相手を尊重して礼儀作法を守り、練習や試合に取り組もうとしている。	動きの中で、崩しと体さばきを意識して技をかけている。	基本的な技を身につけ、練習に取り組むことができる。	資料などを参考に、練習に生かす方法を知っている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
		10	球 技	ベースボール型 ゴール型	ソフトボール、バスケットボール、いままっている技能を活用して、集団的・個人的技能を高め、味方同士が協力して作戦を立て、相手チームに対応したゲームをする。	球技の特性に関心をもち進んで取り組もうとする。役割と、責任を果たし協力して、勝敗に公正な態度をとうとする。	チームの課題や自分の能力に適した練習の仕方を工夫している。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身につけ、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	種目の特性や学習の進め方、技術の構造、合理的な練習の仕方、競技や審判方法を理解し、知識を身につけている。	○デジタルカメラ ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身につけ、それを生かしたゲームができる。各球技種目を仲間と協力してゲームができる。	球技種目の特性や学習の進め方が理解できる。	学習カード 実技テスト 行動観察 定期テスト
		4	(保健)	心身の機能の発達と心の健康	精神機能の発達と自己形成 ・精神機能は生活経験などの影響を受けて発達する ・自己の認識の深まりと自己形成の関係	保健に関心をもち意欲的に学習しようとする。	精神機能の発達について問題点をみつけ、考えられる。		性差や個人差・ストレスへの対処法を理解する。	○テレビ ●ワークシート で心身の状態を把握する。	説明や教科書等をもとに、学習内容を理解しようとする。	性差や個人差・男女の違いに気づき書くことができる。		心と体が関係して健康を保っていることを理解する。	行動観察 発言 学習カード 定期テスト
		7	陸上競技	長距離走	全力を出して記録の向上を目指して仲間同士で協力して練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。	練習をするうえでの健康・安全に留意しようとする。	能力に適した課題をもち、練習や競技の仕方を工夫している。	種目の特性に応じた技能を身につけ、競技したり記録を高めることができる。	種目特性や学習の進め方、ルール、競技や審判方法を理解している。	○ビデオカメラ ●ワークシート を用いてベースの重要性を理解する。	楽しさを味わいながら仲間と協力して練習や競技を行うことができる。	能力に適した課題を設け、仲間と協力し工夫した練習や競技を行うことができる。	能力に適した技能を身につけ、競技したり記録を高めたりすることができる。	陸上競技の特性や学習の進め方が理解できている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
2	8		球 技	ゴール型	サッカー いままっている技能を活用してゲームを行い、集団的・個人的技能を高め、味方同士が協力して作戦を立て、相手チームに対応したゲームをする。	球技の特性に関心をもち進んで取り組もうとする。役割と、責任を果たし協力して、勝敗に公正な態度をとうとする。	チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指す、練習の仕方を工夫している。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身につけ、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	種目の特性や学習の進め方、技術の構造、合理的な練習の仕方、競技や審判方法を理解し、知識を身につけている。	○デジタルカメラ ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身につけ、それを生かしたゲームができる。各球技種目を仲間と協力してゲームができる。	球技種目の特性や学習の進め方が理解できる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
		2	(保健)	心身の機能の発達と心の健康	欲求やストレスへの対処と心の健康 ・精神や身体相互の影響 ・欲求やストレスの心身への影響 ・欲求やストレスへの適切な対処方法	保健に関心をもち意欲的に学習しようとする。	心身の機能の発達や心の健康の問題点をみつけ、生活に当てはめられる。	心身の機能の発達や心の健康について理解する。	○テレビ ●ワークシート に書き込み自己の心身の状態を把握する。	説明や教科書等をもとに、内容を理解し、意見を聞いて発表しようとしている。	性差や個人差・男女の違いに気づき書くことができる。		心と体が関係して健康を保っていることを理解する。	行動観察 発言 学習カード 定期テスト	
		4	体育理論	運動やスポーツの多様性	・運動やスポーツの必要性和楽しさ。 ・運動やスポーツへの多様なかわり方 ・運動やスポーツの学び方	仲間の考えや意見を聞いたり、集めた資料を活用して意見を発表しようとする。	学習したことを日常生活に当てはめることができる。	運動やスポーツは多様であることを理解できるようにする。	○テレビ ●ワークシート を用いて運動やスポーツの多様性を理解する。	教師の説明や教科書、学習ノート等をもとに、学習内容を理解しようとしている。	自己の体験などを日常生活に当てはめて考えることができる。		運動やスポーツ多様性を理解している。	定期テスト	
		7	ダンス	創作ダンス 現代的なリズムのダンス	生活の中から生まれ伝承されている日本や外国のいろいろな踊り方を身につけて、踊る楽しさやよさを味わう。	ダンスの特性に関心をもち、楽しく取り組もうとする。	自己に適した課題をもち、動きに工夫を加えたりして練習する。	基本となるステップや動き方を身につけて踊ることができる。	ダンスがその国の生活から生まれ伝承されてきた踊りであることを知る。	○ビデオカメラ ●グループワーク を行い、コミュニケーション能力を養う。	互いの動き、表現を認め、よりよくなるよう練習、協力しあう。	資料を活用し、ダンスのリズムや踊り方を知り、動きを工夫して楽しく踊っている。	選択したダンスの基本ステップを身につけ、リズムカルにのびのびと踊ることができる。	ダンスの由来やいろいろなダンスのよい動きを理解し、鑑賞の仕方を知っている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト

月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				活用する ICT等 ●ことばの 力をもつ 言語活動	評価基準(B)				評価方法
					体育への関 心・意欲・態 度	思考・判断	技能	知識・理解		体育への関 心・意欲・態 度	思考・判断	技能	知識・理解	
4	5	体づくり	①体ほぐし運 ②体力を高め る運動	・心と体への気づき ・体の調子を整えるための運 ・体の柔らかさ、巧みな動き、 力強い動き、動きを持続する 能力を高めるための運動	体づくり運動に 関心を持ち、自 分から体ほぐし や体力を高め る運動をしよう とする。	自分の体力や 生活に応じた課 題を持って目的 に合った運動を 選び構成し活 用する。	体力を高める 運動をみにつ けたり、合理的 に体力をたか めたりすること ができる。	体ほぐし、体力 を高める運動 の行い方、運 動の構成の仕 方や活用の仕 方を知る。	○デジタルカメ ラ ●ワークシート を用いて運動の 方法を考える。	体づくりの特性 を理解し、学習 に取り組もうと している。	自分にあつた 目標を立て、施 設、用具を利用 して運動に取り 組んでいる。	のびのびとした 動作の運動が できる。運動に 応じた動きがで きる。	体ほぐし、体力 を高める運動 の行い方、運 動の構成の仕 方や活用の仕 方を知る。	行動観察 スポーツテスト 学習カード 定期テスト
	5	陸上競技	①短距離走	・全力を出して記録の向上を 目指して仲間同士で協力して 練習し、技能向上の喜びや楽 しさを味わう。	体の調子や練 習場などの安 全を確かめ、健 康・安全に留意 しようとする。	自分の能力に 適した課題をも ち、練習の仕方 や競技の仕方 を工夫している。	種目の特性に 応じた技能を身 につけ、その技 能を高め、競技 したり記録を高 めたりすること ができる。	種目特性や学 習の進め方を 理解し、知識を 身につけている。 ルール、競 技や審判方法 を知っている。	○デジタルカメ ラ ●学習カードを 用いて課題に応 じた練習方法を 考える。	楽しさを味わい ながら仲間と協 力して練習や 競技を行うこと ができる。	自分の能力に 適した課題を設 け、仲間と協力 し工夫した能率 的な練習や競 技を行うことが できる。	能力に適した 技能や動きを 身につけ、技能 を高め、競技し たり記録を高 めたりすること ができる。	陸上競技の特 性や学習の進 め方が理解で きている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
6	7	(保健) ・健康と環 境 ・傷害の 防止	・身体環境 に対する適応 能力、至適範 囲 ・応急手当	・身体環境の適 能力を超えた環 境の健康への影響を理解する。 ・快適で能率のよい生活がで きる環境の範囲があることを 理解する。	保健に関心を もって意欲的に 学習しようとし る。	健康と環境に ついて問題点を みつけ、日常生活に 当てはめられ る。	健康と環境に ついて理解し、 知識を身につ けている。	○テレビ ●ワークシート に書き込むこと で自己の心身 の状態を把握す る。	・説明や教科書 をもとに、内容 を理解し資料 や友達の見解 を聞いて発表し ようとしている。	・身体環境の適 応範囲を理解して いる。 ・日常生活にお ける工夫を考 え、書くことが できる。		・身体環境に 対する適応能 力とその限界 についての知 識を身につけ ている。	行動観察 発言 学習ノート 学習カード 資料の読み取り 学習プリント 定期テスト	
7	8	球技	①ネット型	バレーボール いまもっている技能を活用し てゲームを行い、集団的技 能や個人の技能を高め、味方同 士が協力して作戦を立て、相 手チームに対応したゲームを する。	球技の特性に 関心をもち進 んで取り組もう とする。自分の 役割と、責任を 果たし協力しよ うとする。勝敗に 公正な態度をと ろうとする。	チームの課題 や自分の能力に 適した課題の 解決を目指し、 ルールを工夫し たり作戦を立て たりして練習の 工夫を工夫して いる。	選択した球技 種目の特性に 応じた技能を身 につけ、作戦を 生かした攻防を 展開してゲー ムができる。	種目の特性や 学び方、技術 の構造、合理 的な練習の仕 方を理解し、競 技や審判方法 を理解し、知識 を身につけてい る。	○デジタルカメ ラ ●作戦会議を 行い、チームメ イトと連携して 攻防を展開す るためのコミュニ ケーション能力 を養う。	ルールやマ ナーを守って練 習、ゲームに取 り組むことが できる。	自己の課題や 役割を考え練 習やゲームが できる。	基本的な技能 を身につけ、そ れを生かした ゲームがで きる。仲間と協 力してゲームが できる。	種目の特性や 学習の進め方 が理解できる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
7・9	10	水泳		・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ ・バタフライ	水泳の特性に 関心を持ち協 力し、健康・安 全に留意して 練習をしよう とする。	自分の能力に 適した課題の 解決を目指し て、練習の仕方 を工夫してい る。	水泳の特性に 応じた技能を身 につけ、長く、 速く泳いだりす ることができる。	水泳の特性を 学び、競技方 法を理解し、事 故防止の知識 を身につけてい る。	○デジタルカメ ラ ●学習カードを 用いて課題に応 じた練習方法を 考える。	水泳を楽しみな がら、安全のき まりや約束を守 り、学習に取り組 もうとしている。	能力に応じた 泳法を選択し 自己の習熟度 を知り、練習を することができ る。	基礎、基本的な 技能を身につ け、一定時間、 一定距離を泳 ぐことができる。	水泳の特性、 練習方法や ルールを理解 し知識を身に つけている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
9	6	陸上競技	走幅跳	全力を出して記録の向上を 目指して仲間同士で協力して 練習し、技能向上の喜びや楽 しさを味わう。	陸上競技に意 欲的に取り組 み、健康・安全 に留意しよう とする。	自分の能力に 適した課題をも ち、練習の仕方 や競技の仕方 を工夫している。	種目の特性に 応じた技能を身 につけ、競技 し、記録を高く することができる。	種目特性や学 習の進め方、 練習の仕方、 ルールや審判 方法を知ってい る。	○デジタルカメ ラ ●学習カードを 用いて、練習方 法を考える。	自分に適した 技を習得し、楽 しさを味わい 協力して取り 組むことができ る。	自分の能力に 適した技を選 び、工夫して練 習することがで きる。	自己の技能レ ベルに合った 技が、ある程度 安定してでき る。	練習の仕方 や練習計画の 立て方を理解 することができる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
	8	器械運動	鉄棒 マット	自己に適した新しい課題を選 択して運動を行い、その技能 を高め、技がよりよくできるよ うにする。また、新しい技を上 達するための練習の工夫をする。	器械運動の特 性に関心をも ち進んで取り組 み、互いに協力 し、安全に留意 して練習をしよ うとする。	技を習得する ための練習の 工夫を工夫して いる。練習の場 作りの方法、仲 間の教えあいを 工夫している。	器械運動の特 性に応じた技 能を身につけ、 その技能を高 めて運動する ことができる。	器械運動の特 性や学び方、 練習の仕方、 技の確かさを 理解し身につ けている。	○デジタルカメ ラ ●学習カードを 用いて課題に応 じた練習方法を 考える。	自分に適した 技を習得し、楽 しさを味わい 協力して取り 組むことができ る。	自分の能力に 適した技を選 び、工夫して練 習することがで きる。	自己の技能レ ベルに合った 技が、ある程度 安定してでき る。	練習の仕方 や練習計画の 立て方を理解 することができる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
10														

平成26年度 保健体育(男子) 第2学年 年間指導計画

駒の学び舎 世田谷区立駒沢中学校

#	7	武道	柔道	礼儀作法や相手を尊重する態度を重視し、基本動作と基本的な技を身につけ、自己の技能に応じた練習をする。	柔道に意欲的に取り組み、礼儀作法や相手を尊重する態度を身につけようとする。	基本的な技を身につけ、自分の能力に適した課題を設定し練習方法を選ぶ。	基本的な技を身につけ、基本動作を重視し、対人的技能の練習をすることができる。	柔道の特性や学習の進め方、礼儀作法、試合の運営やルールを知る。	○テレビ ●ワークシートを用いて技の特性を把握し、理解する。	相手を尊重して礼儀作法を守り、練習や試合に取り組もうとしている。	動きの中で、崩しと体さばきを意識して技をかけている。	基本的な技を身につけ、練習に取り組むことができる。	資料などを参考に、練習に生かす方法を知っている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
	10	球技	ベースボール型 ゴール型	ソフトボール、バスケットボール、いもっている技能を活用して、ゲ集的スキルや個人的技能を高め、味方同士が協力して作戦を立て、相手チームに対応したゲームをする。	球技の特性に関心を持ち進んで取り組もうとする。役割と、責任を果たして協力し勝敗に公正な態度をとろうとする。	チームの課題や自分の能力に適した練習の仕方をつき、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身につけ、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	選択した球技種目の特性や学習の進め方、技術の構造、合理的な練習の仕方や審判方法や審判方法を理解し、知識を身につけている。	○デジタルカメラ ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身につけ、それを生かしたゲームができる。各球技種目を仲間と協力してゲームができる。	球技種目の特性や学習の進め方が理解できる。	学習カード 実技テスト 行動観察 定期テスト
#	6	(保健)	健康と環境	・飲料水や空気の衛生的管理 ・生活に伴う廃棄物の衛生的管理	・健康と飲料水や空気との関わり ・健康のための基準に適合した飲料水や空気の管理 ・生活によって生じた廃棄物の衛生的な処理の必要性	保健に関心をもって意欲的に学習しようとする。	健康と環境の関わりについて問題点をつき、考えられる。	人間の健康は環境と深く関わって成立していることを理解している。	○テレビ ●ワークシートで心身の状態を把握する。	説明や教科書等をもとに、学習内容を理解しようとする。	人間の健康と環境の関わりについて気づき書くことができる。		身体に環境に対する適応能力と限界について知識を身につけている。	行動観察 発言 学習カード 定期テスト
1	7	陸上競技	長距離走	全力を出して記録の向上を目指して仲間同士で協力して練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。	練習をするうえでの健康・安全に留意しようとする。	能力に適した課題をもち、練習や競技の仕方を工夫している。	種目の特性に応じた技能を身につけ、競技たり記録を高めることができる。	種目特性や学習の進め方、ルール、競技や審判方法を理解している。	○ビデオカメラ ●ワークシートを用いてペースの重要性を理解する。	楽しさを味わいながら仲間と協力して練習や競技を行うことができる。	能力に適した課題を設け、仲間と協力し工夫した練習や競技を行うことができる。	能力に適した技能を身につけ、競技したり記録を高めたりすることができる。	陸上競技の特性や学習の進め方が理解できている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
	8	球技	ゴール型	サッカー、いもっている技能を活用してゲームを行い、集的スキルや個人的技能を高め、味方同士が協力して作戦を立て、相手チームに対応したゲームをする。	球技の特性に関心を持ち進んで取り組もうとする。役割と、責任を果たし協力して勝敗に公正な態度をとろうとする。	チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指し、練習の仕方を工夫している。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身につけ、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	種目の特性や学習の進め方、技術の構造、合理的な練習の仕方や審判方法を理解し、知識を身につけている。	○デジタルカメラ ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身につけ、それを生かしたゲームができる。各球技種目を仲間と協力してゲームができる。	球技種目の特性や学習の進め方が理解できる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
2	6	(保健)	傷害の防止	交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因とその防止	・人的・環境要因などのかかりによる傷害の発生 ・安全な行動、環境の改善による傷害の防止。 ・自然災害による傷害と二次災害による傷害とその防止	保健に関心をもって意欲的に学習しようとする。	心身の機能の発達や心の健康の問題点をみつけ生活に当てはめられる。	健康と環境について理解する。	○テレビ ●ワークシートに書き込み自己の心身の状態を把握する。	説明や教科書をもとに、内容を理解し、意見を聞いて発表しようとしている。	人間を含めた生物と環境のかかわりに気づき書くことができる。		身体に環境に対する適応能力と限界について知識を身につけている。	行動観察 発言 学習カード 定期テスト
	4	体育理論	運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全	・運動やスポーツによる、身体力の発達、体力の向上や自信の獲得ストレスの解消などの効果。 ・運動やスポーツによる社会性の向上 ☆フィギュアスケートの浅田真央選手を取り上げ、強い意志について学ぶ	仲間と考えや意見を聞いたり集めた資料を活用し、自己の意見を発表しようとする。	学習したことを日常生活に当てはめることができる。	運動やスポーツが心身の発達に影響を与えることを理解している。	運動やスポーツが心身の発達に与える影響を、学習内容を理解している。	○テレビ ●ワークシートを用いて運動やスポーツの多様性を理解する。	教師の説明や教科書、学習ノート等をもとに、学習内容を理解しようとしている。	自己の体験などを日常生活に当てはめて考えることができる。		心身の発達と運動やスポーツの関係性を理解している。	定期テスト
3	6	ダンス	創作ダンス 現代的なリズムのダンス	生活の中から生まれ伝承されている日本や外国のいろいろな踊り方を身につけて、踊る楽しさやよこびを味わう。	ダンスの特性に関心を持ち、楽しんで取り組もうとする。	自己に適した課題をもち、動きに工夫を加えたり練習する。	基本となるステップや動き方を身につけて踊ることができる。	ダンスがその国の生活から生まれ伝承されてきた踊りであることを知る。	○ビデオカメラ ●グループワークを行い、コミュニケーション能力を養う。	互いの動き、表現を認め、よりよくしようと練習、協力しよう。	資料を活用し、ダンスのリズムや踊り方を知り、動きを工夫して楽しく踊っている。	選択したダンスの基本ステップを身につけ、リズムカルにのびのびと踊ることができる。	ダンスの由来やいろいろなダンスのよい動きを理解し、鑑賞の仕方を知っている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				活用する ICT等 ●ことばの 力をもつ 言語活動	評価基準(B)				評価方法
						体育への関 心・意欲・態 度	思考・判断	技能	知識・理解		体育への関 心・意欲・態 度	思考・判断	技能	知識・理解	
1	4	8	体づくり	①体ほぐし運 ②体力を高め る運動	・心と体への気づき ・体の調子を整えるための運 ・体の柔らかさ、巧みな動き、 力強い動き、動きを持続する 能力を高めるための運動	体づくり運動に 関心を持ち、自 分から体ほぐし や体力を高め る運動をしよう とする。	自分の体力や 生活に応じた課 題を持って目的 に合った運動を 選び構成し活用 する。	体力を高める 運動をみにつ けたり、合理的 に体力をたか めたりすること ができる。	体ほぐし、体力 を高める運動 の行い方を知 り、運動の構成 の仕方や活用 の仕方を知る。	○デジタルカメラ ●ワークシート を用いて運動の 方法を考える。	体づくりの特性 を理解し、学習 に取り組もうと している。	自分にあった 目標を立て、施設、 用具を利用して運動に 取り組んでいる	のびのびとした 動作の運動が できる。運動に 応じた動きがで きる。	体ほぐし、体力 を高める運動 の行い方、を知 り、運動の構成 の仕方や活用 の仕方を知る。	行動観察 スポーツテスト 学習カード 定期テスト
	5	10	陸上競技	①短距離走 ②リレー ③ハードル	・全力を出して記録の向上を 目指して仲間同士で協力して 練習し、技能向上の喜びや楽し さを味わう。	体の調子や練習 場などの安全 を確かめ、健康 ・安全に留意し ようとする。	自分の能力に 適した課題をもち、 練習の仕方 や競技の仕方 を工夫している。	種目の特性に 応じた技能を身 につけて競技したり 記録を高めたり することができる。	種目特性や学 習の進め方を 理解し、ルール や審判方法を 知っている。	○デジタルカメラ ●学習カードを 用いて課題に応 じた練習方法を 考える。	楽しさを味わい ながら仲間と協 力して練習や 競技を行うこと ができる。	自分の能力に 適した課題を設 け、仲間と協力 して工夫した練習 や競技を行うこ とができる。	能力に適した 技能や動きを 身につけて、競技 したり記録を高 めたりすること ができる。	陸上競技の特 性や学習の進 め方が理解で きている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
	6	7	(保健) 健康な生 活と疾病 の予防	・健康の成り 立ちと疾病 の発生要因 ・生活行動生 活習慣と健康	・健康の成り立ち、主体と環 境の要因のかかりによって 起こる疾病 ・食事・運動・休養及の調和の とれた生活の継続 ・生活習慣の乱れと生活習慣。	保健に関心を もって意欲的に 学習しようとする。	健康な生活や 疾病の予防に ついて問題点を みつけ、日常生活 に当てはめら れる。	健康な生活や 疾病の予防に ついて理解し、 知識をみにつ けている。	○ビデオ ●ワークシート に書き込むこと で自己の心身 の状態を把握す る。	説明や教科書 等をもとに、内 容を理解し資料 や友達の見解を 参考に発表しよう としている。	健康な生活と 疾病の予防を 知り、日常生活 における工夫を 考え、書くこと ができる。		資料を使って、 医療機関やサ ービス機関につ いてまとめるこ とができる。	行動観察 発言 学習ノート 学習カード 資料の読み取り 学習プリント 定期テスト	
	7	10	球技	①ネット型	バレーボール いまもっている技能を活用し てゲームを行い、集団的技 能や個人的技能を高め、味方同 士が協力して作戦を立て、相 手チームに対応したゲームを する。	球技の特性に 関心を持ち進 んで取り組もう とする。自分の役 割と、責任を果 たし協力しよ うとする。勝敗に 公正な態度をと ろうとする。	チームの課題 や自分の能力 に適した課題の 解決を目指し、 ルールを工夫し たり作戦を立て たりして練習の 工夫を工夫して いる。	選択した球技 種目の特性に 応じた技能を身 につけて、作戦を 生かした攻防を 展開してゲー ムができる。	種目の特性や 学び方、技術 の構造、合理的 な練習の仕方 を理解し、競 技や審判方法を 理解し、知識 を身につけてい る。	○デジタルカメラ ●作戦会議を 行い、チームメ イトと連携して 攻防を展開する ためのコミュニ ケーション能力 を養う。	ルールやマ ナーを守って練習 やゲームに取 り組むことがで きる	自己の課題や 役割を考え練習 やゲームが できる	基本的な技能 を身につけて、そ れを生かした ゲームができ る。仲間と協力 してゲームがで きる。	種目の特性や 学習の進め方 が理解できる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
2	7・9	10	水泳		・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ ・バタフライ	水泳の特性に 関心を持ち健康 ・安全に留意し て練習をしよう とする。	自分の能力に 適した課題の 解決を目指し て、練習の仕方 を工夫してい る。	水泳の特性に 応じた技能を身 につけて、長く、 速く泳いだりす ることができる。	水泳の特性を 学び、競技方 法を理解し、事 故防止の知識 を身につけてい る。	○デジタルカメラ ●学習カードを 用いて課題に応 じた練習方法を 考える。	水泳を楽しみな がら、安全のき まりや約束を守 り、学習に取り 組もうとしている。	能力に応じた 泳法を選択し 自分の習熟度 を知り、練習を することができる。	基礎、基本的な 技能を身につ けて、一定時間、 一定距離を泳 ぐことができる。	水泳の特性、 練習方法や ルールを理解し、 知識を身につ けている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
	9	8	陸上競技	走幅跳	全力を出して記録の向上を 目指して仲間同士で協力して練習 し、技能向上の喜びや楽し さを味わう。	陸上競技に意 欲的に取り組 み、練習をする うえでの健康 ・安全に留意し ようとする。	自分の能力に 適した課題をもち、 練習の仕方 や競技の仕方 を工夫している。	種目の特性に 応じた技能を身 につけて、競技し たり記録を高め たりすることが できる。	種目特性や学 習の進め方、 練習や競技の 仕方、ルール や審判方法を 知っている。	○デジタルカメラ ●学習カードを 用いて、課題に 応じた練習方法 を考える。	自分に適した 技を習得し、楽し さや喜びを味わ い協力して取り 組むことができる。	自分の能力に 適した技を選 び、工夫して練習 することができる。	自己の技能レ ベルに合った 技が、ある程度 安定してでき る。	練習の仕方 や練習計画の建 て方を理解す ることができる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
	10	8	器械運動	鉄棒 マット	自己に適した新しい課題を選 択して運動を行い、その技能 を高め、技がよりよくできるよ うにする。また、新しい技を上 達するための練習の工夫をする。	器械運動の特 性に関心をも ち進んで取り組 み、互いに協力 し、安全に留意 して練習をしよう とする。	技を習得するた めの練習の仕 方を工夫してい る。練習の場作 りの方法、仲間 との教えあいを 工夫している。	器械運動の特 性に応じた技 能を身につけて、 その技能を高 めて運動するこ とができる	器械運動の特 性や学び方、 練習の仕方 や技のきかえ の確かめ方を 理解し身につ けている。	○デジタルカメラ ●学習カードを 用いて課題に応 じた練習方法を 考える。	自分に適した 技を習得し、楽し さや喜びを味わ い、協力して 取り組むことが できる。	自分の能力に 適した技を選 び、工夫して練習 することができる。	自己の技能レ ベルに合った 技が、ある程度 安定してでき る。	練習の仕方 や練習計画の建 て方を理解す ることができる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト

3	11	8	球 技	ベースボール 型 ゴール型	ソフトボール バスケットボール いまもっている技能を活用して て集団的スキルや個人的技能 を高め、味方同士が協力して 作戦を立て、相手チームに 対応したゲームをする。	球技の特性に 関心をもち進ん で取り組もうと する。役割と、 責任を果たし協 力し、勝敗に公 正な態度をとろ うとする。	チームの課題 や自分の能力 に適した練習の 仕方を工夫して いる。	選択した球技 種目の特性に 応じた技能を身 につけ、作戦を 生かした攻防を 展開してゲーム ができる。	種目の特性や 学び方、技術 の構造、合理的 な練習の仕方 を理解し、競技 や審判方法を理 解し、知識をみ につけている。	○デジタルカメ ラ ●作戦会議を 行い、チームメ イトと連携して 攻防を展開する ためのコミュニ ケーション能力 を養う	ルールやマ ナーを守って練 習、ゲームに取 り組むことがで きる。	自己の課題や 役割を考え練習 やゲームが できる。	基本的な技能 を身につけ、そ れを生かした ゲームができる。 各球技種目を 仲間と協力して ゲームができる。	球技種目の特 性や学習の進 め方が理解で きる	学習カード 実技テスト 行動観察 定期テスト
		4	(保健) 健康な生 活と疾病 の予防	・喫煙、飲酒、 薬物乱用と健康 ・感染症の予 防	心身への様々な影響、健康を 損なう原因、個人の心理状態 や人間関係、社会環境などの 要因に対する適切な対処方 法を理解する。	保健に関心を もって意欲的に 学習しようとし る。	健康の保持増 進に必要な生 活について問 題点をみつけ、 考えられる。		健康な生活や 疾病の予防に ついて理解し、 知識をみにつ けている。	○テレビ ●ワークシート で心身の状態を 把握する。	説明や教科書 等をもとに、学 習内容を理解 しようとする。	健康な生活と 疾病の予防を 知り、生活の工 夫を考え書くこ とができる。		資料を使い医 療機関やサー ビス機関につ いてまとめるこ とができる。	行動観察 発言 学習カード 定期テスト
	12	8	陸上競技	長距離走	全力を出して記録の向上を目 指して仲間同士で協力して練 習し、技能向上の喜びや楽し さを味わう。	練習をするう えでの健康・安全 に留意しよう とする。	能力に適した課 題をもち、練習 や競技の仕方 を工夫してい る。	種目の特性に 応じた技能を身 につけ、競技し たり記録を高め ることができる。	種目特性や学 習の進め方、 ルール、競技 や審判方法を 知っている。	○ビデオカメ ラ ●ワークシート を用いベースの 重要性を理解す る。	楽しさを味わ いながら仲間と 協力して練習や 競技を行うこと ができる。	能力に適した 課題を設け、仲 間と協力し工夫 した練習や競 技を行うことが できる。	能力に適した 技能を身につ け、競技したり 記録を高めたり することができる。	陸上競技の特 性や学習の進 め方が理解で きている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
		10	球 技	ゴール型	サッカー いまもっている技能を活用し てゲームを行い、集団的スキル や個人的技能を高め、味方同 士が協力して作戦を立て、相 手チームに対応したゲームを する。	球技の特性に 関心をもち進ん で取り組もうと する。役割と、 責任を果たし協 力し、勝敗に公 正な態度をとろ うとする。	チームの課題 や自分の能力 に適した課題の 解決を目指し、 練習の仕方を 工夫している。	選択した球技 種目の特性に 応じた技能を身 につけ、作戦を 生かした攻防を 展開してゲーム ができる。	種目の特性や 学び方、技術 の構造、合理的 な練習の仕方 を理解し、競技 や審判方法を理 解し、知識をみ につけている。	○デジタルカメ ラ ●作戦会議を 行い、チームメ イトと連携して 攻防を展開する ためのコミュニ ケーション能力 を養う。	ルールやマ ナーを守って練 習、ゲームに取 り組むことがで きる。	自己の課題や 役割を考え練習 やゲームが できる。	基本的な技能 を身につけ、そ れを生かした ゲームができる。 各球技種目を 仲間と協力して ゲームができる。	球技種目の特 性や学習の進 め方が理解で きる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
	2	4	(保健) 健康な生 活と疾病 の予防	・保健、医療 機関や医薬品 の有効利用 ・健康を守る 社会の取り組 み	・健康の保持増進や疾病予防 の役割を担う保健、医療機関 の利用方法や医薬品の使用 方法。 ・個人の健康と社会的な取り 組みとのかかわり	保健に関心を もって意欲的に 学習しようとし る。	健康の保持増 進に必要な生 活について問 題点をみつけ、 考えられる		健康な生活や 疾病の予防に ついて理解し、 知識をみにつ けている。	○テレビ ●ワークシート に書き込み自己 の心身の状態 を把握する。	説明や教科書 等をもとに、内 容を理解し意 見を聞いて発 表しようとして いる。	健康な生活と 疾病の予防を 知り、生活の工 夫を考え書くこ とができる。		資料を使い医 療機関やサー ビス機関につ いてまとめるこ とができる。	行動観察 発言 学習カード 定期テスト
		4	体育理論	文化としての スポーツの意 義	・現代生活におけるスポーツ の文化的意義。 ・国際的なスポーツ大会など の意義や人々を結び付ける スポーツの文化的な働き。	仲間の考えや 意見を聞き、集 めた資料を活 用し意見を発 表しようとし る。	学習したこと を日常生活に 当てはめるこ とができる。		文化としてのス ポーツの意義 について理解し ている。	○テレビ ●ワークシート を用い運動やス ポーツの多様性 を理解しよう とする。	教師の説明や 教科書、学習 ノート等をも とに、学習内容を 理解しようとし ている。	自己の体験な どを日常生活 に当てはめて 考えることが できる。		文化としてのス ポーツの意義 や役割を理解 している。	定期テスト
	3	6	球技	ベースボール 型 ゴール型	ソフトボール バスケットボール いまもっている技能を活用して て集団的スキルや個人的技能 を高め、味方同士が協力して 作戦を立て、相手チームに 対応したゲームをする。 ★プロ野球の川相昌弘選手 を取り上げ強い意志について 学ぶ	球技の特性に 関心をもち取 組もうとする。 役割、責任を果 たし勝敗に公 正な態度をとろ うとする。	チームの課題 や自分の能力 に適した課題の 解決を目指し、 練習の仕方 を工夫している。	種目の特性に 応じた技能を身 につけ、作戦を 生かした攻防を 展開してゲーム ができる。	種目の特性や 学び方、合理的 な練習の仕方 を理解し、競技 や審判方法を理 解し、知識をみ につけている。	○ビデオカメ ラ ●作戦会議を 行い、コミュニ ケーション能力 を養う。	ルールやマ ナーを守って練 習、ゲームに取 り組むことがで きる。	自己の課題や 役割を考え練習 やゲームが できる。	基本的な技能 を身につけ、各 球技種目を仲間 と協力してゲーム ができる。	球技種目の特 性や学習の進 め方が理解で きる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				活用するICT等 ●ことばの力を 高める言語活動	評価基準(B)				評価方法															
						体育への関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解		体育への関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解																
1	4	6	体づくり	①体ほぐし運動 ②体力を高める運動	・心と体への気づき ・体の調子を整えるための運動 ・体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動	体づくり運動に関心を持ち、自分から体ほぐしや体力を高める運動をしようとする。	自分の体力や生活に応じた課題を持って目的に合った運動を選び構成し活用する。	体力を高める運動を身につけたり、合理的に体力を高めたりすることができる。	体ほぐし、体力を高める運動の行い方、活用の仕方を知る。	○デジタルカメラ ●ワークシートを用いて運動の方法を考える。	体づくりの特性を理解し、学習に取り組もうとしている。	自分にあった目標を立て、施設、用具を利用して運動に取り組んでいる。	のびのびとした動作の運動ができる。運動に応じた動きができる。	体ほぐし、体力を高める運動の行い方、高め方活用の仕方を知る。	行動観察 スポーツテスト 学習カード 定期テスト															
																5	8	ダンス	創作ダンス 現代的なリズムのダンス	生活の中から生まれ伝承されている日本や外国のいろいろな踊り方を身につけて、踊る楽しさやよろこびを味わう。	ダンスの特性に関心をもち、楽しんで取り組もうとする。	自己に適した課題をもち、動きに工夫を加えたりして練習する。	基本となるステップや動き方を身につけて踊ることができる。	ダンスがその国の生活から生まれ伝承されてきた踊りであることを知る。	○ビデオカメラ ●グループワークを行い、コミュニケーション能力を養う。	互いの動き、表現を認め、よりよくしようと練習、協力しあう。	資料を活用し、ダンスのリズムや踊り方を知り、動きを工夫して楽しく踊っている。	選択したダンスの基本ステップを身につけ、リズムカルにのびのびと踊ることができる。	ダンスの由来やいろいろなダンスのよい動きを理解し、鑑賞の仕方を知っている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
	7	8	陸上競技	走幅跳	全力を出して記録の向上を目指して仲間同士で協力して練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。	陸上競技に意欲的に取り組み、練習をするうえでの健康・安全に留意しようとする。	自分の能力に適した課題をもち、練習の仕方や競技の工夫を工夫している。	種目の特性に応じた技能を身につけ、競技したり記録を高めたりすることができる。	種目特性や学習の進め方、練習や競技の仕方、ルールや審判方法を知っている。	○デジタルカメラ ●学習カードを用いて課題に応じた練習方法を考える。	自分に適した技を習得し、楽しさ喜びを味わい協力して取り組むことができる。	自分の能力に適した技を選び、工夫して練習することができる。	自己の技能レベルに合った技がある程度安定してできる。	練習の仕方や練習計画の建て方を理解することができる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト															
																7	9	12	水泳	・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ	水泳の特性に関心をもち協力しながら健康・安全に留意して練習しようとする。	自分の能力に適した課題の解決を目指して、練習の工夫を工夫している。	水泳の特性に応じた技能を身につけ、長く泳いだり、速く泳いだりすることができる。	水泳の特性を学び、競技方法を理解し、事故防止の知識を身につけている。	○デジタルカメラ ●学習カードを用いて課題に応じた練習方法を考える。	水泳を楽しみながら、安全のきまりや約束を守り、学習に取り組もうとしている。	能力に応じた泳法を選択している。自己の習熟度を知り、適した練習をすることができる。	基礎、基本的な技能を身につけ、一定時間、一定距離を泳ぐことができる。	水泳の特性、合理的な練習方法やルールを理解し、知識を身につけている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
9	7	武道	柔道	礼儀作法や相手を尊重する態度を重視し、基本動作と基本的な技を身につけ、自己の技能に応じた練習をする。★喜納治五郎について触れ、集団生活の向上について学習する。	柔道に意欲的に取り組み礼儀作法や相手を尊重する態度を態度をとうとする。	基本的な技を身につけ、自分の能力に適した課題を設定し練習方法を選ぶ。	基本的な技を身につけ、基本動作を重視し対人的技能の練習をすることができる。	柔道の特性や学習の進め方礼儀作法、試合の運営やルールを知る。	○テレビ ●ワークシートを用いて技の特性を把握し、理解する。	相手を尊重して礼儀作法を守り、練習や試合に取り組もうとしている。	動きの中で、崩しと体さばきを意識して技をかけている。	基本的な技を身につけ、練習に取り組むことができる。	資料などを参考に、練習に生かす方法を知っている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト																
															10	10	球技	ベースボール型 ゴール型	ソフトボール バスケットボール いまもっている技能を活用して集団的技能や個人的技能を高め、味方同士が協力して作戦を立て、相手チームに対応したゲームをする。	球技の特性に関心をもち進んで取り組もうとする。役割と、責任を果たし協力して、勝敗に公正な態度をとうとする。	チームの課題や自分の能力に適した練習の工夫を工夫している。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身につけ、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	種目の特性や学習の進め方、技術の構造、合理的な練習の仕方、競技や審判方法を理解し、知識を身につけている。	○デジタルカメラ ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身につけ、それを生かしたゲームができる。各球技種目を仲間と協力してゲームができる。	球技種目の特性や学習の進め方が理解できる。	学習カード 実技テスト 行動観察 定期テスト	
2	7	11	球技	①ネット型	バレーボール いまもっている技能を活用してゲームを行い、集団的技能や個人的技能を高め、味方同士が協力して作戦を立て、相手チームに対応したゲームをする。	球技の特性に関心をもち進んで取り組もうとする。自分の役割と、責任を果たし協力しようとする。勝敗に公正な態度をとうとする。	チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指し、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の工夫を工夫している。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身につけ、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	種目の特性や学習の進め方、技術の構造、合理的な練習の仕方、競技や審判方法を理解し、知識を身につけている。	○デジタルカメラ ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身につけ、それを生かしたゲームができる。仲間と協力してゲームができる。	種目の特性や学習の進め方が理解できる。																行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト

	10	陸上競技	長距離走	・全力を出して記録の向上を目指して仲間同士で協力して練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。	練習をするうえで健康・安全に留意しようとする。	能力に適した課題をもち、練習や競技の仕方を工夫している。	種目の特性に応じた技能を身につけ、競技したり記録を高めることができる。	種目特性や学習の進め方、ルール、競技や審判方法を知っている。	○ビデオカメラ ●ワークシートを用いてペースの重要性を理解する。	楽しさを味わいながら仲間と協力して練習や競技を行うことができる。	能力に適した課題を設け、仲間と協力して工夫した練習や競技を行うことができる。	能力に適した技能を身につけ、競技したり記録を高めたりすることができる。	陸上競技の特性や学習の進め方が理解できている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
		12	(保健) 心身の機能の発達と心の健康	精神機能の発達と自己形成	・精神機能は生活経験などの影響を受けて発達する ・自己の認識の深まりと自己形成の関係	保健に関心をもって意欲的に学習しようとする。	精神機能の発達について問題点をみつけ、考えられる。		性差や個人差・ストレスへの対処法を理解する。	○テレビ ●ワークシートで心身の状態を把握する。	説明や教科書等をもとに、学習内容を理解しようとする。	性差や個人差・男女の違いに気づき書くことができる。		心と体が関係して健康を保っていることを理解する。
3	1	7	球技	ベースボール型 ゴール型	ソフトボール バスケットボール いまもっている技能を活用して集団的スキルや個人的スキルを高め、味方同士が協力して作戦を立て、相手チームに対応したゲームをする。	球技の特性に関心をもち進んで取り組もうとする。役割と、責任を果たし協力して、勝敗に公正な態度をとろうとする。	チームの課題や自分の能力に適した練習の仕方を工夫している。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身につけ、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	種目の特性や学習の進め方、技術の構造、合理的な練習の仕方、競技や審判方法を理解し、知識を身につけている。	○デジタルカメラ ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身につけ、それを生かしたゲームができる。 各球技種目を仲間と協力してゲームができる。	学習カード 実技テスト 行動観察 定期テスト
				8	器械運動	鉄棒 マット	自己に適した新しい課題を選択して運動を行い、その技能を高め、技がよりよくできるようにする。また、新しい技を上達するための練習の仕方を工夫する。	器械運動の特性に関心をもち進んで取り組み協力して安全に留意して練習しようとする。	技を習得するための練習方法を工夫している。練習の場作りの方法、仲間との教えあいを工夫している。	器械運動の特性に応じた技能を身につけ、その技能を高めて運動することができる。	器械運動の特性や学習の進め方、練習の仕方、技の理解を身につけている。	○デジタルカメラ ●学習カードを用いて課題に応じた練習方法を考える。	自分に適した技を習得し、楽しさを味わい、協力して取り組むことができる。	自分の能力に適した技を選び、工夫して練習することができる。
	2	2	(保健) 心身の機能の発達と心の健康	欲求やストレスへの対処と心の健康	・精神や身体の影響 ・欲求やストレスの心身への影響 ・欲求やストレスへの適切な対処方法	保健に関心をもって意欲的に学習しようとする。	心身の機能の発達や心の健康の問題点をみつけ、生活に当てはめられる。	心身の機能の発達や心の健康について理解する。	○テレビ ●ワークシートに書き込み自己の心身の状態を把握する。	説明や教科書等をもとに、内容を理解し、意見を聞いて発表しようとしている。	性差や個人差・男女の違いに気づき書くことができる。		心と体が関係して健康を保っていることを理解する。	行動観察 発言 学習カード 定期テスト
				4	体育理論	運動やスポーツの多様性	・運動やスポーツの必要性和楽しさ。 ・運動やスポーツへの多様なかわり方 ・運動やスポーツの学び方	仲間の考えや意見を聞いたり、集めた資料を活用して意見を発表しようとする。	学習したことを日常生活に当てはめることができる。	運動やスポーツは多様であることを理解できるようにする。	○テレビ ●ワークシートを用いて運動やスポーツの多様性を理解する。	教師の説明や教科書、学習ノート等をもとに、学習内容を理解しようとしている。	自己の体験などを日常生活に当てはめて考えることができる。	
	3	7	陸上競技	①短距離走	・全力を出して記録の向上を目指して仲間同士で協力して練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。	体の調子や練習場などの安全を確認、健康・安全に留意しようとする。	自分の能力に適した課題をもち、練習の仕方や競技の仕方を工夫している。	種目の特性に応じた技能を身につけ、その技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。	種目特性や学習の進め方、ルール、競技や審判方法を知っている。	○デジタルカメラ ●学習カードを用いて課題に応じた練習方法を考える。	楽しさを味わいながら仲間と協力して練習や競技を行うことができる。	自分の能力に適した課題を設け、仲間と協力して工夫した能率的な練習や競技を行うことができる。	能力に適した技能や動きを身につけ、技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。	陸上競技の特性や学習の進め方が理解できている。

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				活用するICT 等 ●ことばの力 を高める言語 活動	評価基準(B)				評価方法
						体育への関心・ 意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解		体育への関心・ 意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解	
1	4	6	体づくり	①体ほぐし運動 ②体力を高める運動	・心と体への気づき ・体の調子を整えるための運動 ・体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動	体づくり運動に関心をもち、自分から体ほぐしや体力を高める運動をしようとする。	自分の体力や生活に応じた課題を持って目的に合った運動を選び構成し活用する。	体力を高める運動を身に付けたり、合理的に体力を高めたりすることができる。	体ほぐし、体力を高める運動の行い方、活用の仕方を知る。	○デジタルカメラ ●ワークシートを用いて運動の方法を考える。	体づくりの特性を理解し、学習に取り組もうとしている。	自分にあった目標を立て、施設、用具を利用して運動に取り組んでいる。	のびのびとした動作の運動ができる。運動に応じた動きができる。	体ほぐし、体力を高める運動の行い方、高めの活用方法を知る。	行動観察 スポーツテスト 学習カード 定期テスト
	5	8	ダンス	創作ダンス 現代的なリズムのダンス	生活の中から生まれ伝承されている日本や外国のいろいろな踊り方を身につけて、踊る楽しさやよろこびを味わう。	ダンスの特性に関心をもち、楽しんで工夫を加えたりして練習する。	自己に適した課題をもち、動きに工夫を加えたりして練習する。	基本となるステップや動き方を身につけて踊ることができる。	ダンスがその国の生活から生まれ伝承されてきた踊りであることを知る。	○ビデオカメラ ●グループワークを行い、コミュニケーション能力を養う。	互いの動き、表現を認め、よりよくしようと練習、協力しあう。	資料を活用し、ダンスのリズムや踊り方を知り、動きを工夫して楽しく踊っている。	選択したダンスの基本ステップを身につけ、リズムカルにのびのびと踊ることができる。	ダンスの由来やいろいろなダンスのよい動きを理解し、鑑賞の仕方を知っている。	行動観察 学習カード 学習カード 定期テスト
	6	5	(保健) ・健康と環境 ・傷害の防止	・身体環境に対する適応能力、至適範囲 ・応急手当	・身体環境の適応能力を超えた環境の健康への影響を理解する。 ・快適で能率のよい生活ができる環境の範囲があることを理解する。	保健に関心をもって意欲的に学習しようとする。	健康と環境について問題点をみつけ、日常生活に当てはめられる。		健康と環境について理解し、知識を身につけている。	○テレビ ●ワークシートに書き込むことで自己の心身の状態を把握する。	・説明や教科書をもとに、内容を理解し資料や友達の見解を聞いて発表しようとしている。	・身体環境の適応範囲を理解している。 ・日常生活における工夫を考え、書くことができる。	・身体環境に対する適応能力とその限界についての知識を身につけている。		行動観察 発言 学習ノート 学習カード 資料の読み取り 学習プリント 定期テスト
	7	8	陸上競技	走高跳	全力を出して記録の向上を目指して仲間同士で協力して練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。	陸上競技に意欲的に取り組み、練習をするうえで健康・安全に留意しようとする。	自分の能力に適した課題をもち、練習の仕方や競技の工夫を工夫している。	種目の特性に応じた技能を身につけて、競技したり記録を高めたりすることができる。	種目特性や学習の進め方、練習や競技の仕方、ルールや審判方法を知っている。	○デジタルカメラ ●学習カードを用いて、課題に応じた練習方法を考える。	自分に適した技を習得し、楽しさ喜びを味わい協力して取り組むことができる。	自分の能力に適した技を選び、工夫して練習することができる。	自己の技能レベルに合った技がある程度安定してできる。	練習の仕方や練習計画の立て方を理解することができる。	行動観察 学習カード 学習カード 定期テスト
2	7 9	11	水泳	・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ	・水泳の特性に関心をもち協力しながら健康・安全に留意して練習しようとする。	自分の能力に適した課題の解決を目指して、練習の工夫を工夫している。	水泳の特性に応じた課題の解決を目指して、練習の工夫を工夫している。	水泳の特性を学び、競技方法を理解し、事故防止の知識を身につけている。	○デジタルカメラ ●学習カードを用いて課題に応じた練習方法を考える。	水泳を楽しみながら、安全のきまりや約束を守り、学習に取り組もうとしている。	能力に応じた泳法を選択している。自己の習熟度を知り、適した練習をすることができる。	基礎、基本的な技能を身につけて、一定時間、一定距離を泳ぐことができる。	水泳の特性、合理的な練習方法やルールを理解し、知識を身につけている。		行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
	9	8	武道	柔道	礼儀作法や相手を尊重する態度を重視し、基本動作と基本的な技を身につけて、自己の技能に応じた練習をする。	柔道に意欲的に取り組み礼儀作法や相手を尊重する態度を態度をとうとする。	基本的な技を身につけて、自分の能力に適した課題を設定し練習方法を選ぶ。	基本的な技を身につけて、基本動作を重視し対人的技能の練習をすることができる。	柔道の特性や学習の進め方礼儀作法、試合の運営やルールを知る。	○テレビ ●ワークシートを用いて技の特性を把握し、理解する。	相手を尊重して礼儀作法を守り、練習や試合に取り組もうとしている。	動きの中で、崩しと体さばきを意識して技をかけている。	基本的な技を身につけて、練習に取り組むことができる。	資料などを参考に、練習に生かす方法を知っている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
	10	10	球技	ベースボール型	ソフトボール いまもっている技能を活用して集団の技能や個人的技能を高め、味方同士が協力して作戦を立て、相手チームに対応したゲームをする。	球技の特性に関心をもち進んで取り組もうとする。役割と、責任を果たし協力して、勝利に公正な態度をとろうとする。	チームの課題や自分の能力に適した練習の工夫を工夫している。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身につけて、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	種目の特性や学習の進め方、技術の構造、合理的な練習の仕方、競技や審判方法を理解し、知識を身につけている。	○デジタルカメラ ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身につけて、それを生かしたゲームができる。各球技種目を仲間と協力してゲームができる。	球技種目の特性や学習の進め方が理解できる。	学習カード 実技テスト 行動観察 定期テスト
2	11	7	球技	ゴール型	サッカー いまもっている技能を活用してゲームを行い、集団の技能や個人的技能を高め、味方同士が協力して作戦を立て、相手チームに対応したゲームをする。	球技の特性に関心をもち進んで取り組もうとする。役割と、責任を果たし協力して、勝利に公正な態度をとろうとする。	チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指し、練習の工夫を工夫している。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身につけて、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	種目の特性や学習の進め方、技術の構造、合理的な練習の仕方、競技や審判方法を理解し、知識を身につけている。	○デジタルカメラ ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身につけて、それを生かしたゲームができる。各球技種目を仲間と協力してゲームができる。	球技種目の特性や学習の進め方が理解できる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト

10	陸上競技	長距離走	・全力を出して記録の向上を目指して仲間同士で協力して練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。	練習をするうえで健康・安全に留意しようとする。	能力に適した課題をもち、練習や競技の仕方を工夫している。	種目の特性に応じた技能を身につけ、競技したり記録を高めることができる。	種目特性や学習の進め方、ルール、競技や審判方法を知っている。	○ビデオカメラ ●ワークシートを用いペースの重要性を理解する。	楽しさを味わいながら仲間と協力して練習や競技を行うことができる。	能力に適した課題を設け、仲間と協力し工夫した練習や競技を行うことができる。	能力に適した技能を身につけ、競技したり記録を高めたりすることができる。	陸上競技の特性や学習の進め方が理解できている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
	4	(保健)健康と環境	・飲料水や空気の衛生的管理 ・生活に伴う廃棄物の衛生的な処理の必要性	・健康と飲料水や空気との関わり ・健康のための基準に適合した飲料水や空気の管理 ・生活によって生じた廃棄物の衛生的な処理の必要性	保健に関心をもって意欲的に学習しようとする。	健康と環境の関わりについて問題点をみつけ、考えられる。	人間の健康は環境と深く関わって成立していることを理解している。		○テレビ ●ワークシートで心身の状態を把握する。	説明や教科書等をもとに、学習内容を理解しようとする。	人間の健康と環境の関わりについて理解しようとする。	身体環境に對する適応能力と限界について知識を身につけている。	行動観察 発言 学習カード 定期テスト

1	球技	ネット型	テニス いまもっている技能を活用してゲームを行い、集団的スキルや個人的スキルを高め、味方同士が協力して作戦を立て、相手チームに對したゲームをする。★クルム伊達公子を取り上げ、真理の追究について学ぶ。	球技の特性に関心をもち進んで取り組もうとする。自分の役割と、責任を果たし協力しようとする。勝敗に公正な態度をとろうとする。	チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指し、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方を工夫している。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身につけ、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	種目の特性や学習の進め方、技術の構造、合理的な練習の仕方を理解し、競技や審判方法を理解し、知識を身につけている。	○デジタルカメラ ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身につけ、それを生かしたゲームができる。仲間と協力してゲームができる。	種目の特性や学習の進め方が理解できる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
	8	器械運動	鉄棒 マット	自己に適した新しい課題を選択して運動を行い、その技能を高め、技がよりよくできるようにする。また、新しい技を上達するための練習の仕方を工夫する。	器械運動の特性に関心をもち進んで取り組み協力して安全に留意して練習をしようとする。	技を習得するための練習方法を工夫している。練習の場作りの方法、仲間との教えあいを工夫している。	器械運動の特性に応じた技能を身につけ、その技能を高めて運動することができる。	器械運動の特性や学習の進め方、練習や技のきばえの確かめ方を理解し身につけている。	○デジタルカメラ ●ワークシートを用いて課題に応じた練習方法を考える。	自分に適した技を習得し、楽しさや喜びを味わい、協力して取り組むことができる。	自分の能力に適した技を選び、工夫して練習することができる。	自己の技能レベルに合った技がある程度安定してできる。	練習の仕方や練習計画の立て方を理解することができる。

2	(保健)傷害の防止	交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因とその防止	・人的・環境要因などのかかわりによる傷害の発生 ・安全な行動、環境の改善による傷害の防止。 ・自然災害による傷害と二次災害による傷害とその防止	保健に関心をもって意欲的に学習しようとする。	心身の機能の発達や心の健康の問題点をみつけ生活に当てはめられる。		健康と環境について理解する。	○テレビ ●ワークシートに書き込み自己の心身の状態を把握する。	説明や教科書等をもとに、内容を理解し、意見を聞いて発表しようとしている。	人間を含めた生物と環境とのかかわりに気づき書くことができる。		身体環境に對する適応能力と限界について知識を身につけている。	行動観察 発言 学習カード 定期テスト
	4	体育理論	運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全	・運動やスポーツによる、身体への発達、体力の向上や自信の獲得、ストレスの解消などの効果。 ・運動やスポーツによる社会性の向上	仲間の考えや意見を聞いたり集めた資料を活用し、自己の意見を発表しようとする。	学習したことを日常生活に当てはめることができる。	運動やスポーツが心身の発達に影響を与えることを理解している。	○テレビ ●ワークシートを用い運動やスポーツの多様性を理解する。	教師の説明や教科書、学習ノート等をもとに、学習内容を理解しようとしている。	自己の体験などを日常生活に当てはめて考えることができる。		心身の発達と運動やスポーツの関係性を理解している。	定期テスト

3	陸上競技	リレー	・全力を出して記録の向上を目指して仲間同士で協力して練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。	体の調子や練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意しようとする。	自分の能力に適した課題をもち、練習の仕方や競技の仕方を工夫している。	種目の特性に応じた技能を身につけ、その技能を高めて、リレーをしたりして、記録を高めたりすることができる。	種目特性や学習の進め方を理解し、知識を身につけている。ルール、競技や審判方法を知っている。	○デジタルカメラ ●学習カードを用いて課題に応じた練習方法を考える。	楽しさを味わいながら仲間と協力して練習や競技を行うことができる。	自分の能力に適した課題を設け、仲間と協力し工夫した能率的な練習や競技を行うことができる。	能力に適した技能や動きを身につけ、技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。	陸上競技の特性や学習の進め方が理解できている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
---	------	-----	--	-----------------------------------	------------------------------------	--	---	---------------------------------------	----------------------------------	--	--	-------------------------	---------------------------------

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				活用するICT 等 ●ことばの力 を高める言語 活動	評価基準(B)				評価方法
						体育への関心・ 意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解		体育への関心・ 意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解	
1	4	6	体づくり	①体ほぐし運動 ②体力を高める運動	・心と体への気づき ・体の調子を整えるための運動 ・体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを継続する能力を高めるための運動	体づくり運動に関心を持ち、自分から体ほぐしや体力を高める運動をしようとする。	自分の体力や生活に応じた課題を持って目的に合った運動を選び構成し活用する。	体力を高める運動を身につけたり、合理的に体力を高めたりすることができる。	体ほぐし、体力を高める運動の行い方、活用の仕方を知る。	○デジタルカメラ ●ワークシートを用いて運動の方法を考える。	体づくりの特性を理解し、学習に取り組もうとしている。	自分にあった目標を立て、施設、用具を利用して運動に取り組んでいる。	のびのびとした動作の運動ができる。運動に応じた動きができる。	体ほぐし、体力を高める運動の行い方、高め方活用の仕方を知る。	行動観察 スポーツテスト 学習カード 定期テスト
	5	8	ダンス	創作ダンス 現代的なリズムのダンス	生活の中から生まれ伝えられている日本や外国のいろいろな踊り方を身につけて、踊る楽しさやよろこびを味わう。	ダンスの特性に関心を持ち、楽しんで取り組もうとする。	自己に適した課題をもち、動きに工夫を加えたりして練習する。	基本となるステップや動き方を身につけて踊ることができる。	ダンスがその国の生活から生まれ伝えられてきた踊りであることを知る。	○ビデオカメラ ●グループワークを行い、コミュニケーション能力を養う。	互いの動き、表現を認め、よりよくしようと練習、協力しあう。	資料を活用し、ダンスのリズムや踊り方を知り、動きを工夫して楽しく踊っている。	選択したダンスの基本ステップを身につけ、リズムカルにのびのびと踊ることができる。	ダンスの由来やいろいろなダンスのよい動きを理解し、鑑賞の仕方を知っている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
	6	7	(保健)健康な生活と疾病の予防	・健康の成り立ちと疾病の発生要因 ・生活行動生活習慣と健康	・健康の成り立ち、主体と環境の要因のかかわりによって起こる疾病 ・食事・運動・休養及の調和のとれた生活の継続 ・生活習慣の乱れと生活習慣	保健に関心をもつて意欲的に学習しようとする。	健康な生活や疾病の予防について問題点を見つけ、日常生活に当てはめられる。	健康な生活や疾病の予防について理解し、知識を身につけている。	○ビデオ ●ワークシートに書き込むことで自己の心身の状態を把握する。	説明や教科書等をもとに、内容を理解し資料や友達の見解を参考に発表しようとしている。	健康な生活と疾病の予防を知り、日常生活における工夫を考え、書くことができる。	自分の能力に適した技を選び、工夫して練習することができる。	自分の技能レベルに合った技がある程度安定して練習することができる。	練習の仕方や練習計画の立て方を理解することができる。	行動観察 発言 学習ノート 学習カード 資料の読み取り 学習プリント 定期テスト
	7	8	陸上競技	ハードル走	全力を出して記録の向上を目指して仲間同士で協力して練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。	陸上競技に意欲的に取り組み、練習をするうえで健康・安全に留意しようとする。	自分の能力に適した課題をもち、練習の仕方や競技の工夫を工夫している。	種目の特性に応じた技能を身につけ、競技したり記録を高めたりすることができる。	種目特性や学習の進め方、練習や競技の仕方、ルールや審判方法を知っている。	○デジタルカメラ ●学習カードを用いて、課題に応じた練習方法を考える。	自分に適した技を習得し、楽しさ喜びを味わい協力して取り組むことができる。	自分の能力に適した技を選び、工夫して練習することができる。	自分の技能レベルに合った技がある程度安定して練習することができる。	練習の仕方や練習計画の立て方を理解することができる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
2	7・9	12	水泳		・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ ・バタフライ ・個人メドレー	水泳の特性に関心を持ち健康・安全に留意して練習をしようとする。	自分の能力に適した課題の解決を目指して、練習の工夫を工夫している。	水泳の特性に応じた技能を身につけ、長く、速く泳いだりすることができる。	水泳の特性を学び、競技方法を理解し、事故防止の知識を身につけている。	○デジタルカメラ ●学習カードを用いて課題に応じた練習方法を考える。	水泳を楽しみながら、安全のきまりや約束を守り、学習に取り組もうとしている。	能力に応じた泳法を選択し自己の習熟度を知り、練習をすることができる。	基礎、基本的な技能を身につけ、一定時間、一定距離を泳ぐことができる。	水泳の特性、練習方法やルールを理解し、知識を身につけている。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
	9	8	器械運動	鉄棒 マット	自己に適した新しい課題を選択して運動を行い、その技能を高め、技がよりよくできるようにする。また、新しい技を上達するための練習の工夫を工夫する。	器械運動の特性に関心を持ち進んで取り組み、互いに協力し、安全に留意して練習をしようとする。	技を習得するための練習の工夫を工夫している。練習の場作りの方法、仲間との教えあいを工夫している。	器械運動の特性に応じた技能を身につけ、その技能を高め運動することができる。	器械運動の特性や学び方、練習の仕方や技のきめ方を理解し身につけている。	○デジタルカメラ ●学習カードを用いて課題に応じた練習方法を考える。	自分に適した技を習得し、楽しさ喜びを味わい、協力して取り組むことができる。	自分の能力に適した技を選び、工夫して練習することができる。	自分の技能レベルに合った技がある程度安定して練習することができる。	練習の仕方や練習計画の立て方を理解することができる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
	10	10	球技	ベースボール型 ゴール型	ソフトボール バスケットボール いまもっている技能を活用してゲームを行い、集団的スキルや個人的スキルを高め、味方同士が協力して作戦を立て、相手チームに対応したゲームをする。	球技の特性に関心を持ち進んで取り組もうとする。役割と、責任を果たし協力し、勝敗に公正な態度をとろうとする。	チームの課題や自分の能力に適した練習の工夫を工夫している。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身につけ、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	種目の特性や学び方、技術の構造、合理的な練習の仕方、競技や審判方法を理解し、知識を身につけている。	○デジタルカメラ ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身につけ、それを生かしたゲームができる。各球技種目を仲間と協力してゲームができる。	球技種目の特性や学習の進め方が理解できる。	学習カード 実技テスト 行動観察 定期テスト
	11	8	球技	ネット型	テニス いまもっている技能を活用してゲームを行い、集団的スキルや個人的スキルを高め、味方同士が協力して作戦を立て、相手チームに対応したゲームをする。	球技の特性に関心を持ち進んで取り組もうとする。役割と、責任を果たし協力し、勝敗に公正な態度をとろうとする。	チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指し、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の工夫を工夫している。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身につけ、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	種目の特性や学び方、技術の構造、合理的な練習の仕方、競技や審判方法を理解し、知識を身につけている。	○デジタルカメラ ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身につけ、それを生かしたゲームができる。仲間と協力してゲームができる。	種目の特性や学習の進め方が理解できる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト

3	12	4	(保健) 健康な生活と疾病の予防	・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ・感染症の予防	心身への様々な影響、健康を損なう原因、個人の心理状態や人間関係、社会環境などの要因に対する適切な対処方法を理解する。	保健に関心をもって意欲的に学習しようとする。	健康の保持増進に必要な生活について問題点をみつけ、考えられる。	健康な生活や疾病の予防について理解し、知識を身につけている。	○テレビ ●ワークシートで心身の状態を把握する。	説明や教科書等をもとに、学習内容を理解しようとする。	健康な生活と疾病の予防を知り、生活の工夫を考え書くことができる。	資料を使い医療機関やサービス機関についてまとめることができる。	行動観察 発言 学習カード 定期テスト		
		10	球技	①ネット型	バレーボール	球技の特性に関心をもち進んで取り組もうとする。自分の役割と、責任を果たし協力しようとする。勝敗に公正な態度をとろうとする。	チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指し、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方を工夫している。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身につけ、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	種目の特性や学習方法、技術の構造、合理的な練習の仕方を理解し、競技や審判方法を理解し、知識を身につけている。	○デジタルカメラ ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身につけ、それを生かしたゲームができる。仲間と協力してゲームができる。	種目の特性や学習の進め方が理解できる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
		8	陸上競技	走高跳		全力を出して記録の向上を目指して仲間同士で協力して練習し、技能向上の喜びや楽しさを味わう。	陸上競技に意欲的に取り組み、練習をするうえでの健康・安全に留意しようとする。	自分の能力に適した課題をもち、練習の仕方や競技の仕方を工夫している。	種目の特性に応じた技能を身につけ、競技したり記録を高めたりすることができる。	○デジタルカメラ ●学習カードを用いて、課題に応じた練習方法を考える。	自分に適した技を習得し、楽しさ喜びを味わい協力して取り組むことができる。	自分の能力に適した技を選び、工夫して練習することができる。	自己の技能レベルに合った技がある程度安定してできる。	練習の仕方や練習計画の建て方を理解することができる。	行動観察 学習カード 実技テスト 定期テスト
		4	体育理論	文化としてのスポーツの意義	・現代生活におけるスポーツの文化的意義。 ・国際的なスポーツ大会などの意義や人々を結び付けるスポーツの文化的な働き。	仲間の考えや意見を聞き、集めた資料を活用し意見を発表しようとする。	学習したことを日常生活に当てはめることができる。		文化としてのスポーツの意義について理解している。	○テレビ ●ワークシートを用い運動やスポーツの多様性を理解する。	教師の説明や教科書、学習ノート等をもとに、学習内容を理解しようとする。	自己の体験などを日常生活に当てはめて考えることができる。		文化としてのスポーツの意義や役割を理解している。	定期テスト
	2	4	(保健) 健康な生活と疾病の予防	・保健、医療機関や医薬品の有効利用 ・健康を守る社会の取り組み	・健康の保持増進や疾病予防の役割を担う保健、医療機関の利用方法や医薬品の使用方法。 ・個人の健康と社会的な取り組みのかかわり	保健に関心をもって意欲的に学習しようとする。	健康の保持増進に必要な生活について問題点をみつけ、考えられる。		健康な生活や疾病の予防について理解し、知識を身につけている。	○テレビ ●ワークシートに書き込み自己の心身の状態を把握する。	説明や教科書等をもとに、内容を理解し意見を聞いて発表しようとしている。	健康な生活と疾病の予防を知り、生活の工夫を考え書くことができる。	資料を使い医療機関やサービス機関についてまとめることができる。	行動観察 発言 学習カード 定期テスト	
		7	球技	ゴール型	サッカー	いまもっている技能を活用してゲームを行い、集団的技術や個人の技能を高め、味方同士が協力して作戦を立て、相手チームに対応したゲームをする。 ★サッカー元日本代表監督の岡田武史を取り上げ誠実さを学ぶ	球技の特性に関心をもち進んで取り組もうとする。役割と、責任を果たし協力し、勝敗に公正な態度をとろうとする。	チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指し、練習の仕方を工夫している。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身につけ、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	種目の特性や学習方法、技術の構造、合理的な練習の仕方を理解し、競技や審判方法を理解し、知識を身につけている。	○デジタルカメラ ●作戦会議を行い、チームメイトと連携して攻防を展開するためのコミュニケーション能力を養う。	ルールやマナーを守って練習、ゲームに取り組むことができる。	自己の課題や役割を考え練習やゲームができる。	基本的な技能を身につけ、それを生かしたゲームができる。各球技種目を仲間と協力してゲームができる。	球技種目の特性や学習の進め方が理解できる。

学期	月	時数	単元	小単元	学習内容	評価規準				○使用するICT等	評価基準(B)				評価方法
						生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し想像する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解		生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し想像する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解	
1 学期	4	3	情報に関する技術	1 情報とわたしたちの生活 2 コンピュータと情報処理	・情報の技術とその役割 ・コンピュータの構成と機能 ・アナログとデジタル	・情報の技術が社会に果たす役割に興味を持つことができる。	・アナログ式とデジタル式それぞれの特徴を生かした使用場面を考えることができる。 ・情報のデジタル化練習では、速く正確に伝える工夫を考えることができる。	・コンピュータを正しく操作することができる。 ・2進数の0と1を用いてアナログ情報をデジタル化することができる。	・情報の技術が果たす役割を理解している。 ・コンピュータの構成と機能に関する知識を身に付けている。 ・情報と資料の違いを理解している。	●ことばの力を高める言語活動 ○PC ○スカイメニュー ○ビデオ ●身の回りにある製品のうち、コンピュータの働きを不可欠にしているものや小さなコンピュータが組み込まれているものを、具体的に考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・情報の技術が社会に果たす役割に関心を示している。	・アナログ式とデジタル式それぞれの特徴を生かした使用場面を考え、まとめることができる。 ・情報のデジタル化練習では、速く正確に伝える工夫を考えることができる。	・コンピュータを操作することができる。 ・2進数の0と1を用いてアナログ情報をデジタル化することができる。	・情報の技術が果たす役割がわかる。 ・コンピュータの構成と機能に関する知識を身に付けている。 ・情報と資料の違いがわかる。	確認テスト、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察
	5	3		3 情報ネットワーク	・情報通信ネットワークの利用	・情報伝達の方法に興味を持つことができる。			・情報通信ネットワークのしくみを理解している。	○ビデオ	・情報伝達の方法に関心を示している。			・情報通信ネットワークのしくみがわかる。	確認テスト、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察
	6	3		4 ネットワークと情報セキュリティ ☆ビルゲイツがwindowsを発明したことからプログラム構築の考え方を学ぶ。	・ネットワークと情報セキュリティ ・デジタル化の特徴を踏まえた情報モラルを日ごろから意識し、学習内容を生かそうとしている。		・デジタル化社会のよい部分と注意が必要なる部分を考え、まとめることができる。			○ビデオ ●情報モラルや情報に関する技術を適切に活用していくことについて、考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・デジタル化の特徴を踏まえた情報モラルを日ごろから意識し、学習内容を生かそうとしている。	・デジタル化社会のよい部分と注意が必要なる部分を考え、まとめることができる。		・情報通信ネットワークのしくみがわかる。	期末考査、確認テスト、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察
	7	3		5 情報モラルと知的財産	・利用するときのモラル ・発信するときのモラル ・人権や個人情報の保護 ・知的財産の保護	・情報を扱うときのルールやマナーなどのモラルの必要性に興味を持っている。 ・情報の技術を適正に活用しようとしている。	・情報の扱い方の事例を見て問題点を見つけ、解決方法を考えることができる。 ・知的財産権と著作権の保護については、これまでの学習や生活経験を活用し、違反をしない方法を考えることができる。		・デジタル化された情報の特徴とそれに伴う注意点を理解している。 ・著作権や情報発信に伴って発生する可能性のある問題と発信者としての責任について理解している。 ・情報を安全に利用するための知識を身に付けている。	○ビデオ ●情報モラルや情報に関する技術を適切に活用していくことについて、考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・情報を扱うときのルールやマナーなどのモラルの必要性に関心を示している。 ・情報の技術を活用しようとしている。	・情報の扱い方の事例を見て問題点を見つけ、解決方法を考える、まとめることができる。 ・著作権や情報発信に伴って発生する可能性のある問題と発信者としての責任がわかる。 ・情報を安全に利用するための知識を身に付けている。		・デジタル化された情報の特徴とそれに伴う注意点がわかる。 ・著作権や情報発信に伴って発生する可能性のある問題と発信者としての責任がわかる。 ・情報を安全に利用するための知識を身に付けている。	確認テスト、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察
	9・10	7		6 デジタル作品の設計と制作	・生活の中のメディア ・デジタル作品の構想 ・情報の収集と加工 ・作品の制作・発表	・生活の中で利用されている情報の表現方法・手段に興味を持っている。 ・テーマに関する情報をすすんで収集している。 ・発表するときのことを考えた設計(色づかい、レイアウトなど)、知的財産に配慮している。	・デジタル作品のテーマ、目的や条件が明確であり、まとめることができる。 ・メディアの特徴を生かそうと工夫している。 ・効率よく制作するために政策手順を工夫している。	・情報を安全に扱うことができる。 ・コンピュータを正しく操作することができる。 ・制作手順に沿って適切な方法でメディアを加工・複合することができる。	・メディアの特徴、利用方法および複合する方法に関する知識を身に付けている。 ・制作手順を理解している。 ・コンピュータの基本的な操作に関する知識を身に付けている。	○PC ○スカイメニュー	・生活の中で利用されている情報の表現方法・手段に関心を示している。 ・発表するときのことを考えた設計(色づかい、レイアウトなど)、知的財産に配慮している。	・デジタル作品のテーマ、目的や条件が明確であり、まとめることができる。 ・メディアの特徴を生かそうと工夫している。 ・効率よく制作するために制作手順を工夫している。	・情報を安全に扱うことができる。 ・コンピュータを操作することができる。 ・制作手順を参考にメディアを加工・複合することができる。 ・コンピュータの基本的な操作に関する知識を身に付けている。	・メディアの特徴、利用方法および複合する方法に関する知識を身に付けている。 ・制作手順がわかる。 ・コンピュータの基本的な操作に関する知識を身に付けている。	作品、確認テスト、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察
				生活や技術を見よう	・技術ってなんだろう ・身の回りにある技術 ・日本独自の技術や伝統技術	・身の回りにあるさまざまな技術に興味を持つことができる。	・身の回りのものや道具、機械にどんな技術が含まれているか考えることができる。			○PC	・身の回りにあるさまざまな技術に関心を示している。	・身の回りのものや道具、機械にどんな技術が含まれているか考え、まとめることができる。			期末考査、確認テスト、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察

2 学期	11	3	ける技術の役割	2 技術とわたしたちの生活	・技術の進展と生活との関わり ・技術の進展と環境に及ぼす影響	・技術の発展と環境の関わりに興味を持つことができる。	・技術が生活の向上や産業の発展に果たしている役割について考えることができる。	●情報通信ネットワークは、固定電話に比べて、大規模な災害が発生したときでも動作し続けることが可能性が大きいことや、考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・技術の発展と環境の関わりに関心を示している。	・技術が生活の向上や産業の発展に果たしている役割について考え、まとめることができる。	期末考査、確認テスト、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察				
	12	4	材料と加工に関する技術	1 ものづくりの工夫と進め方 2 材料	・製品の工夫と技術の進歩 ・ものづくりの進め方 ・いろいろな材料の特徴と利用方法	・材料見本や工具を丁寧に扱うことができる。 ・学習課題については、今までの学習や生活経験から調べたり、考えたりすることができる。	・製品になぜその材料が使用されているか使用目的や使用条件などから考えることができる。	・木材、金属、プラスチックなど、いろいろな材料の特徴と利用方法に関する知識を身に付けている。	○実物投影機 ○ビデオカメラ ●身の回りにある製品の材料や特徴などについて、考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・材料見本や工具の扱いを気を付けている。 ・学習課題については、調べたり、考えたりすることができる。	・製品になぜその材料が使用されているか使用目的や使用条件などから考え、まとめることができる。	・木材、金属、プラスチックなど、いろいろな材料の特徴と利用方法に関する知識を身に付けている。	学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察		
3 学期	1	1	生物育成に関する技術	3 設計	・設計の進め方 ・使用目的と製品の決定 ・機能、構造、材料の検討 ・加工法の検討 ・製図	・設計においては、生活をよりよくするために新しい発想を生み出そうとしている。	・製作品の使用目的や使用条件を明確にし、使いやすさ・丈夫さ・材料を検討したうえで製作品の適切な形状と寸法を決定することができる。	・製作品の構想を等角図、キャビネット図及び第三角法で表すことができる。	・材料に適した加工法に関する知識を身に付けている。 ・等角図、キャビネット図及び第三角法などのかき方に関する知識を身に付けている。	○実物投影機 ○ビデオカメラ ●材料と加工に関する新しい技術が、生活や社会をどのようにかえていくかについて、考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・設計においては、新しい発想を生み出そうとしている。	・製作品の使用目的や使用条件を明確にし、製作品の形状と寸法を決定している。	・製作品の構想を等角図、キャビネット図及び第三角法で表すことができる。	・材料に適した加工法に関する知識を身に付けている。 ・等角図、キャビネット図及び第三角法などのかき方に関する知識を身に付けている。	学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察
				1 わたしたちの生活と生物育成	・栽培と私たちの生活や自然環境とのかかわり ・人や環境を大切にしたい栽培とは	・栽培の学習内容に興味を持つことができる。 ・人や環境を大切にしたい栽培に興味を持つことができる。	・人や環境を大切にしたい栽培について考え、これからの実習や生活に生かせるようまとめることができる。	・栽培が生活や自然環境と深くかかわっていることを理解している。	OPC	・栽培の学習内容に関心を示している。 ・人や環境を大切にしたい栽培に関心を示している。	・人や環境を大切にしたい栽培について考え、これからの実習や生活に生かせるようまとめることができる。	・栽培が生活や自然環境と深くかかわっていることがわかる。	学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察		
				2 作物の栽培 3 実習「向日葵」の栽培	・栽培ごよみを調べよう ・栽培の見通し ・栽培計画の作成 ・作物の生育に必要な環境要因 ・土づくり ・種まき ・鉢替え ・日々の手入れ ・害虫を防ぐ方法	・環境に対する負荷の軽減や安全に配慮して栽培方法を検討しようとしている。 ・栽培計画表を意欲的に作成している。 ・実習に積極的に参加している。 ・日々の手入れを継続的にやっている。 ・観察と栽培記録の作成を継続的にやっている。	・作物にとって良い土とは何か考えることができる。 ・良い苗を育てるためにはどうすべきか考えることができる。 ・作物の生育管理を自分なりに工夫している。 ・栽培記録の作成を工夫している。 ・病害虫の防除法を考えることができる。	・栽培の目的や環境条件に適した作物の選択ができる。 ・栽培する作物の栽培計画を作成することができる。 ・土づくり、種まき、育苗、鉢替えなどが正しくできる。 ・栽培管理によって安全に病害虫から作物を守ることができる。	・土づくり、種まき、育苗、鉢替えなどに関する知識を身に付けている。 ・栽培管理に関する知識を身に付けている。 ・安全に病害虫から作物を守るための知識を身に付けている。	○ビデオ ●栽培の時期や飼育の方法などの生物育成に関する技術を有効に活用していくことについて、考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・環境に対する負荷の軽減や安全に配慮して栽培方法を検討しようとしている。 ・栽培計画表を作成している。 ・実習に参加している。 ・日々の手入れを行っている。 ・観察と栽培記録を行っている。	・作物にとって良い土とは何か考えることができる。 ・良い苗を育てるためにはどうすべきか考えることができる。 ・栽培記録の作成を行っている。 ・病害虫の防除法を考えることができる。	・栽培の目的や環境条件に適した作物の選択ができる。 ・栽培する作物の栽培計画を作成することができる。 ・土づくり、種まき、育苗、鉢替えなどができる。 ・栽培管理によって安全に病害虫から作物を守ることができる。	学年末考査、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察	
				4 生物育成に関する技術とわたしたち	・栽培記録の整理 ・栽培計画と生育の実際との違い ・生物育成の大切さ	・学習を振り返り、よりよい生物育成について興味を持っている。 ・これまでの学習内容を生活に生かそうとしている。	・よりよい生物育成とは何か、自分なりに考え、まとめることができる。	・生物育に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。	OPC ●身の回りの食糧が、どのような材料からつくられているかに注目しながら、食糧がわたしたちの手に届くまでに、どのような人びとの仕事に関わっているかについて、考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・学習を振り返り、よりよい生物育成について関心を示している。 ・これまでの学習内容を生活に生かそうとしている。	・よりよい生物育成とは何か、自分なりに考え、まとめることができる。	・生物育に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響がわかる。	作品、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察		

学年・月・時数・単元				小単元	学習内容	評価規準				使用するICT等 ●ことばの力を高める 言語活動	評価基準(B)				評価方法
学期	月	時数	単元			生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し想像する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解		生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し想像する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解	
1 学期	4	3	材料と加工に関する技術	1 ものづくりの工夫と進め方 2 材料	・製品の工夫と技術の進歩 ・ものづくりの進め方 ・いろいろな材料の特徴と利用方法 ★丹下健三の設計に至るまでのコンセプトについて学ぶ。	・材料見本や工具を丁寧に扱うことができる。 ・学習課題については、今までの学習や生活経験から調べたり、考えたりすることができる。	・製品になぜその材料が使用されているか使用目的や使用条件などから考えることができる。		・木材、金属、プラスチックなど、いろいろな材料の特徴と利用方法に関する知識を身に付けている。	○実物投影機 ○ビデオカメラ ●身の回りにある製品の材料や特徴などについて、考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・材料見本や工具の扱いを気を付けている。 ・学習課題については、調べたり、考えたりすることができる。	・製品になぜその材料が使用されているか使用目的や使用条件などから考え、まとめることができる。		・木材、金属、プラスチックなど、いろいろな材料の特徴と利用方法に関する知識を身に付けている。	作品、確認テスト、学習プリント、活動状況の観察
	5	4		3 設計	・設計の進め方 ・使用目的と製作品の決定 ・機能、構造、材料の検討 ・加工法の検討 ・製図	・設計においては、生活をよりよくするために新しい発想を生み出そうとしている。	・製作品の使用目的や使用条件を明確にし、使いやすさ・丈夫さ・材料を検討したうえで製作品の適切な形状と寸法を決定することができる。	・製作品の構想を等角図、キャビネット図及び第三角法で表すことができる。	・材料に適した加工法に関する知識を身に付けている。 ・等角図、キャビネット図及び第三角法などのかき方に関する知識を身に付けている。	○実物投影機 ○ビデオカメラ	・設計においては、新しい発想を生み出そうとしている。	・製作品の使用目的や使用条件を明確にし、製作品の形状と寸法を決定している。	・製作品の構想を等角図、キャビネット図及び第三角法で表すことができる。	・材料に適した加工法に関する知識を身に付けている。 ・等角図、キャビネット図及び第三角法などのかき方に関する知識を身に付けている。	期末考査、確認テスト、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察
	6	3													
	7	4	材料と加工に関する技術	4 製作	・製作の進め方 ・部品表と工程表 ・けがき ・材料取り、切断、切削、穴あけ ・組立て ・表面、角の仕上げ	・工具や材料を丁寧に扱うことができる。 ・技術の授業における約束を守り、製作に集中して取り組んでいる。 ・製作終了後は発展課題に取り組んでいる。	・安全な実習を心がけている。 ・製作品を能率よく仕上げるために作業順序や工具の使い方に工夫がある。	・製作図を基にして、材料取り、部品加工、組立・接合、仕上げができる。 ・作業工程を的確に進め、仕上がりがよい。 ・工具や工作機械を正しく操作することができる。 ・作業の進度にあわせて自分で判断し、作業を進めることができる。	・材料に適した加工法に関する知識を身に付けている。 ・等角図、キャビネット図及び第三角法などの製図の見方に関する知識を身に付けている。	○実物投影機 ○ビデオカメラ ●材料と加工に関する新しい技術が、生活や社会をどのようにかえていくかについて、考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・工具や材料の扱いが丁寧である。 ・技術の授業における約束を守り、製作に取り組んでいる。	・自分がけがきをしない、他の人にけがきをさせないように心がけている。 ・製作品を能率よく仕上げるために作業順序や工具の使い方に工夫がある。	・製作図を基にして、材料取り、部品加工、組立・接合、仕上げができる。 ・作業工程を参考に進めることができる。 ・工具や工作機械を操作することができる。	・材料に適した加工法に関する知識を身に付けている。 ・等角図、キャビネット図及び第三角法などの製図の見方に関する知識を身に付けている。	学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察
	9	4		5 材料と加工に関する技術とわたしたち	・社会・環境との関わり ・材料と加工に関する技術と私たちの未来	・材料と加工に関する技術の課題をすずんで見つけ、これまでの学習内容から解決策を考えようとしている。	・材料と加工に関する技術の課題をすずんで見つけ、これまでの学習内容から解決策を見いだしている。		・材料と加工に関する技術が環境に果たしている役割と影響について理解している。	○実物投影機 ○ビデオカメラ	・材料と加工に関する技術の課題をすずんで見つけ、解決策を考えようとしている。	・材料と加工に関する技術の課題をすずんで見つけ、解決策を見いだしている。		・材料と加工に関する技術が環境に果たしている役割と影響がわかる。	学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察
10		3		1 わたしたちの生活とエネルギー変換	・エネルギーとエネルギー変換 ・エネルギー変換の種類 ・エネルギー変換と効率	・エネルギーやエネルギー変換に興味を持っている。 ・水力、風力、太陽光、波力、バイオマスなど、さまざまな発電方法に興味を持っている。	・エネルギー変換効率を高めるためにはどうしたらよいか考えることができる。 ・身の回りにあるエネルギー変換の利用例を考えることができる。		・エネルギー変換に関する技術が果たす役割と影響について理解している。 ・社会で利用されているエネルギー変換についての知識を身に付けている。	○●電気機器の長所や短所、保守点検の方法や短絡や発火等の事故が起こりそうな場面について具体的に考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・エネルギーやエネルギー変換に関心を示している。 ・水力、風力、太陽光、波力、バイオマスなど、さまざまな発電方法に関心を示している。	・エネルギー変換効率を高めるためにはどうしたらよいかを考え、まとめることができる。 ・身の回りにあるエネルギー変換の利用例を挙げるすることができる。	・エネルギー変換に関する技術が果たす役割と影響がわかる。 ・社会で利用されているエネルギー変換についての知識を身に付けている。	期末考査、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察	

3 学期	11 12		2 エネルギー変換と利用	・電気エネルギー ・電気機器への利用	・電気エネルギーのしくみや利用方法に興味を持っている。 ・学習課題については、今までの学習内容や生活経験から調べたり、考えたりすることができる。	・電気エネルギーの変換のしくみや利用方法の具体例を考えすることができる。		・電気の種類と特徴、エネルギーの変換方法や制御、利用及び機器の構造に関する知識を身に付けている。	●エネルギー変換の技術の役割と影響などについて、考えたり話したり伝えたりする活動。	・電気エネルギーのしくみや利用方法に関心を示している。 ・学習課題については、調べたり、考えたりすることができる。	・電気エネルギーの変換のしくみや利用方法の具体例を挙げることができる。		・電気の種類と特徴、エネルギーの変換方法や制御、利用及び機器の構造に関する知識を身に付けている。	作品、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察
	1 3	エネルギー変換に関する技術	4 エネルギー変換を利用したものづくり「はんだごて」の製作	・構想と設計 ・工程表 ・電子基盤の製作 ・プラグの制作 ・ヒーター部分の製作	・工具や材料及び機械を丁寧に扱うことができる。 ・技術の授業における約束を守り、製作に集中して取り組んでいる。 ・製作終了後は発展課題に取り組んでいる。	・安全な実習を心がけている。 ・製作品を能率よく仕上げるために作業順序や工具の使い方に工夫がある。 ・製作品の使用目的や使用条件を明確にし、使いやすさ・丈夫さ・図のデザインを検討したうえで製作品の適切な形状や寸法及びデザインを決定することができる。	・電子回路図を基にして、電子回路を組むことができる。 ・製作図を基にして、材料取り、部品加工、組立・接合、仕上げができる。 ・工具や工作機械を正しく操作することができる。 ・作業工程を的確に進め、仕上がりがよい。	・加工法や工具の使い方にに関する知識を身に付けている。 ・電子回路図が理解できる。	○実物投影機 ○ビデオカメラ	・工具や材料及び機械の扱いが丁寧である。 ・技術の授業における約束を守り、製作に取り組んでいる。	・自分がけがをしないうちに他の人にけがをさせないように心がけている。 ・製作品の使用目的や使用条件を明確にし、適切な形状や寸法及びデザインを決定することができる。 ・工具や工作機械を操作することができる。	・電子回路図を参考に、電子回路を組むことができる。 ・製作図を参考に、材料取り、部品加工、組立・接合、仕上げができる。 ・工具や工作機械を操作することができる。	・加工法や工具の使い方にに関する知識を身に付けている。 ・電子回路図がわかる。	確認テスト、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察
	2 3		5 エネルギー変換に関する技術とわたしたち	・社会・環境との関わり ・エネルギー変換に関する技術と私たちの未来	・エネルギーに関する技術の課題をすすんで見つけ、これまでの学習内容から解決策を考えようとしている。	・エネルギー変換に関する技術の課題をすすんで見つけ、これまでの学習内容から解決策を見いだしている。		・エネルギー変換に関する技術が環境に果たしている役割と影響について理解している。	○実物投影機 ○ビデオカメラ ○PC ●材料と加工に関する新しい技術が、生活や社会をどのように変えていくかについて、考えたり話したり伝えたりする活動。	・エネルギー変換に関する技術の課題をすすんで見つけ、解決策を考えようとしている。	・エネルギー変換に関する技術の課題をすすんで見つけ、解決策を見いだしている。		・エネルギー変換に関する技術が環境に果たしている役割と影響がわかる。	作品、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察

学期	月	時数	単元	小単元	学習内容	評価規準				〇使用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準(B)				評価方法		
						生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し想像する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解		生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し想像する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解			
1・2学期	4・5・6・7	3	エネルギー変換に関する技術	1 機器の安全な利用と保守点検	・電気機器の構造 ・電気機器の安全な利用 ★エジソンの発明技法について学ぶ。	・身の回りの電気機器を安全な利用法について興味を持っている。 ・学習したことを生活に生かそうとしている。	・電気機器の構造や電子回路を図と言葉で自分なりにまとめることができる。 ・電気機器のさまざまな表示や、安全な利用法をまとめることができる。	・延長コードや洗濯機などの使用場面を想像し、事故が起こらないよう注意すべきいくつかの点を守ることができる。	・電気機器の構造や電子回路図などに関する知識を身に付けている。 ・定格表示、安全に利用するための表示及び機器の保守点検を理解している。	〇実物投影機 〇ビデオカメラ 〇PC ●電気機器の長所や短所、保守点検の方法や短絡や発火等の事故が起こりそうな場面について具体的に考えたり話し合ったり伝えたりする活動。 ●エネルギー変換の技術の役割と影響などについて、考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・身の回りの電気機器を安全な利用法について関心を示している。 ・学習したことを生活に生かそうとしている。	・電気機器の構造や電子回路を図と言葉でまとめることができる。 ・電気機器のさまざまな表示や、安全な利用法をまとめることができる。	・延長コードや洗濯機などの使用場面を想像し、事故が起こらないよう注意すべき点を守ることができる。	・電気機器の構造や電子回路図などに関する知識を身に付けている。 ・定格表示、安全に利用するための表示及び機器の保守点検がわかる。	確認テスト、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察、作品、期末考査		
				4 製作	・製作の進め方 ・部品表と工程表 ・けがき ・材料取り、切断、切削、穴あけ ・組立て ・表面、角の仕上げ	・工具や材料を丁寧に扱うことができる。 ・技術の授業における約束を守り、製作に集中して取り組んでいる。 ・製作終了後は発展課題に取り組んでいる。	・安全な実習を心がけている。 ・製作品を能率よく仕上げるために作業順序や工具の使い方に工夫がある。	・製作図を基にして、材料取り、部品加工、組立・接合、仕上げができる。 ・作業工程を的確に進め、仕上がりやすい。 ・工具や工作機械を正しく操作することができる。 ・作業の進度にあわせて自分で判断し、作業を進めることができる。	・材料に適した加工法に関する知識を身に付けている。 ・等角図、キャビネット図及び第三角法などの製図の見方に関する知識を身に付けている。	〇実物投影機 〇ビデオカメラ 〇PC ●材料と加工に関する新しい技術が、生活や社会をどのように変えていくかについて、考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・工具や材料の扱いが丁寧である。 ・技術の授業における約束を守り、製作に取り組んでいる。	・自分がけがをしないうちに、他の人にけがをさせないように心がけている。 ・製作品を能率よく仕上げるために作業順序や工具の使い方に工夫がある。	・製作図を基にして、材料取り、部品加工、組立・接合、仕上げができる。 ・作業工程を参考に進めることができる。 ・工具や工作機械を操作することができる。	・材料に適した加工法に関する知識を身に付けている。 ・等角図、キャビネット図及び第三角法などの製図の見方に関する知識を身に付けている。	確認テスト、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察		
2・3学期	12	2	情報に関する技術	7 プログラムによる計測・制御	・生活の中にある計測・制御 ・ソフトウェアを使ってみよう(表計算、プレゼンテーション) ・計測・制御システム ・処理手順とプログラム	・あらゆるものはコンピュータが制御していることを知り、制御に興味を持つことができる。 ・表計算やプレゼンテーションなどのソフトウェアをすずんで利用しようとしている。 ・発表するときのことを考えた設計(色づかい、レイアウトなど)、知的財産に配慮している。 ・プログラム作成に集中して取り組んでいる。	・課題にあった適切な情報処理の手順(プログラム)を考えることができる。 ・テーマに合った情報を収集し、だれも見やすいレイアウトでまとめることができる。 ・計測・制御システムの便利な点や注意が必要な点を考えることができる。	・目的に応じてソフトウェアを使い分け、安全に使用することができる。 ・簡単なプログラムのフローチャートを作成することができる。	・計測・制御システムに関する知識を身に付けている。 ・インターフェースの役割や情報処理の手順を理解している。	〇PC 〇スカイメニュー ●目的にあったプレゼンテーションをするために必要なことを、具体的に考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・あらゆるものはコンピュータが制御していることを知り、制御に関心を示している。 ・表計算やプレゼンテーションなどのソフトウェアを利用しようとしている。 ・発表するときのことを考えた設計(色づかい、レイアウトなど)、知的財産に配慮している。	・課題にあった適切な情報処理の手順(プログラム)を考えることができる。 ・テーマに合った情報を収集し、自分なりにまとめることができる。 ・計測・制御システムの便利な点や注意が必要な点を考えることができる。	・目的に応じてソフトウェアを使い分け、安全に使用することができる。 ・簡単なプログラムのフローチャートを作成することができる。	・計測・制御システムに関する知識を身に付けている。 ・インターフェースの役割や情報処理の手順がわかる。	期末考査、作品、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察		
	1	2															
	1	1															
	2	2															
3	3	1	8 情報に関する技術とわたしたち	・社会・環境とのかかわり ・情報社会を生かすためには	・情報の技術が与えるプラスとマイナスを理解した上で、そのおおいをつけて情報を上手に安全に使うようとしている。 ・学習内容をこれからの生活に生かそうとしている。	・情報の技術が与えるプラスとマイナスを理解した上で、そのおおいをつけて情報の活用方法を考えることができる。	・情報の技術が与えるプラスとマイナスを理解している。	〇PC ●情報に関する技術が、高齢者や障害者の生活を豊かなものにしていく場面を具体的に考えたり話し合ったり伝えたりする活動。	・情報の技術が与えるプラスとマイナスを理解した上で、そのおおいをつけて情報を上手に安全に使うようとしている。 ・学習内容をこれからの生活に生かそうとしている。	・情報の技術が与えるプラスとマイナスを理解した上で、そのおおいをつけて情報を上手に安全に使うようとしている。	・情報の技術が与えるプラスとマイナスがわかり、そのおおいをつけて情報の活用方法を考えることができる。	・情報の技術が与えるプラスとマイナスがわかる。	確認テスト、学習プリント、授業中の発言、ノート点検、活動状況の観察				

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				〇活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準(B)				評価方法
						生活や技術への 関心・意欲・ 態度	生活を工夫し創造 する能力	生活の技能	生活や技術への 知識・理解		生活や技術への 関心・意欲・ 態度	生活を工夫し創造 する能力	生活の技能	生活や技術への 知識・理解	
1	4	1	ガイダンス	家庭分野の学習について	家庭分野の学習目的を知り内容を 確認する。	学習目的を理解し 学習内容を確認して まとめる。					学習目的を理解し 学習内容をまとめる ことができた。				ノート点検
	5	10	衣生活と自立	着る目的	衣服のはたらきや分類を知る。 目的に応じた衣服の着方や個性を生かした着方を考える。 洋服と和服の構成を知り和服文化への理解を深める。	自分の衣生活に関心を持ち、意欲的に取り組む。 和服文化への興味関心をもつ。	自分の衣生活をよりよくしよう工夫する。 和服文化の伝承について考える。	目的に応じた着方を考える。 洋服と和服の構成の違いを理解し組み立てる。	衣服のはたらきや分類を理解する。 洋服と和服の構成の違いを理解し和服文化への理解を深める。	〇デジタル教科書 ●実物投影機 ●色からイメージする物・言葉。 ●衣服の購入で、なにを基準に選ぶか。	自分の衣生活に関心を持ち、意欲的に取り組むことができた。 和服文化へ意欲的に興味関心をもつことができた。	自分の衣生活をよりよくしよう工夫し着方を考えられた。 和服文化の伝承について考えることができた。	目的に応じた着方を考えまとめることができた。 洋服と和服の構成の違いを理解し組み立てられた。	衣服の社会生活上のはたらきを理解し分類できた。 洋服と和服の構成の違いを理解し和服文化への理解を深めまとめられた。	ノート点検 期末考査 授業観察
	6			衣服の計画的な活用方法	衣服計画を立て衣服の活用方法を考える。		衣服計画をたて、衣服管理できる。	衣服計画をたてることができる。	着ない衣服の活用方法を考えることができる。			衣服計画をたて、衣服管理できた。	衣服計画をたてることができる。	着ない衣服の活用方法を考えることができた。	
	7			必要な衣服の選択・手入れ 環境への配慮	既製服を選ぶポイントを知る。表示を理解し適切な手入れ方法や補修方法を知る。		環境に配慮した衣生活の工夫を考える。	既製服の表示を理解し、手入れ、補修ができる。	既製服を適切に選択し、既製服の表示を理解し、手入れ方法や補修方法を理解する。			環境に配慮した衣生活の工夫を考えられた。	既製服の表示を理解し、手入れ、補修ができた。	既製服を適切に選択し、既製服の表示を理解し、手入れ方法や補修方法を理解できた。	
	7			基礎技能を使った作品製作	基礎技能を使い、エプロン製作する。 (まつり縫い・ボタン付け・ししゅう・アイロン)	意欲的に製作に取り組む。	ししゅうを工夫する。	まつり縫い、ボタン付け、ししゅう、アイロンの技能を習得する。	製作手順、材料、用具を理解する。		意欲的に製作に取り組むことができた。	ししゅうを工夫できた。	まつり縫い、ボタン付け、ししゅう、アイロンの技能を習得できた。	製作手順、材料、用具を理解できた。	作品点検
	9	8	食生活と栄養	食事の役割	食事の役割を理解し、健康によい食習慣について考える。	自分の食生活に関心を持ち、意欲的に取り組む。	自分の食生活の課題をみつけ解決方法を考える。	自分の食生活の課題をみつけ解決方法をまとめる。	食事の役割を理解する。 五大栄養素の種類とはたらき、中学生の栄養の特徴を理解する。	〇デジタル教科書 ●食生活の問題点を挙げて、改善方法を話し合う。	自分の食生活に関心を持ち、意欲的に取り組んだ。	自分の食生活の課題をみつけ解決方法を考えた。	自分の食生活の課題をみつけ解決方法をまとめた。	五大栄養素の種類とはたらき、中学生の栄養の特徴を理解できた。 食品を6つの食品群に分類できた。	ノート点検 期末考査 授業観察
	10			栄養素の種類とはたらき	栄養素の種類とはたらきについて知る 中学生の栄養の特徴を理解する。										
	11	8		献立作りと食品の選択	食品に含まれる栄養素 献立の立て方 食品の選択	食品に含まれる栄養素とはたらきを理解し、6つの食品群に分類する。 食品群別摂取量のめやすと食品の概量を理解し1日の献立を作成する。 ★香川栄養学園創始者：香川綾 生鮮食品・加工食品の特徴や選び方を理解し選択できる。	身近な食品や食事に興味を持ち、意欲的に取り組む。 栄養バランス、季節感などを工夫して献立を作成する。 食品購入時に得た知識を生かす。	1日の献立を作成する。 よりよい食品の選択ができる。	食品を6つの食品群に分類する。 自分に必要な食事摂取基準と食品群別摂取量のめやすを理解する。 食品の特徴や選択のしかたを理解する。	〇デジタル教科書 ●不足している食品群を補うような献立を考え、工夫点を発表する。		食品購入時に得た知識を生かした。	よりよい食品の選択のしかたを理解できた。	食品の特徴や選択のしかたを理解できた。	ノート点検 期末考査 授業観察
3	1	8	調理と食文化	日常食の調理	安全と衛生に気をつけて、調理する。 食品の調理上の性質を知り、適切に調理する。	意欲的に実習に取り組む。	班ごとに計画、分担、協力、工夫して実習する。	基礎技能を習得する。 (ガスの扱い、包丁の扱い)	調理器具の名称、扱い方を理解する。 食品の調理上の性質を知り、適切に調理する。	〇デジタル教科書 ●環境に配慮した調理について話し合わせる。	意欲的に実習に取り組めた。	班ごとに計画、分担、協力、工夫して実習できた。	基礎技能を習得できた。 (ガスの扱い、包丁の扱い)	調理器具の名称、扱い方を理解できた。 食品の調理上の性質を知り、適切に調理できた。	ノート点検 期末考査 授業観察
	2														
	3														
	35														

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				○活用するICT等 ●ことばの力を高める 言語活動	評価基準(B)				評価方法
						生活や技術への 関心・意欲・ 態度	生活を工夫し創造 する能力	生活の技能	生活や技術への 知識・理解		生活や技術への 関心・意欲・ 態度	生活を工夫し創造 する能力	生活の技能	生活や技術への 知識・理解	
1	4	7	住生活と自立	住まいの役割	住まいの役割を考え、理解する。 日本の住まいと住まい方の特徴を理解する。	住生活に関心を持ち、意欲的に取り組む。			住まいの役割や日本の住まいの特徴を理解する。 必要な住空間を理解する。	○デジタル教科書 ●和式と洋式の 良いところ。 ●災害対策について話し合わせる。	住生活に関心を持ち、意欲的に取り組む。			住まいの役割や日本の住まいの特徴を理解できた。	ノート点検 期末考査 授業観察
	5			家族と住まいのかかわり	生活行為に必要な住空間を考え理解する。		自分のできる安全対策を考える工夫する。	自分のできる安全対策を考える。	安全な室内環境を理解する。			自分のできる安全対策を考える工夫できた。	自分のできる安全対策をすることができた。	必要な住空間を理解できた。 安全な室内環境を理解できた。	作品点検
	6			健康で快適な室内空間	快適な室内条件を理解し室内条件を整える方法を考える。 安全快適な住居を想定し、住みたい間取りをデザインする。		学習した事を生かし、住みたい間取りをデザインする。	自分の住みたい住空間を考える。	快適な室内条件を理解する。			学習した事を生かし、住みたい間取りをデザインできた。	自分の住みたい住空間を考えられた。		
	7	3	家族と関係	家庭や家族の機能や地域とのかかわり・家族関係	家庭や家族の基本的な機能を知り、その大切さを考える。家庭生活と地域とのかかわりについて理解する。	家庭と家族について関心をもって取り組む。	家族と家族の課題に気づき、解決を目指して工夫しようとする。	互いの立場や役割を理解し家族に協力する。	家庭や家族の基本的な機能、地域とのかかわりについて理解する。	●家族の気持ちを考える。ロールプレイング。	家庭と家族について関心をもって取り組む。	家族と家族の課題に気づき、解決を目指して工夫できた。	互いの立場や役割を理解し家族に協力できた。	家庭や家族の基本的な機能、地域とのかかわりについて理解できた。	ノート点検 期末考査 実践表 授業観察
2	9	13	幼児の生活と家族	自分の成長	自分の幼児期振り返り幼児に関心を持つ。	自分の幼いころを思い出し、幼児に関心をもつ。			幼児の心身の発達と生活の特徴について理解する。	○デジタル教科書 ○DVD(幼児の生活) ●幼児の生活習慣の習得を助ける工夫や言葉の掛け方。	自分の幼いころを思い出し、幼児に関心をもつ。			幼児の心身の発達と生活の特徴について理解できた。	作品点検
	10			幼児の心身の発達と生活	幼児の心身の発達の特徴と生活を理解する。	幼児の心身の発達と生活の特徴について意欲的に取り組む。			遊びが幼児に与える影響を理解する。			幼児の心身の発達と生活の特徴について意欲的に取り組む。		遊びが幼児に与える影響を理解できた。	
	11			子どもにとっての家族	子どもを育てる環境としての家族の役割を理解する。	意欲的に製作・実習に取り組む。	ぬいぐるみを創意工夫して製作する。	立体的に縫うことを理解し製作する。	幼児に与える家族の影響を理解する。		意欲的に製作・実習に取り組む。	ぬいぐるみを創意工夫して製作できた。	立体的に縫うことを理解し製作できた。	幼児に与える家族の影響を理解できた。	
	12	2	食調理文化と	日常食の調理	調理実習の計画を立て、班で協力して実習する。 ★パティシエ: 柿沢安那	実習に意欲的に取り組む。	班ごとに協力、工夫する。	基礎技能を習得向上させる。	調理材料・方法を理解する。	○デジタル教科書 ●実習の分担を決める。	実習に意欲的に取り組む。	班ごとに協力、工夫できた。	基礎技能を習得向上できた。	調理材料・方法を理解できた。	授業観察
3	1	10	消費生活と環境	消費者としての自覚	消費者生活を振り返る。 契約について理解する。	家庭生活と消費について関心を持ち意欲的に取り組む。	消費生活を振り返り、課題を見つけ、よりよい消費者として考え工夫する。	消費者として情報収集、整理して活用する。	契約について理解する。 販売方法や支払い方法の特徴を理解する。	○デジタル教科書 ○DVD(消費者トラブル) ●自分の消費生活の課題を話し合わせる。 ●商品を購入する際のポイントを話し合わせる。	家庭生活と消費について関心を持ち意欲的に取り組む。	消費生活を振り返り、課題を見つけ、よりよい消費者として考え工夫した。	消費者として情報収集、整理して活用できた。	契約について理解できた。 販売方法や支払い方法の特徴を理解できた。	ノート点検 期末考査 授業観察
	2			商品の選択と購入	商品の適切に選択、購入、活用する。				消費者の権利、責任、消費者基本法を理解する。					消費者の権利、責任、消費者基本法を理解できた。	
	3			消費者の権利と責任	消費者基本法を理解する。				消費者としての自覚を高め、消費生活について考える。					消費者としての自覚を高め、消費生活について考えた。	
	35			消費者トラブルと解決方法	消費者トラブルの事例と解決方法を理解する。				消費行動が環境に与える影響について考える。					消費行動が環境に与える影響を理解できた。	

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				○活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準(B)				評価方法
						生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術への知識・理解		生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術への知識・理解	
1	4	10.5	生活を豊かにするために	生活を豊かにするための工夫 Tシャツの製作	Tシャツの製作の構成を理解する。 ★ファッションデザイナー:コシノ三姉妹	衣服の構成に関心を持ち、意欲的に製作に取り組む。	構成を自分で工夫し考えながら手順を考える。	構成を考えながら手順を考える。	Tシャツの構成を理解する。	○実物投影機 ●完成した作品を発表し、作品のよさについて話し合う。	衣服の構成に関心を持ち、意欲的に製作に取り組むことができた。	構成を自分で工夫し考えながら手順を考えることができた。	構成を考えながら手順を考えることができた。	Tシャツの構成を理解できた。	デザインプリント 点検 期末考査 授業観察
	5				Tシャツの製作手順を理解する。				Tシャツの製作手順を理解する。					Tシャツの製作手順を理解できた。	
	6				Tシャツ製作に必要な用具・道具の使い方・名称を理解する。				必要な用具・道具の使い方・名称を理解する。					必要な用具・道具の使い方・名称を理解できた。	
	7				製作に必要な基礎技能を習得してTシャツを製作する。		ししゅうや色、装飾などデザインを工夫して製作する。	ミシン縫い、なみ縫い、本返し縫いの基礎技能を使って、Tシャツを製作する。				ししゅうや色、装飾などデザインを工夫して製作することができた。	ミシン縫い、なみ縫い、まつり縫いの基礎技能を使って、Tシャツを製作することができた。		
	9														
	10														
	11														
	12	7		調理と食文化	地域の食文化	地域の食文化について理解する。	郷土料理や行事食に関心をもつ。		郷土料理、行事食の意義特徴を理解する。	郷土料理や行事食に関心をもつことができた。			郷土料理、行事食の意義特徴を理解することができた。	ノート点検 期末考査 授業観察	
	1				郷土料理、行事食を調理実習する。	実習に意欲的に取り組む。	班ごとに協力工夫する。	基礎技能を習得向上させる。	調理材料方法を理解する。	実習に意欲的に取り組めた。	班ごとに協力工夫できた。	基礎技能を習得向上させた。	調理材料方法を理解できた。		
	2				よりよい食生活をめざして	食生活を取り巻く問題について興味関心をもつ。	食生活と環境のかかわりや食の安全について課題を見つけ、解決方法を自分で工夫しようとする。	食生活と環境のかかわりや食の安全について課題を見つけ、解決方法を考える。	食生活を取り巻く問題について理解する。	食生活を取り巻く問題について興味関心をもつことができた。	食生活と環境のかかわりや食の安全について課題を見つけ、解決方法を自分で工夫しようとした。	食生活と環境のかかわりや食の安全について課題を見つけ、解決方法を考えられた。	食生活を取り巻く問題について理解できた。		
	3									○デジタル教科書 ●地域の食材のよさについて、話し合う。 ●実習の分担を決める。					
	17.5														

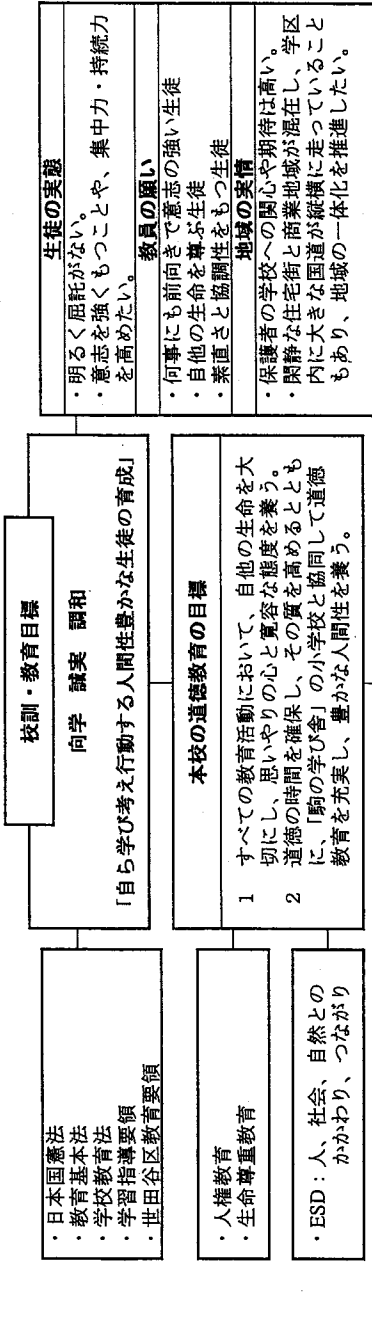
学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)					評価基準(B)					評価方法
						コミュニケーション への関心意欲態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化について の知識・理解	〇活用するICT等 ●ことばの力を高める 言語活動	コミュニケーション への関心意欲態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化について の知識・理解		
1	4	3	Let's start	・あいさつ、自己紹介、英単語、音の学習	①Hello, everyone. How are you? ②My name is ~. Nice to meet you. ③bed, dog, table, cat, bag, ball, etc. I like ~. I can ~ ④walk, run, stop	積極的に自己紹介をする	正しく発音できる	身の周りのものを聞いて何を表すかがわかる		〇デジタル教科書 ●プレゼンソフト ●実物投影機 ●英語での自己紹介をする	自己紹介をしようとする	正しく発音する	指示に従える	授業観察・小テスト・名前読み、音読みテスト		
	14	アルファベット		アルファベット、教室で使う英語、辞書	①文字と小文字②アルファベットの文字と発音の関係、フォニックスの基本③大文字/小文字	発音を声に出して練習しようとしている		大文字と小文字を正しく書く。		発音を声に出して練習しようとする	26文字を書いて、音読みできる					
	5	9	be動詞	・Program2 ・W1単語・文の書き方	・be動詞(肯定・疑問・否定) ・単語・文の書き方	音読練習や暗唱練習を積極的に参加しようとしている。	積極的に話したり、音読したりしようとしている。	内容を正しく理解して、適切に応答する	be動詞や数について正確な知識を身につけている	〇デジタル教科書 ●プレゼンソフト ●実物投影機 ●be動詞を用いて自分のことを話す	音読練習や暗唱練習を行う	適切な読み方や発音をすることができる	たずねられたことに応答する	be動詞や数について知識を身につけている	授業観察・小テスト	
	10	一般動詞	・Program3	・一般動詞(肯定・疑問・否定)		間違いないでそれぞれ積極的に話そうとする	用法を正しく身につけて、表現できる	用法を正しく身につけて聞き取ることができる	一般動詞についての用法を正しく理解し、書くことができる	〇デジタル教科書 ●プレゼンソフト ●実物投影機 ●一般動詞を用いて友達と会話する	自分のことを話そうとする	音読してたずねられたことに応答できる	たずねられたことを理解し応答する	一般動詞の用法を理解し書くことができる	授業観察・小テスト・記述課題	
	6	13	What, How manyの疑問文、単数、複数形	・Program4 MP1/R1	・What, How manyの疑問文、単数、複数形/自己紹介	会話練習における積極的な参加	自己紹介の表現を正しく、まとまりのある英語で表現する	複数形等についての正確な知識を身につけている	〇デジタル教科書 ●プレゼンソフト ●実物投影機 ●既習の文型を使って会話をする	既習の文型を使って、会話練習を行える	文型を理解し、まとまりのある文を表現している	内容を読んで理解できる	複数形等についての知識を身につけている	授業観察・小テスト・記述課題・自己紹介		
	7	10	this/that/where	・Program5 ・S1時刻 ・英語のしくみ1	・this, that /Whereの疑問文	会話練習における積極的な参加や場面や状況に応じた表現を使おうとしている	状況に応じた会話が得意、感情をこめたい表現ができる。手んだ表現を用いて文を書ける	be動詞、場所を聞く表現を正しく理解し、運用できる	〇デジタル教科書 ●プレゼンソフト ●実物投影機 ●場所をたずねる会話をします	相手の言うことを理解しようとし、適切に伝えようとする	気持ちが伝わるように話したり、音読することができる。	内容を聞き取ることができる	be動詞や場所を聞く表現の知識を身につけている	授業観察・小テスト・記述課題・音読テスト		
	2	9	10	3単現の-(e)s(肯定・疑問・否定)	・Program6 ・季節・月の名前、序数	・3単現の-(e)s(肯定・疑問・否定) ・季節・月の名前、序数	会話練習における積極的な参加	既習事項を使って正しく表現できる	内容について正しく聞き取り、読みとることができる	3単現の-(e)sについての正確な知識を身につけている	相手の言うことを理解しようとし、適切に伝えようとする	気持ちが伝わるように話したり、音読することができる。	内容を聞き取ることができる	3単現の-(e)sについての知識を身につけている	授業観察・小テスト・記述課題・スキット発表	
10		13	Who, Whenの疑問文・代名詞	・Program7 ・S2 which/whose ・L2	・Which, Whoseの疑問文 語と語の連結による音変化 代名詞/3人称・単数・現在	会話練習における積極的な参加	既習事項を使って正しく表現できる	内容について正しく聞き取り、読みとることができる	Who, Whenの疑問文についての正確な知識を身につけている	相手の言うことを理解しようとし、適切に伝えようとする	気持ちが伝わるように話したり、音読することができる。	内容を聞き取ることができる	Who, Whenの疑問文についての知識を身につけている	授業観察・小テスト・記述課題・スキット発表		
11		17	can(肯定・疑問・否定)/Howの疑問文	・Program8 ・S3 依頼・許可 ・MP2	・can(肯定・疑問・否定)/Howの疑問文 ・人を紹介しよう	・会話練習における積極的な参加・言語活動で習得表現を積極的に使おうとしている	canを用いて自分のことを伝えたり、Q&Aができる	canを用いた文を正しく聞き取り、読みとることができる	助動詞の用法を正しく理解し、運用する	〇デジタル教科書 ●プレゼンソフト ●実物投影機 ●身近な人を紹介する	canを用いて自分のことを伝えたり、答えたりしようとする	canを用いて自分のことを伝えたり音読、暗唱、ロールプレイができる	canを用いた文を聞き取り、読みとることができる	助動詞の用法を理解し、運用する	授業観察・小テスト・記述課題・スピーチ発表	
12		10	現在進行形	・Program9 ・R2 ・英語のしくみ3	・助動詞can/現在進行形/whatなどで始まる文	・会話練習における積極的な参加・言語活動で習得表現を積極的に使おうとしている	現在進行形の文を用いて自分のことを伝えたり、書いたり音読ができる	現在進行形の文を正しく聞き取り、読みとることができる	現在進行形の文構造を正しく理解し運用する	〇デジタル教科書 ●プレゼンソフト ●実物投影機 ●今していることを相手に伝える	現在進行形の文を用いて自分のことを伝えたり、答えたりしようとする	現在進行形の文を聞き取り、読みとることができる	現在進行形の文構造を正しく理解し運用する	授業観察・小テスト・記述課題・スキット発表		
3	1	12	一般動詞の過去形	・Program10 ・S4 買い物 ・L3 クイズ ・MP3質問しよう	・一般動詞過去(規則)(肯定・疑問)/Whyの疑問文 ★ライト兄弟を取り上げ、あきらめな心について考えを深める	・過去形の文を用いての会話練習における積極的な参加・言語活動で習得表現を積極的に使おうとしている	一般動詞過去形の文を用いて自分のことを伝えたり、書いたり音読ができる	一般動詞過去形の文を正しく聞き取り、読みとることができる	一般動詞過去形の文構造を正しく理解し運用する	〇デジタル教科書 ●プレゼンソフト ●実物投影機 ●過去形を用いたクイズを行う	一般動詞過去形の文を用いて自分のことを伝えたり、答えたりしようとする	一般動詞過去形の文を用いて自分のことを伝えたり音読、暗唱、ロールプレイができる	一般動詞過去形の文を聞き取り、読みとることができる	一般動詞過去形の文構造を正しく理解し運用する	授業観察・小テスト・記述課題・スキット発表・インタビューテスト	
	2	12	一般動詞の過去形(不規則)	・Program11 ・W2 日記 ・英語のしくみ4	・一般動詞過去(不規則)(肯定・疑問)	・過去形の文を用いての会話練習における積極的な参加・言語活動で習得表現を積極的に使おうとしている	一般動詞過去形の文を用いて自分のことを伝えたり、書いたり音読ができる	一般動詞過去形の文を正しく聞き取り、読みとることができる	不規則動詞の過去時制の表現を正しく理解し運用する	〇デジタル教科書 ●プレゼンソフト ●実物投影機 ●過去形を用いて昨日したことをたずねる	一般動詞過去形の文を用いて自分のことを伝えたり、答えたりしようとする	一般動詞過去形の文を用いて自分のことを伝えたり音読、暗唱、ロールプレイができる	一般動詞過去形の文を聞き取り、読みとることができる	不規則動詞の過去時制の表現を理解し運用する	授業観察・小テスト・記述課題・スキット発表	
	3	7	Review Reading/Extensive Reading	・Review Reading/Extensive Reading	・語、連語、慣用表現 ・筆記体	読んだことについて積極的に回答を続けようとしている	読んだこととともに、主人公の心情等を適切に表現して書く	物語のあらすじを正確に読み取る	英単語の正確な知識を身につけている	〇デジタル教科書 ●プレゼンソフト ●音読を行う	読んだことについて回答を続けようとしている	内容や状況に応じて音読する	書かれている内容について理解している	慣用表現を理解できる	授業観察・小テスト	

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				○活用するICT等 ●ことばの力を高める言語活動	評価基準(B)				評価方法
						コミュニケーションへの関心意欲態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解		コミュニケーションへの関心意欲態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	
1	4	10	過去形	Classroom English ・辞書をよんでみよう ・Program1 ・w1 日記② ・英語のしくみ	過去形(一般動詞、be動詞)、過去進行形、 イントネーション・音変化・区切り	過去の体験を積極的に話そうとする。	時制に注意して英文を正しく書くことができる。	日記の内容を正確に読み取ることができる。	過去の時制について正確な知識を身につけている。	○デジタル教科書 ●対話、 ●英作文 ●文章読解	過去の体験を話そうとする。	時制に注意して英文を書くことができる。	日記の内容を読み取ることができる。	過去の時制について知識を身につけている。	授業観察・小テスト・記述課題
	5	11	未来形	・Program2 ・L1天気予報 ・S1電話①	未来形 天気を表す語句 買い物に誘う表現	予定を伝えたり、電話の場で積極的に対話を続けようとしている。	質問や依頼に対して適切に応じることができる。未来の予定が伝わるように話したり正しく書くことができる。	天気予報を正しく聞き取ることができる。	未来の時制や天気を表す表現について正確な知識を身につけている。	○デジタル教科書 ●対話、英作文、 ●SHOW & TELL ●聞き取り、暗唱	予定を伝えたり、電話の場で対話を続けようとしている。	質問や依頼に対して適切に応じることができる。未来の予定を正しく話したり書いたりできる。	未来の時制や天気を表す表現についての知識を身につけている。	授業観察・小テスト・インタビューテスト	
	6	17	助動詞 接続詞	・Program3 ・S2誘う・依頼する・約束する ・My project4 ・英語のしくみ2	助動詞、接続詞 電話で用いる定型表現 積極的に対話をつなげる言い方	積極的に説明したり、話を続けようとしている。 自分の考えを正しく伝えることができる。	義務や禁止する事を正しく伝えることができる。 自分の考えを正しく伝えることができる。	話者の意図を正確に読み取ることができる。	助動詞や接続詞について正確な知識を身につけている。	○デジタル教科書 ●対話、インタビュー	説明したり、話を続けようとしている。	義務や禁止すること、自分の考えを伝えることができる。	話者の意図を読み取ることができる。	助動詞や接続詞についての知識を身につけている。	授業観察・小テスト・記述課題
	7	5	長文読解	・Program4	まとまりのある文章を読む 語、連語、慣用表現 (look like ~ / All right / some time later など)		書かれた内容が表現されるように音読することができる。読んだ内容をふまえて感想を書くことができる。	物語のあらすじを正確に読み取ることができる。	英単語の正確な知識を身につけている。	○デジタル教科書 ●読解 ●英語劇、感想文発表		書かれた内容を音読することができる。読んだ内容について感想を書くことができる。	物語のあらすじを読み取ることができる。	英単語の知識を身につけている。	授業観察・小テスト
	9	9	接続詞 ～がある	・Program5 ・S3買い物②	There is / are ~、接続詞when, if	自分の考えや事実を積極的に伝えようとしている。	自分の考えや事実を正確に伝えることができる。	相手の伝えようとしていることを正確に理解することができる。	There is 構文や接続詞について正確な知識を身につけている。	○デジタル教科書 ●音読、ロールプレイ	自分の考えや事実を伝えようとしている。	自分の考えや事実を伝えることができる。	相手の伝えようとしていることを理解することができる。	There is 構文や接続詞についての知識を身につけている。	授業観察・小テスト・インタビューテスト
	9	13	不定詞	・Program6 ・L2ALTへのインタビュー ・W2A1771へのメール	不定詞(名詞的用法・形容詞的用法・副詞的用法) 対話の内容から大切な情報を聞き取る まとまった内容の文章を書く	身の回りのものを積極的に説明しようとしている。	自分の考えが伝わるように正しく書くことができる。 自分の考えを話して正しく伝えることができる。	相手の発言のポイント聞いて、適切に応じることができる。	不定詞について正確な知識を身につけている。	○デジタル教科書 ●対話、インタビュー ●聞き取り ●読解、英作文	身の回りのものを説明しようとしている。	自分の考えが伝わるように話したり書くことができる。	相手の発言のポイント聞いて、応じることができる。	不定詞についての知識を身につけている。	授業観察・小テスト・記述課題
	10	16	動名詞 SV00	・Program7 ・S4道案内① ・英語で理科 ・My project 5	動名詞、SVC・SV00 ママハトマ・ガンジーについて学ぶ 道案内で用いる定型表現 まとまった文章を読解する 既習事項を用いて自分の夢をスピーチで表現する	自分の気持ちを積極的に伝えようとしている。	自分の考えを正しく伝えることができる。	物語のあらすじを正確に読み取ることができる。	動名詞やSVCやSV00の正確な知識を身につけている。	○デジタル教科書 ●対話、読解、作文 ●音読、スキット ●英作文、スピーチ	自分の気持ちを伝えようとしている。	自分の考えを伝えることができる。	物語のあらすじを読み取ることができる。	動名詞やSVCやSV00の知識を身につけている。	授業観察・小テスト・インタビューテスト・記述課題・スピーチ
2	7	11	長文読解	・Program8	語、連語、慣用表現 (both~and / in all / look back at~など)		書かれた内容が表現されるように音読することができる。読んだことについて感想を書くことができる。	物語のあらすじを正確に読み取ることができる。	英単語の正確な知識を身につけている。	○デジタル教科書 ●読解、紙芝居 ●英作文		書かれた内容を音読することができる。読んだことについて感想を書くことができる。	物語のあらすじを読み取ることができる。	英単語の知識を身につけている。	授業観察・小テスト
	12	12	比較級 最上級	・Program9 ・英語で数学 ・S5買い物③	形容詞の比較表現 副詞の比較表現 買い物で用いる定型表現 [倍数を含んだ比較表現] [the + (比較級)、the + (比較級) ~]	比較表現を用いた情報を積極的に伝えようとしている。	自分の気持ちが正しく伝わるように適切な音声で音読したり書くことができる。	自分の気持ちが正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くことができる。	比較級、最上級の正確な知識を身につけている。	○デジタル教科書 ●対話、作文 ●音読、スキット ●暗唱	比較表現を用いた情報を伝えようとしている。	自分の気持ちが正しく伝わるように音読したり、書くことができる。	自分の気持ちが正しく伝わるように文章を書くことができる。	比較級、最上級の正確な知識を身につけている。	授業観察・小テスト・インタビューテスト
	1	9	比較級 最上級	・Program10 ・W3自分の考えをまとめる	形容詞・副詞の比較表現 (more, most, better, best) 自分の考えをまとまりのある英語で表現する	相手の意見を聞いて、積極的に応じようとしている。	自分の考えを正しく伝えるように書くことができる。	まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ることができる。	比較級、最上級の正確な知識を身につけている。	○デジタル教科書 ●対話、インタビュー ●討論会	相手の意見を聞いて応じようとしている。	自分の考えを伝えるように書くことができる。	まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を聞き取ることができる。	比較級、最上級の知識を身につけている。	授業観察・小テスト・記述課題
3	2	14	受け身	・Program11 ・L3旅行ガイドの説明 ・My Project6 ・英語のしくみ4	受身形(受け身の構文、動作主のある受け身) まとまりのある英語を聞いた後読んだりして、概要を理解する。 I agree ~、I disagree ~.	事実を相手に積極的に伝えようとしている。	自分の考えが相手に正しく伝わるように書くことができる。 考えられたテーマについて意見を言うことができる。	説明文の大切な部分を正確に読み取ることができる。	受身形の正確な知識を身につけている。	○デジタル教科書 ●対話、作文 ●聞き取り、読解	事実を相手に伝えようとしている。	自分の考えが相手に伝わるように書くことができる。 自分の意見を言うことができる。	説明文の大切な部分を正確に読み取ることができる。	受身形の知識を身につけている。	授業観察・小テスト・インタビューテスト
	3	12	長文読解	・Program12 ・Review Reading	まとまりのある文章を読んで内容を理解する 語、連語、慣用表現 (come true / Would you ~? など)	読んだことについて積極的に回答を続けようとしている。	読んだことをもとに、主人公の心情を適切に表現して書くことができる。	物語のあらすじを正確に読み取る。	英単語の正確な知識を身につけている。	○デジタル教科書 ●読解 ●作文	読んだことについて回答を続けようとしている。	読んだことをもとに、主人公の心情を表現して書く。	物語のあらすじを読み取る。	英単語の知識を身につけている。	授業観察・小テスト

学期	月	時数	単元	小単元 (項目)	学習内容	評価規準(指導目標)				評価基準(B)				評価方法	
						コミュニ ケーション への関心 意欲態度	外国語表 現の能力	外国語理 解の能力	言語や文 化につい ての知識・ 理解	○活用するICT等 ●ことばの力を高 める言語活動	コミュニ ケーション への関心 意欲態度	外国語表 現の能力	外国語理 解の能力		言語や文 化につい ての知識・ 理解
1	4	15	受け身 現在完了 (完了)	Classroom English 辞書をよんでみよう Program 1 S1 旅行 機内で	受け身(過去)・現在完了(完了/肯定・疑問・否定) ・飛行機内での定型表現	積極的に役割を 演じようとしてい る	質問に対して適 切に応答する	現在完了の用法 を正しく理解する ことができる	現在完了につい て正確な知識を 身につけている	○デジタル教科書 ○プレゼンソフト ●受け身の表現を使用したク イズを出し合う。	役割を演じよう としている	質問に対して応 答する	現在完了の用法 を理解すること ができる	現在完了を使っ て書くことがで きる	授業観察・小テス ト・記述課題
	5	17	現在完了 (継続・ 経験)	Volcanoes in Japan 2 食事(レストランで) 英語のしくみ1	現在完了(継続・経験)(現在完了結果) 料理を注文するときの定型表現	積極的に対話を しようとしている	自分の趣味につ いて続けている 期間を正しく伝え る	物語のあらすじ を正確に読み取る ことができる	現在完了につい て正確な知識を 身につけている	○デジタル教科書 ○プレゼンソフト ●現在完了の表現を用い、 自分の経験を話す。	趣味について対 話をしようとして いる	自分の趣味につ いて続けている 期間を伝える	物語のあらすじ を読み取ること ができる	現在完了につい て知識を身につ けている	授業観察・インタ ビューテスト・記述 課題
	6	19	It is ~ (for) to know how to ask to	The 5 Rs to Save the Earth/1 英語で料理 S3 道案内②(電車の 乗りかえ)L1 My project7 英語のしくみ2	It is ~ (for + 人) to ... know how to ask to	自分の気持ちを 積極的に伝えよ うとしている	自分の考えが正 しく相手に伝え ることができる	書かれている内 容について正しく 理解している	It is ~ to ... know, how to ask toの知識を身に つけている	○デジタル教科書 ●電車の乗り換えについ ての道案内につい てのスキットを する。	自分の気持ちを 伝えようとして いる	自分の考えが相 手に伝えること ができる	書かれている内 容について理解 している	It is ~ to ... know, how to ask toの知識を身に つけている	授業観察・小テス ト・暗唱テスト・記 述課題
	7	14	文章読解	Faithful Elephants W1 ウェブストアへの メール	語・連語・慣用表現・メールの書き方・住所の書き方	書かれた内容が 表現されるように 音読することが できる。	物語のあらすじ を正確に 読み取ること ができる。	物語のあらすじ を正確に読み取 ることができる	英単語の正確な 知識を身につけ ている。	○デジタル教科書 ○プレゼンソフト	書かれた内容が 音読することが できる。	物語のあらすじ を読み取ること ができる。	英単語の知識を 身につけている。	英単語の正確な 知識を身につ けている。	授業観察・小テス ト・記述課題
2	9	15	SVOC 間接疑問	Sushi-Go-Around in the WorldS4 電話	主語・動詞・目的語・補語 間接疑問文 (感嘆表現)	積極的にたくさん の人に質問しよ うとしている	考えたニックネー ムを正しく相手 に伝える	書かれている内 容について正しく 理解している	間接疑問を用い て正しい語順で 質問する文を書 くことができる	○デジタル教科書 ●間接疑問文を使い、学校 行事について会話を する。	たくさんの人に 質問しようとし ている	たくさんの人に 質問しようとし ている	考えたニックネー ムを相手に伝え る	間接疑問を用い て語順で質問す る文を書くこと ができる	授業観察・インタ ビューテスト・記述 課題
	10	16	分詞後置 修飾・文 章読解	Let's Talk about Things Japanese. 2 英語で茶道(ちゃどう) ・英語のしくみ38伝統 文化を説明しよう	現在分詞の後置修飾・過去分詞の後置修飾・語・連 語・慣用表現	積極的に他者に 伝えようとして いる	スピーチの内容が 伝わるように 暗唱する	英文を聞いて内 容を正しく理解し ている	分詞の後置修飾 を用いて正しい 語順で質問する 文を書くことが できる	○デジタル教科書 ○プレゼンソフト ●分詞構文を使い、自分の 好きな歌手や本につい て会話を する。	他者に伝えよ うとしている	スピーチを暗唱 する	英文を聞いて内 容を理解してい る	分詞の後置修飾 を用いて質問す る文を書くこと ができる	授業観察・スピー チ・記述課題
	11	14	関係代名詞(主 格) 関係代名詞(目 的格)	What Is the Most Important Thing to You? S5 買い物④(靴を 買う) Clean Energy Sources	関係代名詞(主格)・関係代名詞(目的格)・買い物 をする時の表現	積極的に特徴を 表現しようとし ている	人物・ものにつ いて正しく説明で きる	書かれている内 容について正しく 理解している	関係代名詞(主 格・目的格)の正 確な知識を身に つけている	○デジタル教科書 ○プレゼンソフト ○DVD ●関係代名詞を使ったクイズ を出し合う。	特徴を表現しよ うとしている	人物・ものにつ いて説明できる	書かれている内 容について理解 している	関係代名詞(主 格・目的格)の知 識を身につけて いる	授業観察・小テス ト・記述課題
	12	11	文章読解	W2 ホームページ L2 アナウンス Mother Teresa ★マザー・テレサを取り 上げ、人類愛につい て学習する。	語・連語・慣用表現 (付加疑問文)	積極的に多くの 情報を得ようとし ている	読んだことに対 して適切な感想を 書くことができる	書かれている内 容について正しく 理解している	英単語の正確な 知識を身につ けている。	○デジタル教科書	多くの情報を得 ようとしている	読んだことに対 して感想を書くこ とができる	書かれている内 容について理解 している	英単語の知識を 身につけている。	授業観察・小テス ト・記述課題
3	1	11	文章読解	L3 有名人の名言 自己PRしよう After Twenty Years Review Reading 1. The Origin of World Heritage Sites 2. Japanese Anime Goes Abroad. 3. Hats Off to Harada Misa Extensive Reading 1. The Wisest Man in the World 2. The Hat 3学年のまとめ	語・連語・慣用表現										
	2	17				わからない語句 があつて積極的 に聞き続けたり、 読み続けたりし ようとする	内容や状況に応 じて適切に音読 する	書かれている内 容について正しく 理解している	英単語の正確な 知識を身につ けている。	○デジタル教科書 ○プレゼンソフト ●自己PRをする。	わからない語句 があつて聞き続 けたり、読み続け たりしようとする	内容や状況に応 じて音読する	書かれている内 容について理解 している	英単語の知識を 身につけている。	授業観察・小テス ト・記述課題
	3	4													

道徳教育全体計画

ESD①



道徳教育の重点目標

- 基本的な生活習慣の確立を通して、人間としてよりよきようとする心情や実践意欲と態度を育てる。
- 先人が伝えてきた道徳的な考え方や表現、行動のよさについて理解し、人、社会、自然との持続可能なかかわり、つながりについて考え、大切に継承しようとする心情をはぐくむ。(ESDの土台①)
- 花や草木、青空や夕焼けなど、自然や四季を話題にし、その美しさを感じることができている情操を養う。
- 道徳授業地区公開講座などを通して、保護者・地域社会と連携し、生徒の規範意識や思いやりの心を育てる。

第1学年	第2学年	第3学年
○あいさつの励行、望ましい生活習慣に基づく判断力の定着を図り、自分の言動に対する責任感、他の人を思いやり、感謝する心情をはぐくむ。 いじめの防止：人の痛みや苦しみに共感し、「おかしい」「やめて」「許さない」等の態度をとることができる生徒を育てる。	○自らのよさを伸ばすとともに、他の人の個性を尊重して寛容に受け止め、ともに高め合う人間関係をつくる意欲と態度をはぐくむ。	○社会生活におけるルールに基づいた判断力や、社会に積極的に参画・貢献しようとする意欲と態度をはぐくむ。

道徳の時間の指導方針

- 1年間ですべての道徳的価値を取り扱うとともに、学年の実態に応じた重点化を図った指導計画を作成する。
- 副読本、補助教材、NIEを工夫・活用した授業を通して、生徒の道徳的価値に基づいた生き方の自覚を促す。
- 各教科等の指導や体験活動と密接に連携を図りながら、生徒の考えや経験を補充・深化・統合して、道徳的実践力を育成する。
- 授業時数を確保し、資料や発問、言語活動に工夫を凝らした授業を展開することにより、生徒の道徳的心情と道徳的実践力を育む。

各教科	
国語	文字や言葉で表現したり聞き取る学習を通して伝え合う力を高め、他の人と円滑に意思疎通する力やコミュニケーション力の向上を図る。
社会	日本や世界の地理・歴史の学習を通して、自国の理解や国際理解に役立たせる。公民分野では、人権や法を尊重する心情や態度を養う。
数学	数理的解決力を育むことで問題解決能力を養いながら、真理を追究しようという姿勢を身に付け、実践意欲を高める。
理科	自然への理解を深め、自然愛護の精神を養いつつ、ものごとの科学的な認識力を高める。
音楽	音楽によれることで豊かな情操を養い、精神の落ち着きを得る。また伝統音楽の学習を通して、わが国の文化にふれ、そのよさを体感する。
美術	作品の制作を通して、想像力や遂行力を高め、鑑賞を通して美しいものに感動する心情をはぐくむ。
保健体育	能力に応じた課題学習を通して目的達成のための意欲や態度を養い、集団的競技では他の人とかかわりの重要さを学ぶ。
技術	生活に際しかかわる体幹的学習を通して、生活を充実させる方法を学ぶとともに、情報モラルの正しいあり方を身に付ける。
家庭英語	言語や文化の違いの中から、国際理解の基礎的な力を培う。言語を通して、広く世界に思いをはせ、国際協調や共生のあり方を考える。
教科「日本語」	ことばを通じて物事を深く考え、自己を表現し、日本の伝統や文化に対する理解を深めて、ことばや文化を大切にする意欲を高める。

人格の完成を目指して

- あいさつ・思いやり・良心など、自他を敬愛し、自立した個人として成長しようとする心と生活習慣を育てるため、ポスター掲示等を行う。

学級活動	
特別活動	○学級生活を基盤として、集団の一員としての望ましい資質や態度を養う。 進路指導・生徒指導 ○自己理解を深め、自己管理能力や人間関係形成能力等を高める。 ○偏見や差別を許さない正義感を育成する。 生徒会活動 ○生徒会の自治的な体験を通して集団の力を高めるとともに、役割を自覚して責任を果たす態度を養う。 学校行事 ○集団の一員としての自覚を深め、学校生活の充実と発展に努めようとする態度を育てる。

総合的な学習の時間

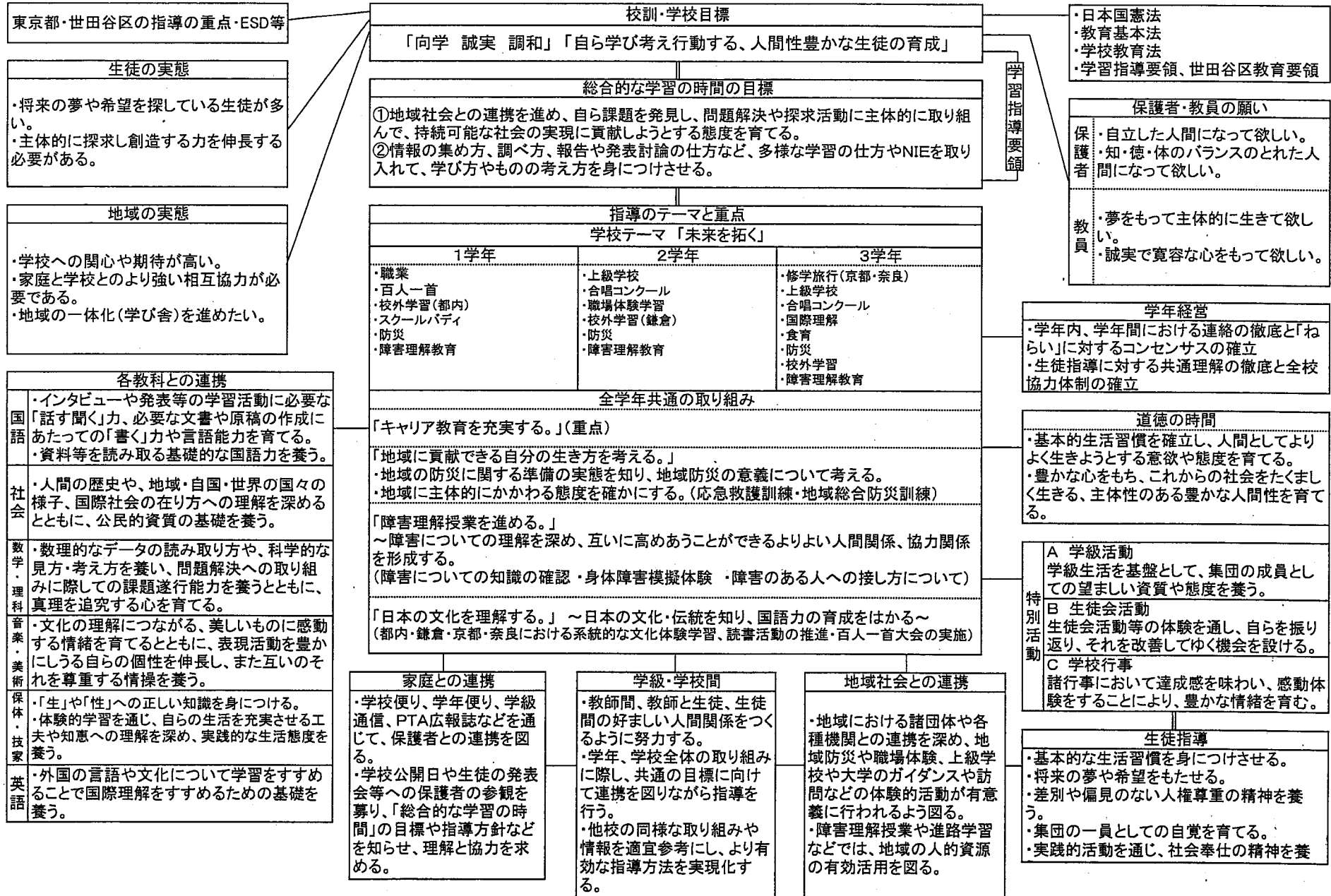
- 課題を見つけ、判断し、解決する能力や態度、情報モラル等を育てる。
- 学び方やものの考え方を身に付け、問題解決的な学習や探究活動を通して、自己の生き方を考えることができる生徒を育成する。
- 職場体験学習やボランティア活動等を通して、望ましい勤労観や奉仕の心をはぐくむ。

家庭・地域との連携

- 学び舎の小学校や地域における諸団体・各種機関との連携を密にし、交流活動・環境美化活動・安全指導・地域防災活動・ボランティア活動などの体験的な活動を通して、社会に貢献しようとする意欲や奉仕の心等をはぐくむ。
- 学校だより、学年だより、PTA広報紙の発行、HP掲載や授業参観、学校評価を実施することで、道徳教育の目標や道徳の時間の様子等を、保護者や地域社会に発信して説明責任を果たす。
- 道徳地区公開講座、学校運営委員会、学校協議会等とおして、学校・家庭・地域における生徒の道徳性についての情報交換を行い、理解を深め合う。

教育環境

- 教員間及び教員と生徒間の好ましい人間関係を構築することで、道徳的価値について考える土壌をつくる。
- 校務担任制により、道徳教育及び道徳の時間の指導、教育相談を協力的に行う。
- 校内・周辺美化活動を活性化させ、過ごしやすい緑豊かな環境整備を進める。タンチ山の自然環境を活用する。
- 図書室・学級文庫を整備することにより、読書活動による道徳性の涵養を図る。
- 部活動では、異年齢集団の活動を通して、責任感や協調性の育成を図る。



平成26年度「総合的な学習の時間」年間指導計画
第1学年

- 目標：①地域社会との連携を深め、自ら課題を発見し、問題解決や探求活動に主体的に取り組む態度を育てる。
②情報の集め方、調べ方や発表・報告のしかたなど多様な学習のしかたを取り入れ、学び方やものの考え方を習得させる。

学期	月	内容
1 学期	4月 5月 6月 7月	スクールバディ ・いじめを防止するプログラムを行う。
2 学期	9月 10月 11月 12月	
3 学期	1月 2月 3月	※学年ガイダンス 日本の伝統文化を知る ・百人一首大会を通じて、日本の伝統文化について知る 郷土と文化を知る ・校外学習(都内めぐり)を通じて、郷土と文化について学習する ・学習した内容をまとめて発表する 「働く大人から学ぶ」ACD 総合 1 職業の分野と内容のガイダンスを行う。 2 テーマを決め、職場訪問をする。 ・テーマを決める。・インタビューをする。 ・新聞づくりと発表を行う。 地域の中で生きる ・防災に関する講話、体験 地域防災訓練参加 ・地域に主体的に関わる態度を確かにする 障害の理解を深める ・障害理解体験授業 「将来の夢を語る」CD 総合 ・夢を叶えるための課題を整理し、課題解決の手だてを考え、まとめる。

平成26年度「総合的な学習の時間」年間指導計画 第2学年

- 目標：①地域社会との連携を深め、自ら課題を発見し、問題解決や探求活動に主体的に取り組む態度を育てる。
②情報の集め方、調べ方や発表・報告のしかたなど多様な学習のしかたを取り入れ、学び方やものの考え方を習得させる。

学期	月	内容
1 学 期	4月	※学年ガイダンス 「上級学校を調べる」 キャリア 1 上級学校の制度と進路について調べる。 2 中学校卒業後の調べ、 課題 「上級学校を訪問する」 宿題 1 高学校訪問時のマナーを知る。 2 高学校説明会等に参加する。 3 新聞かアプリ、ソーシャルネットをを使ってまとめる。
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	
2 学 期	9月	「高校の授業を体験する」 キャリア 1 高校の先生による授業を受ける。(1時間) 2 高校生活のガイダンスを受ける。(1時間)
	10月	集団の中で生きる ・行事を通じて学級で力を合わせ、団結力を示す
	11月	郷土と文化を知る ・校外学習(鎌倉方面)を通じて、郷土と文化について学習する ・小学校の鎌倉遠足を踏まえながら学習した内容をまとめて発表する
	12月	
3 学 期	1月	日本の伝統文化を知る ・百人一首大会を通じて、日本の伝統文化について知る
	2月	「職場体験学習を行う」 キャリア 1 事業所の職種について学ぶ。 2 マナーについて学ぶ。 ・事前連絡の取り方、言葉の遣い方を学ぶ。 ・あいさつ、お礼の仕方を確認する。 3 職場体験学習(3日間) ・お礼状の作成 ・働くことを実感を持って知る。 4 働くことを実感を持って知る。 ・体験したこととをまとめて発表し情報を共有する。
	3月	地域の中で生きる ・防災に関する講話、体験 地域防災訓練参加 ・地域に主体的に関わる態度を確かにする ともに生きる ・障害理解体験授業

平成26年度「総合的な学習の時間」年間指導計画
第3学年

- 目標：①地域社会との連携を深め、自ら課題を発見し、問題解決や探求活動に主体的に取り組む態度を育てる。
②情報の集め方、調べ方や発表・報告のしかたなど多様な学習のしかたを取り入れ、学び方やものの考え方を習得させる。

学期	月	内容
1 学 期	4月	※学年ガイダンス 郷土と文化を知る ・テーマを考え、伝統文化について調べる ・課題をもつて班行動計画を練る ・文化体験から伝統文化への理解を深める ・日本文化の生き残りや意味を考え ・学んだことをわかりやすく報告する 「大学を体験する」 キャリア 1 駒沢大学を訪問し、授業を体験する。 2 「進路選択に向けて学ぶ」 キャリア 1 進路希望調査(個別面談)を行う。 ・進路相談(個別面談)をする。 ・年間の進路に関する情報を調べる。 ・進路に関する情報説明会でガイダンスを行う。
	5月	～修学旅行(京都・奈良)の取り組み～ 文化について調べる 伝統文化を練る 文化への理解を深める 文化の生き残りや意味を考え 文化の生き残りや意味を考え 文化の生き残りや意味を考え
	6月	「大学を体験する」 キャリア 1 駒沢大学を訪問し、授業を体験する。 2 「進路選択に向けて学ぶ」 キャリア 1 進路希望調査(個別面談)を行う。 ・進路相談(個別面談)をする。 ・年間の進路に関する情報を調べる。 ・進路に関する情報説明会でガイダンスを行う。
	7月	「進路選択に向けて学ぶ」 キャリア 1 進路希望調査(個別面談)を行う。 ・進路相談(個別面談)をする。 ・年間の進路に関する情報を調べる。 ・進路に関する情報説明会でガイダンスを行う。
2 学 期	9月	「進路を選択する」 キャリア 1 学校見学の見学をする。(休日) 2 進路情報収集と整理を行う。 3 第2回進路説明会(各1名)から、受験勉強と進路選択についてガイダンスを受ける。
	10月	ガイダンスを受ける。
	11月	集団の中で生きる ・行事を通じて学級で力を合わせ、団結力を示す。
	12月	世界を学ぼう ・NIE活動 ・国際理解に関する授業 ・社会に向け、世界に向かってゆけるか考える 食を学ぼう ・ゲストティーチャーによるお話と実習
3 学 期	1月	豊かな将来を開く(3) ・卒業までのスケジュールを作る ・将来の自分を考える ・義務教育修了の意義を確かめよう
	2月	地域の中で生きる ・防災に関する講話、体験 地域防災訓練参加 ・地域に主体的に関わる態度を確かにする
	3月	郷土と文化を知る ・校外学習を通じて、郷土と文化について学習する 障害の理解を深める ・障害理解体験授業

月	学習内容	学習目標	時数
4月	「考える」ことを考える	「考える」ことのさまざまなことを学ぶ。他者と話し合いながら、考えることの意義を考える。	4
5月	季節を表す言葉 越後縮	日本語特有の季節を表す言葉、短歌・俳句を味わう。 自然と共に生きることの意味を考える。	3 1
6月	環境先進国江戸 雨二モマケズ ショートパンツ初体験インアメリカ	自然環境を維持するために江戸の資源循環システムに学んで、現代社会を考える。 宮沢賢治が理想とした生き方を考える。 「心の壁」について考え、生き方の大切さを考える。	1 2 2
7月	論理的な表現とは ルールづくりを体験しよう	「論理の力」を考え、それを活用する大切さを知る。 望ましいルールのある方を学ぶ。	2 1
9月	ルールづくりを体験しよう 心の行儀 (尊敬と感謝の心)	望ましいルールのある方を学ぶ。 心の行儀の悪さを恥じる考えを学ぶ。	3 1
10月	人とのつながり 地域活動に参加して	友達関係を深めていくことで、人間がさらに成長していくことについて考える。 参加したいボランティア活動は何か考える。 困難に直面した人の生き方に触れ、生きることや、いのち、言葉の力について考える	2 2
11月	人間ってすごい 職業と好きなこと	自分らしさについて考え、自分や自分の生き方について深く考える。 仕事とは何か考えを深め、自分が就きたい職業について考える。	3 2
12月	人生に答えを出した男の物語	困難に直面した人の生き方や考えに触れ、生きることや、命、言葉の力、について考える。	3
1月	人生に答えを出した男の物語	困難に直面した人の生き方や考え方に触れ、生きることや、いのち、言葉の力について考える。	2
2月	二十一世紀に生きる君たちへ	どのように生きるべきか文章で表現する。	1

月	学習内容	学習目標	時数
4月	対話の基礎	「聴く」ことの意味を考えながら、相手の言葉の意味や話の内容を理解し、気持ちや考えをしっかりと受け止める。また、ディベートを通して、論理的な説明をして、お互いの考えを深める。	7
5月			
6月	率直な自己表現	「主張的でない自己表現」「攻撃的な自己表現」「アサーティブな自己表現」について考えを深め、相手との関係をよりよいものにすることについて考え、表現する。	4
7月	私のニュース解説(メディア1)	新聞というメディアへの興味・関心をもち、時事的な問題に対し、周囲からの意見を聞き、考えを深め、文章で表現する。	2
9月	コマーシャルの秘密(メディア2)	コマーシャルなどの、多量の情報の中から適切な情報を選び、情報が正しく相手に理解されるように工夫することについて考える。 また、コマーシャル制作を通じて、視聴する相手に応じてどのような工夫をすれば考え、情報の特性について考えを深める。	8
10月			
11月	レポートを写こう	「自分で調べ、考え、意見を述べる作業」について理解を深め、自分が設定したテーマから調査、アウトラインの作成、文章化、発表準備やスケジュールを作成する。さらに、作成したカードや資料を整理し、レポートの全体的な構成をよく考え、工夫して発表する。	8
12月			
1月	数学の作文	言葉を定義することを通して、日常生活で用いている言葉が表わす対象の広がりなどについて考える。	3
2月	情報社会における表現(メディア3)	情報通信ネットワークの特徴や、情報を発信する時の留意点について考え、情報発信者の責任について話し合う。また、良質な情報とはどのようなものかを考え、自ら発信することについて考える。	4

月	学習内容	学習目標	時数
4	オリエンテーション・日本語「日本文化」の学習について 「住」住む 3 日本の伝統・文化を知る 1 日本の伝統・文化を知る 2	◇修学旅行に備えて古都の文化・歴史的遺産について学ぶ ◇未来に伝えていきたい日本の「住」 ◇古都の文化・歴史的遺産について学び、感じたことをまとめる ◇人間国宝や職人の技を知り修学旅行での体験学習で理解を深める。	3
5	「技」作る 1 人間国宝	◇歌舞伎の表現・舞台の特色について学ぶ	3
6	「楽」楽しむ 歌舞伎の魅力 1	◇歌舞伎鑑賞教室で学んだこと・感じたことをまとめ日本の伝統文化についての見識を深める。	4
7	「楽」楽しむ 歌舞伎の魅力 2	◇毎日の食事から日本の食生活について調べ日本の食の基本を考える ◇食物と自然の関わりと工夫について調べ考える	3
9	「食」食べる 1	◇日本料理に奥行きを与えた発酵文化について学ぶ ◇食器と食はどのような関わりがあるのか考えまとめる	4
10	「食」食べる 2	◇箸の文化について調べ外国文化との違いを考えまとめる ◇和服の基本的な知識について学ぶ	3
11	「食」食べる 3 「衣」着る 1	◇「衣」について体験したり考えたりしたことを通して生活の中での「衣」の重要性を考える	4
12	「衣」着る 2	◇日本の住まいの特徴と生活様式について学ぶ	3
1	「住」住む 1	◇自然をいかした住まいについて調べ、自分の考えをまとめる	3
2	「住」住む 2	◇「道」という言葉のつく文化が求めるもの、在り方について調べ、実際に体験することにより日本の伝統的な文化に自分自身がどう向き合っていくか考える	2
3	「技」作る 2 生活を豊かに 〈道の文化 茶道体験〉		

生徒の実態
・明るく屈託がない。 ・意志を強くもつことや、集中力・持続力に課題が見られる。
教員の願い
・何事にも前向きで意志の強い生徒 ・自己の生命を尊ぶ生徒 ・素直さと協調性をもつ生徒
地域の実情
・保護者の学校への関心や期待は高い。 ・閑静な住宅街と商業地域が混在し、学区内に大きな国道が縦横に走っていること もあり、地域の一体化の推進が課題である。

校訓・教育目標
向学 誠実 調和
「自ら学び考え行動する、人間性豊かな生徒の育成」

・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・学習指導要領 ・世田谷区教育要領
--

本校の特別活動の目標
過ごしやすい学校・学級環境を整備し、学級活動や生徒会活動、学校行事、部活動などの集団活動を活発に行うことで、心身の健康や良好な人間関係を保持・増進するとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

生徒指導
・教員と生徒、生徒相互の好ましい人間関係の醸成に努める。 ・生徒が主体的に判断、行動していきけるよう、自発性、主体性を尊重した指導を心がける。 ・教育相談や種々の活動場面を通して、生徒個々の個性をよく見つけ、生徒理解を深める。 ・情報社会における正しい判断や望ましい態度を育てるため、関係機関との連携をすすめる。

特別活動の指導方針
【豊かな心の育成】 豊かで充実した学校の生活体験を通して、教員と生徒及び生徒相互の好ましい人間関係の醸成を図る。また、人間としてのよりよい生き方について考えさせ、集団や社会の一員として互いに人格を尊重しあいながら協力して生きようとする態度を育てる。
【自主的で実践的な態度の育成】 生徒の自主的・実践的な活動を支援し、自治的な能力の伸長を図るため、諸活動における生徒の活動場面の設定を工夫する。一人ひとりの生徒が自己の個性や能力を理解しそれを生かそうとする意欲と態度を育てる。
【たくましい心と身体力の育成】 望ましい集団活動を通して生徒の心身の健全な発達を図るとともに、自ら自己を鍛錬しようとする自主的な態度を育てる。

各教科
国語
社会
数学
理科
音楽
美術
保健
技・家
英語
教科「日本語」

道徳
道徳的な心情、判断力、実践意欲、態度などが補充・深化・統合されるよう、様々な場面を通して道徳的価値について考えさせることで、道徳の実践力の育成に努める。

総合的な学習の時間
・課題を見つけ、判断し、解決する能力や態度を育て、自発的に活動する意欲を高める。 ・問題解決的な学習や探究する活動を通して自己の生き方を考えることができる人間を育成する。

本年度の重点目標
・学級活動を重視し、話し合い活動などのコミュニケーションを図る活動と言語活動を充実させることにより、教員と生徒、生徒相互の理解や信頼感を高め、集団の一員としての自覚と学級への所属感、帰属感をもち、学習における生徒同士の教え合いや、協力してものごとに取り組む態度を育てる。 ・生徒会活動では、生徒相互の連帯感を養うとともに、自治的な態度のあり方を体験的に学ぶ。 ・学校行事等の体系的な活動を通して、協働して実行する態度を育てる。 ・ボランティア活動に積極的に参加し、主体性や参画意欲をはぐくむとともに、充実感や自己有用感をもち、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。 ・ポランティア活動に積極的に取り組む生徒を育成し、思いやりや奉仕の精神等の豊かな心と、地域社会との連帯感や社会の一員としての自覚を育てる活動を推進する。

特別活動の各内容別目標
学級活動
生徒会活動
生徒会活動
学校行事

- ・生徒一人ひとりが学級内の役割を分担し、話し合いや係活動、法に関する教育を通して学級生活や学校生活の向上と発展に努める態度を育てる。
・「学級づくりは人間関係づくり」をスローガンに、良好な人間関係を基盤にして生徒一人ひとりの社会的適応を図り、自己を生かす能力を育てるとともに、情報教育、性教育、食育、特別支援教育、安全指導を通して、健康で安全な生活習慣を身に付けさせる。
・学級活動について個別の、継続的な指導を行い、主体的に学ぼうとする意欲や態度を育てるとともに、よりよい将来の生き方と適切な進路を選択する能力を育てる。
- ・学校生活の充実や改善向上を図る活動、生徒の諸活動についての連絡調整に関する活動、学校行事への協力活動、ポランティア活動などを通して、きままりの大切さを理解し、楽しく創造的な学校生活を築こうとする自発的・自治的な態度を育てる。
- ・生徒の積極的な参画と協力ををもとにした集団活動を通して、学級・学年・学校への所属感を培う。
・学校生活に望ましい変化や折り目を付けて、学校生活を秩序や変化のある豊かなものにする 것과ともに、心身の健全な発達を図る。
・自然体験、文化や社会体験を充実させ、生徒の自発的な活動を通して創造性や社会性を育てる。

教育課題
・「キャリア学習ノート」を活用し、人間形成関係・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、キャリアプランニング能力といたったキャリア教育の基礎的・汎用的能力を発達段階に応じた育成する。 ・情報教育を推進し、多くの情報から必要な情報を適切に取捨選択して自ら正しい情報を発信する能力や情報モラル等を育てる。 ・食育を推進し、食と心身の健康について自ら考え、実践する生徒の育成に努める。
・「人格の完成を目指して」を推進し、あいさつ、思いやり、良心など自他を敬愛し、自立した個人として成長しようとする心と生活習慣を身につける支援をする。

学び舎・家庭・地域との連携
・学び舎の小学校との連携を密にし、交流活動・環境美化活動・あいさつ運動・安全指導・体験学習などの活動を通して、学び舎内の活動を推進する。 ・地域の行事などへの積極的な参加をすすめるとともに、ポランティア活動や文化的活動などの実践を通して地域社会との連携を図り、地域社会の一員としての自覚を深めさせる。

平成26年度 特別活動年間指導計画

	第1学年	第2学年	第3学年
4月	中学校に入学会 障害理解教育 ネットリテラシー講座 学習態度と、学習習慣の定着 個人目標、学級目標 前期委員、係決め 中学校のきまりを学ぶ 部活動への参加 中間考査への取り組み 所属感を高める運動会への取り組み①	生徒の心がまえガイダンス 教員と生徒の関係づくり 自己紹介、学級目標決め、個人目標決め 同一行動の確認・習慣化 係の仕事、給食指導、清掃指導 学級の課題(話し合い活動) 運動会への取り組み① 所属意識の充実	生徒の心がまえガイダンス 教員と生徒の関係づくり 修学旅行(京都・奈良)への取り組み①～③ 定期考査への取り組み① 修学旅行(京都・奈良)への取り組み④ スローガン決定
5月	運動会への取り組み② 家庭学習への取り組み 期末考査への取り組み 自己の適性を学ぶ(キャリア)	運動会への取り組み②	運動会への取り組み 部活動引退後の家庭学習への取り組み 進路説明会を有意義なものにするために 定期考査への取り組み①
6月	友情を考える 移動教室への取り組み① 食育指導、性情報への対処 1学期を振り返る 夏休みの過ごし方 教育相談	1学期の振り返り(自己評価シート) 夏休みの意義と過ごし方 教育相談(面談) 食育指導、性情報への対処	自己評価シートによる1学期の振り返り 夏休みの高校見学の事前指導 校長先生との面談について 食育指導 夏休みの意義と過ごし方 二者面談
7月	2学期を迎えて 移動教室への取り組み② 生徒会活動の意義と参加 連帯感を高める合唱コンの取り組み① 学習習慣の定着 中間考査への取り組み	生徒会活動の意義と参加 生徒会選挙 合唱コンクールへの取り組み① 校外学習(鎌倉)への取り組み①	キャリア教育の視点と進路選択① 生徒の心がまえガイダンス 教員と生徒の関係づくりの再確認 同一行動の習慣化への再確認 定期考査への取り組み 所属感を高める合唱コンへの取り組み①
9月	学級の仲間を支え合う意味 連帯感を高める合唱コンの取り組み② 所属意識の充実 生徒会 後期委員・係決め 地域ボランティア活動の意義	合唱コンクールへの取り組み②～④ 校外学習(鎌倉)への取り組み②	学級の仲間と支え合う意味 合唱コンへの取り組み② 連帯感を高める合唱コンへの取り組み③ 所属意識の充実 進路説明会を有意義なものにするために
10月	合唱コンクールの成果と課題 学校生活の悩みの解消 期末考査への取り組み 望ましい人間関係 落ち葉掃きボランティア参加	職場体験への取り組み① 校外学習(鎌倉)への取り組み③④	進路決定へ向かう(キャリア) 校内作品展へ向けての意義と参加 定期考査への取り組み 小中連携(落ち葉はき、ボランティア参加) 三者面談
11月	学校生活の悩みの解消 教育相談 百人一首大会への取り組み① 2学期を振り返る	職場体験への取り組み②～④ 2学期の振り返り(自己評価シート)	自己評価シートによる2学期の振り返り 進路決定への取り組み 三者面談 進路決定の最終確認 冬休みの過ごし方
12月	新年を迎えた個人目標 3学期を迎えて 百人一首大会への取り組み② 校外学習(都内)への取り組み①	職場体験への取り組み⑤～⑧ 百人一首大会への取り組み①	進路を決定する(キャリア) 教員と生徒の関係づくりの再確認 卒業時期の学級づくり 入試に関する様々な手続きについて
1月	校外学習(都内)への取り組み② 学年末考査への取り組み 中堅学年になる心構え 卒業生を送るにあたって①	職場体験への取り組み⑨ 卒業生を送るにあたって 自分自身の成長を確かめる	キャリア教育の視点での進路選択 仲間と支えあう受験の葛藤 卒業に向けた取り組み①
2月	卒業生を送るにあたって② 1年間を振り返る 中堅学年に進級する決意	上級学年への決意 修学旅行事前取り組み①～③ 学年末の振り返り(自己評価シート)	卒業に向けた取り組み② 義務教育卒業の意義を考える 将来の夢(キャリア) 定期考査への取り組み
3月			

平成26年度 生活指導部 特別活動
生徒会活動計画

前期			
日程	活動	活動担当	企画・活動内容
4月10日～4月14日	前期専門委員決め	各学年クラス	担任は委員一覧表提出
4月10日	生徒会オリエンテーション 委員会紹介	生徒会本部役員 専門委員長	オリエンテーションしおり作成
4月11日	生徒会オリエンテーション 部活動紹介	生徒会本部役員 各部活動	企画・運営
4月15日	前期 第1回専門委員会	各専門委員会	組織づくり 活動方針 生徒総会議案書作成
4月15日	前期 第1回生徒協議会	生徒会本部役員 専門委員長 学級委員 生徒会本部役員	初顔合わせ・任命式打ち合わせ
4月10日～4月17日	教職員離任式準備	係生徒	お礼のことば作成
4月16日生徒朝会	前期専門委員任命式	生徒会本部役員 専門委員長	一言あいさつ 任命証
4月18日	教職員離任式	生徒会本部役員 係生徒	お礼のことば 花束贈呈
4月21日～4月30日	クラス討議①	各クラス	議案書読み合わせ 生徒総会に向けての討議(質問・意見など)
5月1日	前期 第2回専門委員会	各専門委員会	クラスで出された質問・意見の回答作り
5月2日	運動会実行委員立ち上げ	生徒会本部役員 体育委員会	役職決定
5月1日	前期 第2回生徒協議会	生徒会本部役員 専門委員長 学級委員	生徒総会に向けての回答審議
5月2日～5月7日	クラス討議②	各クラス	生徒総会に向けての討議 クラス代表質問者決定
5月7日	生徒朝会	生徒会本部役員 専門委員長	委員長報告
5月8日	生徒総会リハーサル	生徒会本部役員 専門委員長	進行打ち合わせ 放課後 体育館使用
5月9日	生徒総会	生徒会本部役員 専門委員長	臨時生徒総会→後期生徒総会 生徒会選挙方法変更
5月12日	校長先生との懇親会	生徒会本部役員	生徒総会を終えて
5月24日	運動会	生徒会本部役員 各専門委員会	運営 進行
6月9日	前期 第3回専門委員会	各専門委員会	あいさつ運動ポスター作成
6月9日	前期 第3回生徒協議会	生徒会本部役員 専門委員長 学級委員	学級の様子について協議①
6月11日	生徒朝会	生徒会本部役員 専門委員長	委員長報告
6月8日～6月13日	地域びわのお届け	生徒会本部役員	
6月16日～7月7日	選挙管理委員選出	各クラス	選挙に関することはすべて選挙管理委員会で行う
7月1日～9月30日	生徒会打ち水	生徒会本部役員	雨の日に、バケツに水をため、適宜打ち水をする。
7月4日	前期 第4回専門委員会	各専門委員会	
7月4日	前期 第4回生徒協議会	生徒会本部役員 専門委員長 学級委員 生徒会本部役員会	学級の様子について協議② あいさつ運動の呼びかけ
7月7日～7月11日	あいさつ運動①	生徒会本部役員 生活委員会	学び舎小学校との交流
7月8日	選挙管理委員会①	選挙管理委員	組織作り 選挙公示文作成
7月9日	生徒朝会	生徒会本部役員 専門委員長	委員長報告 選挙公示
7月9日～9月4日	生徒会役員選挙 立候補者選出	1、2学年	
9月3日	前期 第5回専門委員会	各専門委員会	前期の反省
9月3日	前期 第5回生徒協議会	生徒会本部役員 専門委員長 学級委員	前期の反省 一言ずつ最後のあいさつ
9月5日	立候補者公示	選挙管理委員会	選挙に関することはすべて選挙管理委員会で行う
9月5日	立候補者・応援者説明会	立候補者・応援者	今後の日程 たすき作成
9月5日	選挙管理委員会②	選挙管理委員会	選挙に関することはすべて選挙管理委員会で行う
9月8日～9月22日	選挙運動・準備	立候補者・応援者	ポスター、演説原稿などの作成
9月19日	小学生体験入学リハーサル	生徒会本部役員	前日準備 進行打ち合わせ
9月20日	小学生体験入学	生徒会本部役員 吹奏楽部 視聴覚委員 応援者	セシモニー運営
9月22日	立会演説会リハーサル	立候補者・応援者 選挙管理委員会	体育館:リハーサル 格技室:投票所の準備
9月26日	立会演説会 投票	立候補者・応援者 選挙管理委員会	企画・運営
9月30日	連合陸上壮行会	生徒会本部役員	連合陸上壮行会に向けてのことば
9月29日～10月8日	後期専門委員決め	各学年クラス	担任は委員一覧表提出

後 期			
日程	活動	活動担当	企画・活動内容
9月30日	校長先生との懇親会	新生徒会本部役員	新生徒会役員との懇親
10月1日～12月25日	ボランティア(落ち葉はき)	生徒会本部役員 JRC部	学校周辺の落ち葉はき
10月9日	後期 第1回専門委員会	各専門委員会	組織作り 活動方針 臨時生徒総会議案書作成
10月9日	後期 第1回生徒協議会	生徒会本部役員 専門委員長 学級委員	初顔合わせ・任命式打ち合わせ
10月15日生徒朝会	生徒会役員任命式	生徒会本部役員	任命証
10月15日生徒朝会	後期専門委員会任命式	生徒会本部役員 専門委員長	任命証
10月21日～10月24日	あいさつ運動②	生徒会本部役員会 生活委員会	学び舎小学校との交流
10月21日～10月31日	クラス討議①	各クラス	議案審議み合わせ 後期生徒総会に向けての討議(質問・意見など)
11月4日	後期 第2回専門委員会	各専門委員会	クラスで出された質問・意見の回答作り
11月4日	後期 第2回生徒協議会	生徒会本部役員 専門委員長 学級委員	臨時生徒総会に向けての回答審議
11月4日～11月13日	ふれあい月間スライド作 成	生徒会本部役員	生徒総会にむけて、いじめ防止を呼びかけるス ライドをつくる
11月5日～11月12日	クラス討議②	各クラス	臨時生徒総会に向けての討議 クラス代表質問者決定
11月5日	生徒朝会	生徒会本部役員 専門委員長	委員長報告
11月13日	後期生徒総会リハーサル	生徒会本部役員 専門委員長	進行打ち合わせ 放課後 体育館使用
11月14日	後期生徒総会	生徒会本部役員 専門委員長	ふれあい月間スライド発表
	T ポール大会	生徒会本部役員 体育委員会	企画 運営 地域との打ち合わせ(未定)
12月3日～12月10日	小学校への学校紹介①②	生徒会本部役員	紹介ビデオ上映
12月15日	後期 第3回専門委員会	各専門委員会	3年学級委員は最後
12月15日	後期 第3回生徒協議会	生徒会本部役員 専門委員長 学級委員	3年学級委員 最後のあいさつ
	駒小もちつき大会	生徒会本部役員	もちつき 遊びコーナー
1月13日	後期 第4回専門委員会	各専門委員会	ベルマーク強化週間について ※3年学級委員会は開催しない
1月13日	後期 第4回生徒協議会	生徒会本部役員 専門委員長 学級委員	ベルマーク強化週間について
1月14日	生徒朝会	生徒会本部役員 専門委員長	委員長報告 ベルマーク呼びかけ
未定	14歳成人式	生徒会本部役員	生徒会サミットメンバーの発表
1月26日	校長先生との懇親会	生徒会本部役員	
1月26日～1月30日	ベルマーク収集活動	生徒会本部役員 生活委員会	ベルマーク呼びかけ・強化週間の実施・運営
2月9日	後期 第5回専門委員会	各専門委員会	※3年学級委員会は開催しない
2月9日	後期 第5回生徒協議会	生徒会本部役員 専門委員長 学級委員	
2月12, 13日	ボランティア(ベルマーク集計)	生徒会本部役員 生活委員会	ベルマーク集計の実施・運営
2月(未定)	支え合いルーム交流会	生徒会本部役員	
2月18日	生徒朝会	生徒会本部役員 専門委員長	委員長報告
3月2日(月)～3月6日(金)	あいさつ運動③	生徒会本部役員会 生活委員会	学び舎小学校との交流
3月3日	後期 第6回専門委員会	各専門委員会	後期の反省 委員会紹介作成(新入生向け)
3月3日	後期 第6回生徒協議会	生徒会本部役員 専門委員長 学級委員	後期の反省 生徒会オリエンテーション 委員会紹介について
3月6日(金)	3・11を忘れない	生徒会本部役員会	陸前高田市の中学校へ折鶴送付
通年	目安箱設置	生徒会本部役員	